

# 令和2（2020）年度 倉吉市男女共同参画に関する市民意識調査

## 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、男女共同参画に関する市民の意識等を的確に把握し、今後の男女共同参画行政を推進するための基礎資料を得ることを目的とした。

### 2 調査の期間

調査の期間は、令和2年6月10日（水）～7月10日（金）

### 3 調査の方法

- ①調査対象 倉吉市内に在住する18歳以上の市民（準世帯を除く）
- ②調査地域 倉吉市内全域
- ③対象者 2,000人
- ④抽出方法 住民基本台帳から無作為に、男女・年齢・地区別に抽出
- ⑤調査方法 郵送法

### 4 回収結果

- 発送数 2,000人
- 無効数<sup>1)</sup> 10人
- 有効回答数 805人
- 有効回答率<sup>2)</sup> 40.5%

1)宛先不明のため返却された件数

2)有効回答数÷(発送数－無効数)×100

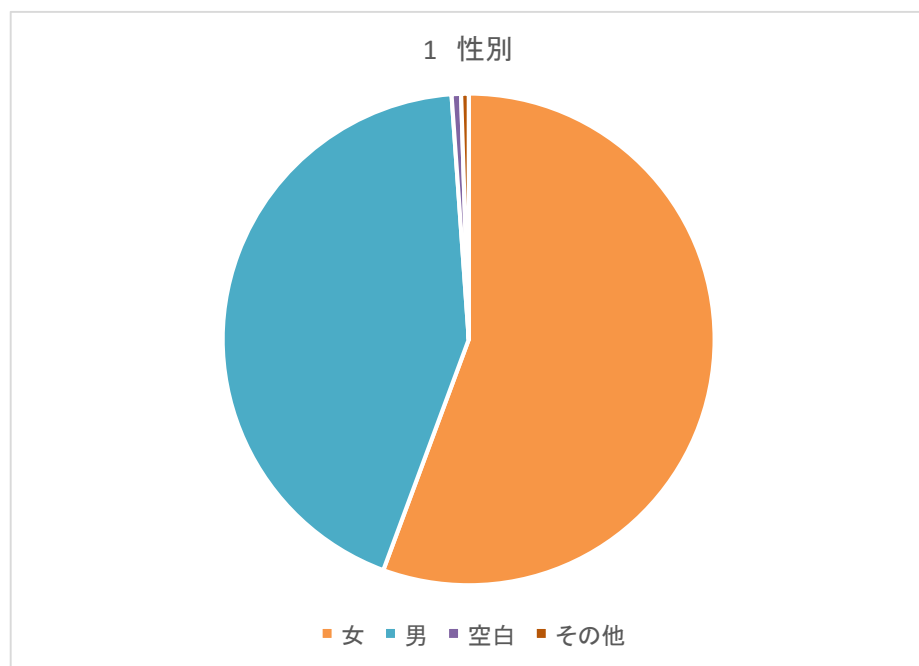
### 5 その他

集計については、無回答、不明を除いて集計を行った。

## 回答者の属性

### 1 あなたの性別

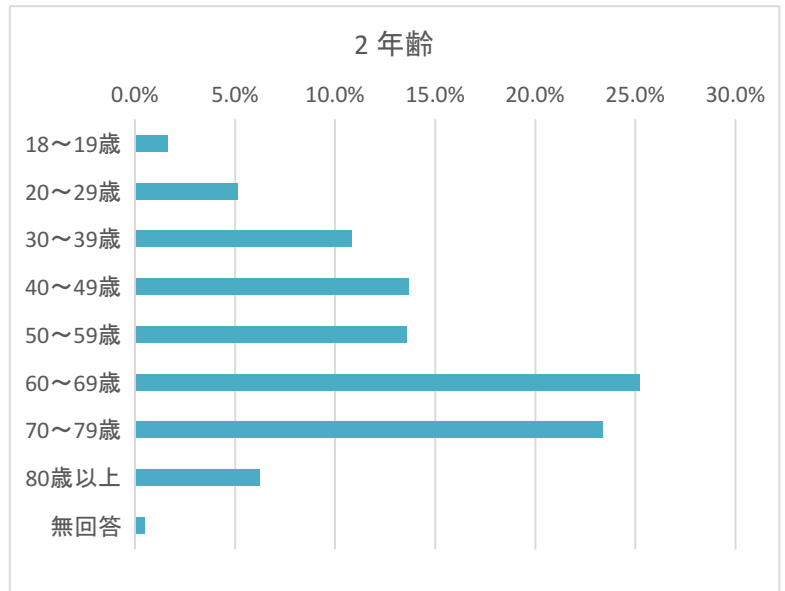
区分	対象者	構成比	回答数	構成比	回答率
女	1,036	52.1%	448	55.7%	43.2%
男	954	47.9%	348	43.2%	36.5%
答えたくない	－	－	4	0.5%	－
無回答	－	－	5	0.6%	－
計	1,990	100.0%	805	100.0%	40.5%



## 2 あなたの年齢

区分	対象者	件数	回答率	構成比
18～19歳	45	13	28.9%	1.6%
20～29歳	204	41	20.1%	5.1%
30～39歳	258	87	33.7%	10.8%
40～49歳	329	110	33.4%	13.7%
50～59歳	299	109	36.5%	13.5%
60～69歳	377	203	53.8%	25.2%
70～79歳	352	188	53.4%	23.4%
80歳以上	136	50	36.8%	6.2%
無回答		4		0.5%
計	2,000	805	40.3%	100.0%

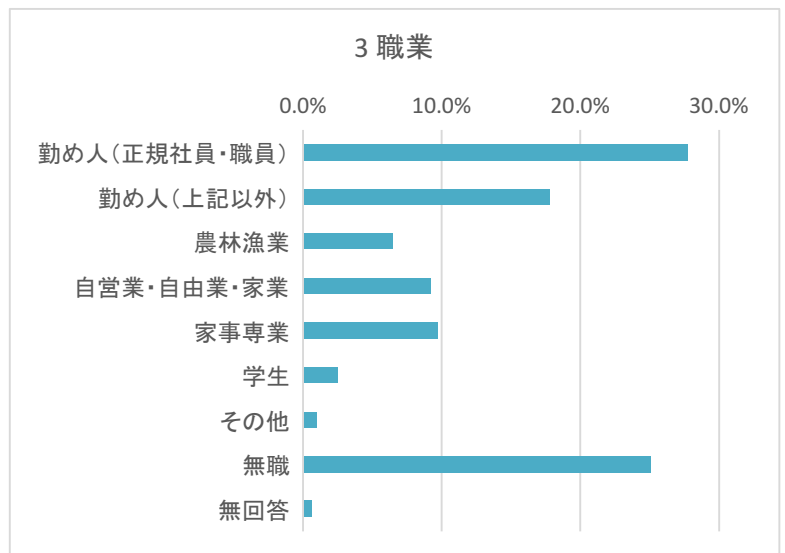
回答者の年齢層は、多い順から60代、70代、80歳以上となっている。



## 3 あなたの職業

区分	件数	構成比
勤め人（正規社員・職員）	223	27.7%
勤め人（上記以外）	143	17.8%
農林漁業	52	6.5%
自営業・自由業・家業	74	9.2%
家事専業	78	9.7%
学生	20	2.5%
その他	8	1.0%
無職	202	25.1%
無回答	5	0.6%
計	805	100.0%

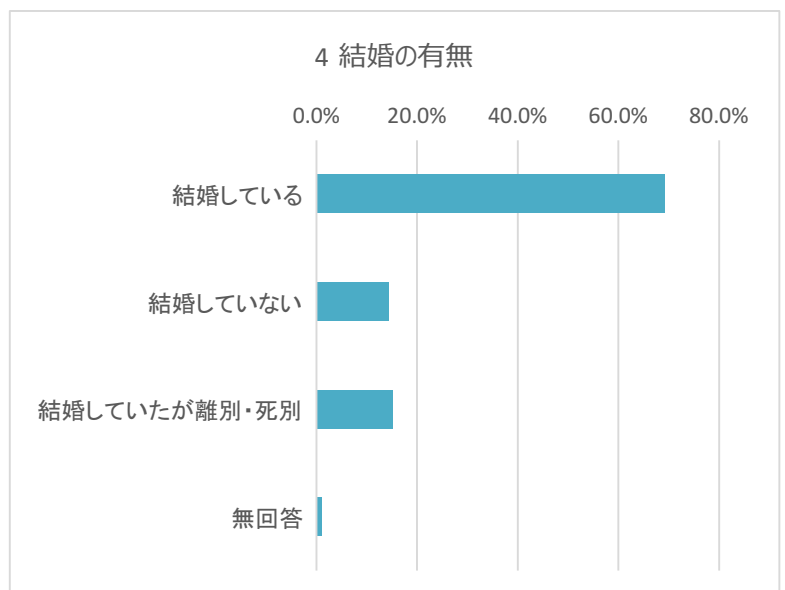
職業別では、多い順から「勤め人(正規社員・職員)」、「無職」と多くなっている。



## 4 あなたは結婚をされていますか

区分	件数	構成比
結婚している	558	69.3%
結婚していない	116	14.4%
結婚していたが離別・死別	122	15.2%
無回答	9	1.1%
計	805	100.0%

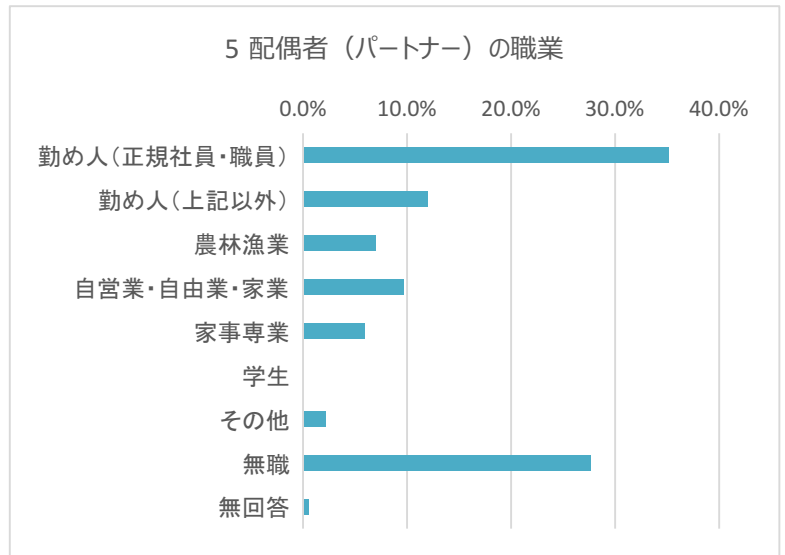
回答者の69.3%が「結婚している」となっている。



## 5 配偶者（パートナー）の職業

区分	件数	構成比
勤め人（正規社員・職員）	196	35.1%
勤め人（上記以外）	67	12.0%
農林漁業	39	7.0%
自営業・自由業・家業	54	9.7%
家事専業	33	5.9%
学生	0	0.0%
その他	12	2.2%
無職	154	27.6%
無回答	3	0.5%
計	558	100.0%

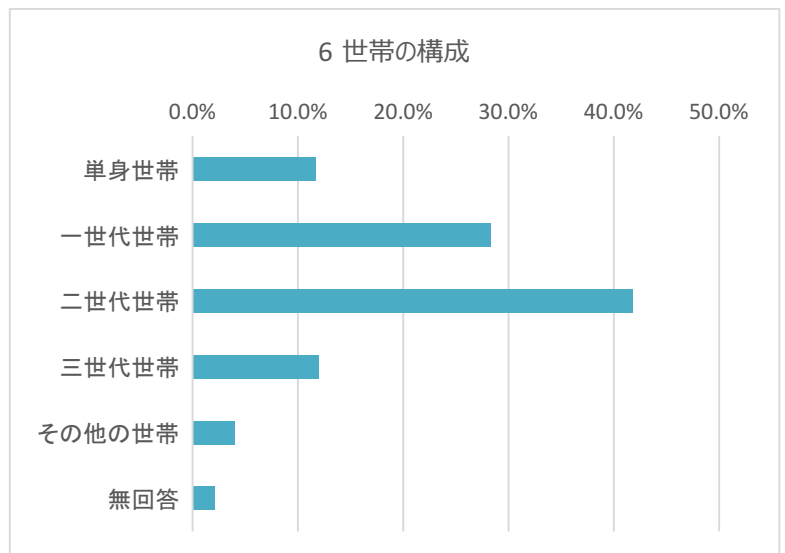
回答者の配偶者（パートナー）は、多い順から、勤め人（正規社員・職員）35.1%、無職27.6%となっている。



## 6 世帯の構成

区分	件数	構成比
単身世帯	94	11.7%
一世代世帯	228	28.3%
二世帯世帯	337	41.9%
三世帯世帯	97	12.0%
その他の世帯	32	4.0%
無回答	17	2.1%
計	805	100.0%

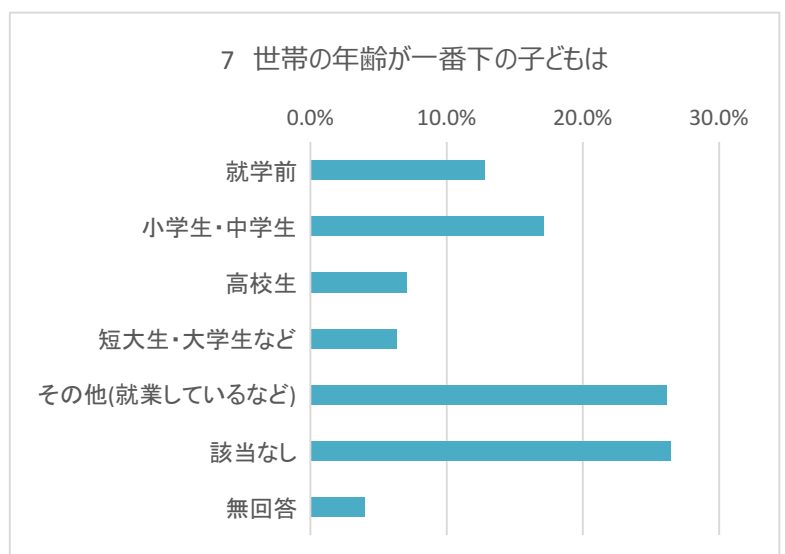
回答者の世帯構成は、多い順から、二世帯世帯41.9%、一世代世帯28.3%、三世帯世帯12.0%となっている。



## 7 世帯の年齢が一番下の子どもは

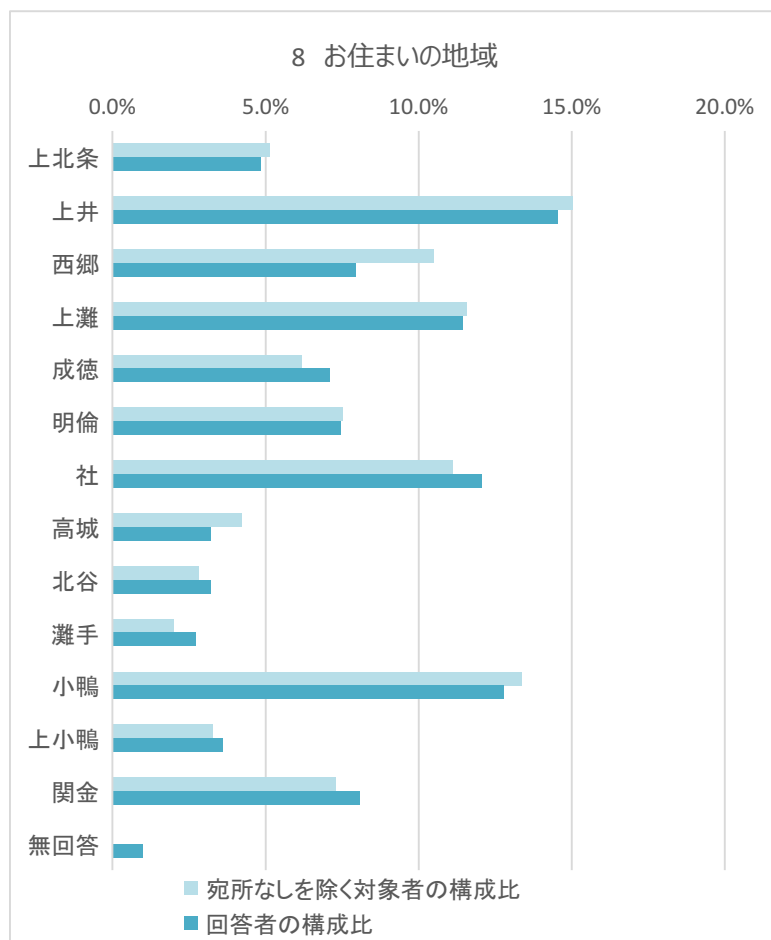
区分	件数	構成比
就学前	103	12.8%
小学生・中学生	138	17.1%
高校生	57	7.1%
短大生・大学生など	51	6.3%
その他(就業しているなど)	211	26.2%
該当なし	213	26.5%
無回答	32	4.0%
計	805	100.0%

世帯に子どもがいない世帯が一番多く「該当なし」26.5%。世帯の一番下の年齢の子どもについて、多い順から「その他(就業しているなど)」26.2%、「小学生・中学生」17.1%となっている。



## 8 お住まいの地域

区分	対象者	宛所なしを 除く対象者	件数	回収率	回答者の構成比	対象者の構成比	宛所なしを除く 対象者の構成 比
上北条	104	102	39	38.2%	4.8%	5.2%	5.1%
上井	300	299	117	39.1%	14.5%	15.0%	15.0%
西郷	209	209	64	30.6%	8.0%	10.5%	10.5%
上灘	232	230	92	40.0%	11.4%	11.6%	11.6%
成徳	123	123	57	46.3%	7.1%	6.2%	6.2%
明倫	150	150	60	40.0%	7.5%	7.5%	7.5%
社	222	221	97	43.9%	12.0%	11.1%	11.1%
高城	85	84	26	31.0%	3.2%	4.3%	4.2%
北谷	56	56	26	46.4%	3.2%	2.8%	2.8%
灘手	40	40	22	55.0%	2.7%	2.0%	2.0%
小鴨	268	266	103	38.7%	12.8%	13.4%	13.4%
上小鴨	66	65	29	44.6%	3.6%	3.3%	3.3%
関金	145	145	65	44.8%	8.1%	7.3%	7.3%
無回答			8		1.0%		
計	2,000	1,990	805		100.0%	100.0%	100.0%



問1 あなたは、次の言葉について知っていますか

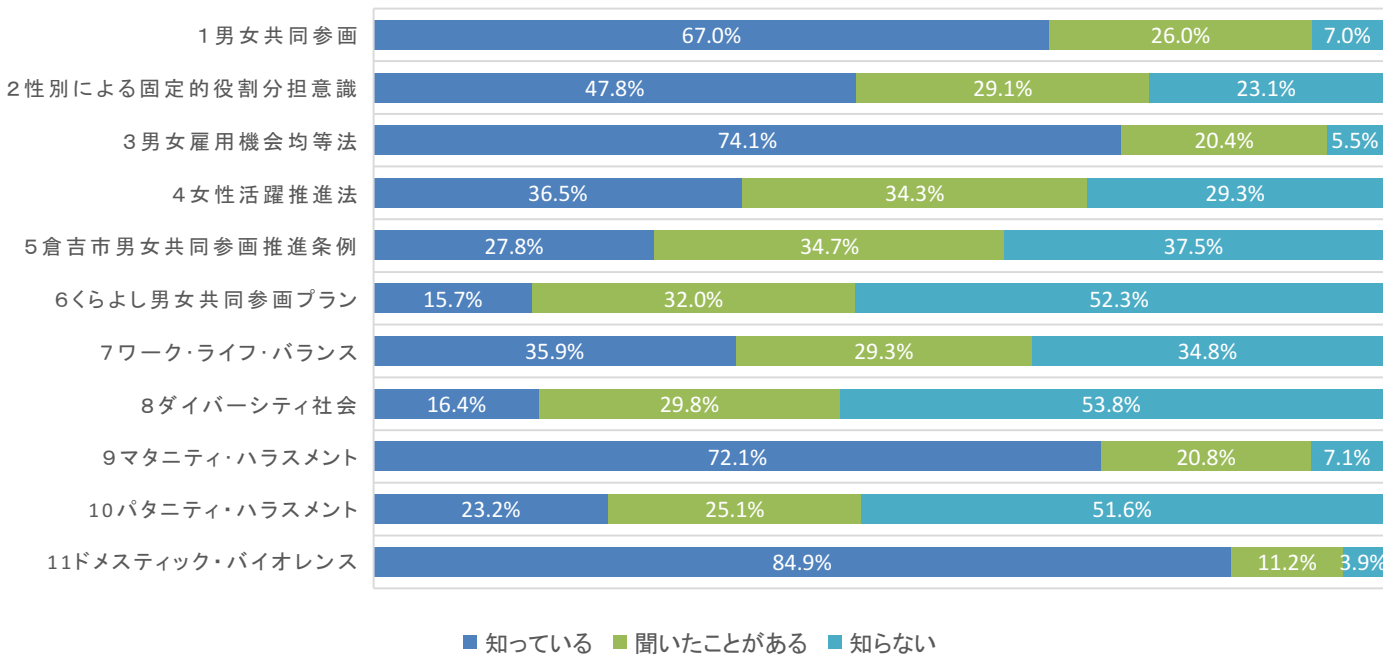
男女共同参画に関する言葉(用語)について、「知っている」と「聞いたことがある」を合わせた割合が高かったのは、「11 ドメスティック・バイオレンス(新規項目)」96.1%、「3 男女雇用機会均等法」94.5%(前回90.8%)、「9 マタニティ・ハラスメント(新規項目)」93.0%となっている。一方、「知らない」の割合が高かったのは、「9 ダイバーシティ社会(新規項目)」53.8%、「6 くらよし男女共同参画プラン」52.3%(前回52.7%)、「10 パタニティ・ハラスメント(新規項目)」51.6%となっている。

男女別集計において、「知っている」の割合が男女で5ポイント以上差がある言葉は、「9 マタニティ・ハラスメント」(女性が14.5ポイント高い)、「4 女性活躍推進法」(男性が9.0ポイント高い)、「11 ドメスティック・バイオレンス」(女性が7.3ポイント高い)。

また、前回比で「知っている」、「聞いたことがある」の計が10ポイント以上増加し認知度が上がっているのは、「2 性別による固定的役割分担意識」(57.7ポイント増)と、「7 ワークライフバランス」(16.7ポイント増)となっている。

【単純集計】

男女共同参画に関する用語の認知度



(男女別集計) ※上記グラフ内の数値と男女別集計の割合が異なるのは性別の回答をしていない回答者があるため。以下

1 男女共同参画社会

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	307	68.5%	223	64.8%	530	66.9%	185	60.3%
聞いたことがある	111	24.8%	95	27.6%	206	26.0%	100	32.6%
知らない	30	6.7%	26	7.6%	56	7.1%	22	7.2%
n =	448		344		792		307	

2 性別による固定的役割分担意識

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	225	50.2%	154	44.5%	379	47.7%	20	6.7%
聞いたことがある	130	29.0%	101	29.2%	231	29.1%	37	12.4%
知らない	93	20.8%	91	26.3%	184	23.2%	241	80.9%
n =	448		346		794		298	

3 男女雇用機会均等法

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	331	74.0%	255	73.9%	586	74.0%	194	63.8%
聞いたことがある	91	20.4%	71	20.6%	162	20.5%	82	27.0%
知らない	25	5.6%	19	5.5%	44	5.6%	28	9.2%
n =	447		345		792		304	

4 女性活躍推進法(新規項目)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	145	32.5%	144	41.5%	289	36.4%		
聞いたことがある	163	36.5%	110	31.7%	273	34.4%		
知らない	138	30.9%	93	26.8%	231	29.1%		
n =	446		347		793			

5 倉吉市男女共同参画推進条例

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	118	26.3%	104	30.1%	222	28.0%	52	17.3%
聞いたことがある	164	36.6%	113	32.7%	277	34.9%	115	38.3%
知らない	166	37.1%	129	37.3%	295	37.2%	133	44.3%
n =	448		346		794		300	

6 くらよし男女共同参画プラン

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	67	15.3%	56	16.3%	123	15.7%	33	11.2%
聞いたことがある	139	31.7%	112	32.7%	251	32.1%	106	36.1%
知らない	233	53.1%	175	51.0%	408	52.2%	155	52.7%
n =	439		343		782		294	

7 ワーク・ライフ・バランス

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	160	36.1%	123	36.2%	283	36.1%	71	23.7%
聞いたことがある	137	30.9%	90	26.5%	227	29.0%	74	24.7%
知らない	146	33.0%	127	37.4%	273	34.9%	154	51.5%
n =	443		340		783		299	

8 ダイバーシティ社会(新規項目)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	67	15.2%	62	18.1%	129	16.5%		
聞いたことがある	130	29.4%	104	30.4%	234	29.8%		
知らない	245	55.4%	176	51.5%	421	53.7%		
n =	442		342		784			

9 マタニティ・ハラスメント(新規項目)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	349	78.6%	218	64.1%	567	72.3%		
聞いたことがある	67	15.1%	94	27.6%	161	20.5%		
知らない	28	6.3%	28	8.2%	56	7.1%		
n =	444		340		784			

10 パタニティ・ハラスメント(新規項目)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	104	23.4%	80	23.3%	184	23.4%		
聞いたことがある	110	24.7%	88	25.7%	198	25.1%		
知らない	231	51.9%	175	51.0%	406	51.5%		
n =	445		343		788			

11 ドメスティック・バイオレンス(新規項目)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	394	88.3%	278	81.0%	672	85.2%		
聞いたことがある	37	8.3%	49	14.3%	86	10.9%		
知らない	15	3.4%	16	4.7%	31	3.9%		
n =	446		343		789			

# I 男女平等について

問2 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

各分野における男女の地位の平等感について、「①学校教育の場」では52.6%（前回58.6%）の人が「平等である」と答えている。次いで、「③家庭生活」では39.5%（前回34.2%）、「⑥法律や制度の上で」では32.6%（前回36.7%）、「④町内会や地域」では30.0%（前回36.0%）と続いている。

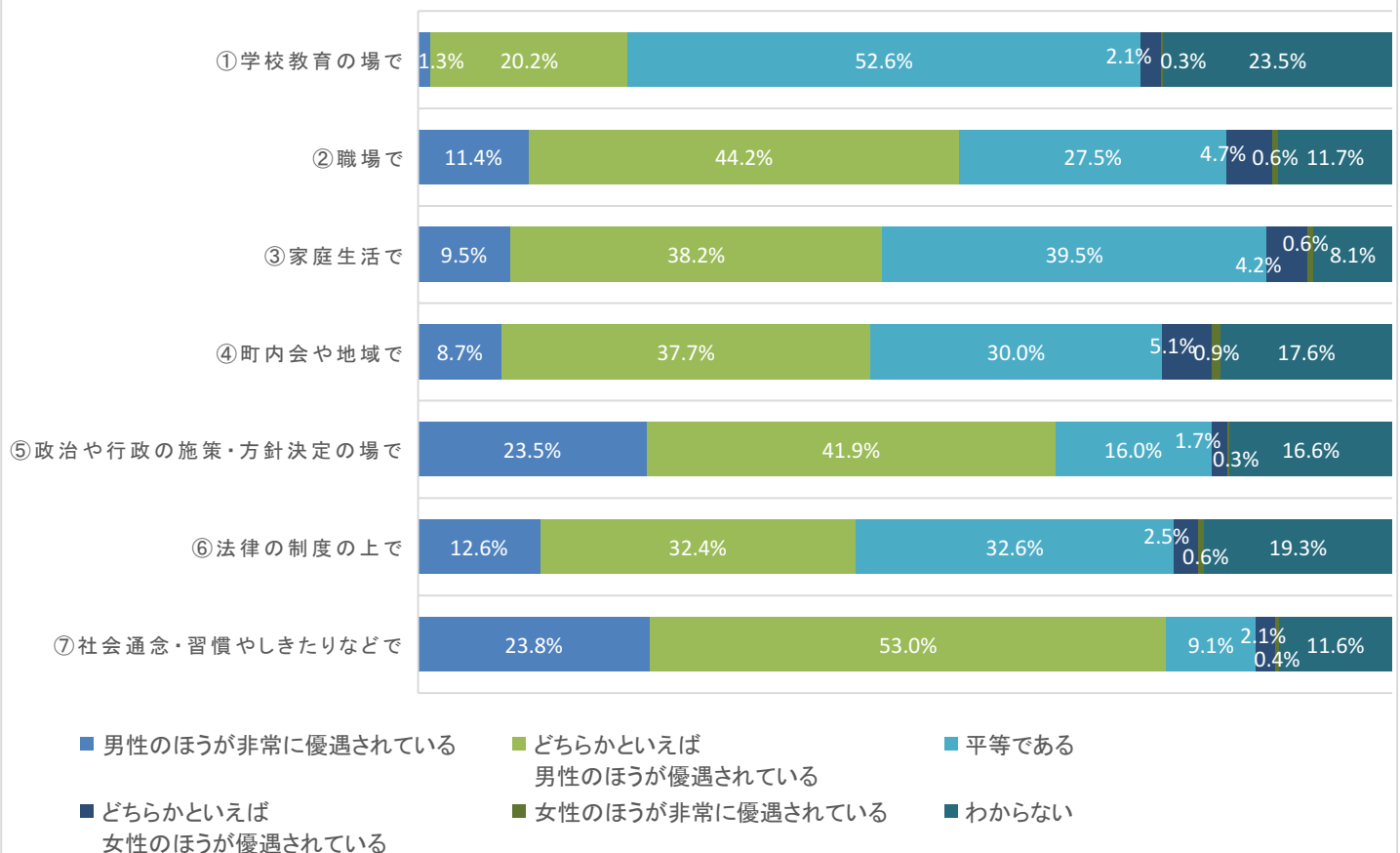
一方、「男性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」を合わせた『男性優遇』と答えた人は、「⑦社会通念・習慣やしきたり」では76.8%（前回73.4%）、「⑤政治や行政の施策・方針決定」では65.4%（前回58.8%）、「②職場」では55.6%（前回54.1%）、「③家庭生活」では47.7%（前回52.3%）と続いている。

前回調査と比較して変化があったものとして、「平等である」と答えた人が減少し、その分『男性優遇』が増加しているのは、「①学校教育の場」、「⑤政治や行政の施策・方針決定の場」、「⑥法律や制度上」、「⑦社会通念、習慣、しきたりなど」で、依然として『男性優遇』と感じている人が多い。一方、『男性優遇』が減少し「平等である」と答えた人が増えているのは、「③家庭生活」。ほぼ変化のないのが「②職場」であった。

年齢別では、「①学校教育の場」では「平等である」と回答した割合が高く、最も割合が高いのは18～19歳で61.5%、最も低いのは60代47.7%。「②職場」では『男性優遇』と回答した割合が高く、最も高いのは80歳以上で64.3%、最も低いのは20代の22.0%であった。「③家庭生活」では『男性優遇』と回答した割合が高く、最も高いのは50代で56.1%、最も低いのは18～19歳で23.1%。「④町内会や地域」では『男性優遇』と回答した割合が高く、最も高いのは50代で51.4%、最も低いのは18～19歳で15.4%。「⑤政治や行政の施策・方針決定の場」では『男性優遇』と回答した割合が高く、60代が70.9%と最も高く、18～19歳が46.2%と最も低い。「⑥法律や制度の上」でも『男性優遇』と回答した割合が高く、60代が53.5%と最も高く、18～19歳が23.1%と最も低い。「⑦社会通念・習慣やしきたりなど」でも『男性優遇』と回答した割合が高く、60代が83.8%と最も高く、20代が48.8%と最も低い。

## 【単純集計】

### 問2 男女の地位は平等になっていますか



【男女別集計】

① 学校教育の場で

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性が非常に優遇されている	6	1.4%	4	1.2%	10	1.3%	4	1.3%
どちらかといえば男性が優遇されている	101	23.4%	54	16.1%	155	20.2%	38	12.4%
平等である	208	48.3%	195	58.2%	403	52.6%	180	58.6%
どちらかといえば女性が優遇されている	9	2.1%	7	2.1%	16	2.1%	6	2.0%
女性が非常に優遇されている	0	0.0%	2	0.6%	2	0.3%	2	0.7%
わからない	107	24.8%	73	21.8%	180	23.5%	77	25.1%
n =	431		335		766		307	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
男性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.0%	2.5%	1.7%	0.0%
どちらかといえば男性が優遇されている	15.4%	17.1%	20.0%	20.0%	24.8%	22.8%	16.9%	16.3%
平等である	61.5%	56.1%	49.4%	57.3%	55.2%	47.7%	52.0%	58.1%
どちらかといえば女性が優遇されている	7.7%	2.4%	4.7%	2.7%	0.0%	2.5%	1.1%	0.0%
女性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
わからない	15.4%	24.4%	24.7%	19.1%	19.0%	24.4%	27.7%	25.6%

② 職場で

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性が非常に優遇されている	62	14.4%	26	7.6%	88	11.4%	30	9.9%
どちらかといえば男性が優遇されている	189	43.9%	152	44.6%	341	44.2%	134	44.2%
平等である	103	23.9%	109	32.0%	212	27.5%	80	26.4%
どちらかといえば女性が優遇されている	21	4.9%	15	4.4%	36	4.7%	17	5.6%
女性が非常に優遇されている	2	0.5%	3	0.9%	5	0.6%	2	0.7%
わからない	54	12.5%	36	10.6%	90	11.7%	40	13.2%
n =	431		341		772		303	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
男性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	16.1%	10.0%	7.5%	13.2%	11.7%	16.7%
どちらかといえば男性が優遇されている	23.1%	22.0%	32.2%	44.5%	45.8%	49.2%	48.3%	47.6%
平等である	7.7%	43.9%	31.0%	34.5%	34.6%	23.4%	23.9%	9.5%
どちらかといえば女性が優遇されている	7.7%	19.5%	10.3%	3.6%	5.6%	3.6%	1.1%	0.0%
女性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	3.4%	0.9%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
わからない	61.5%	14.6%	6.9%	6.4%	6.5%	10.7%	14.4%	26.2%

③ 家庭生活で

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性が非常に優遇されている	59	13.7%	14	4.1%	73	9.5%	40	12.9%
どちらかといえば男性が優遇されている	179	41.4%	115	34.0%	294	38.2%	122	39.4%
平等である	145	33.6%	159	47.0%	304	39.5%	106	34.2%
どちらかといえば女性が優遇されている	15	3.5%	17	5.0%	32	4.2%	18	5.8%
女性が非常に優遇されている	3	0.7%	2	0.6%	5	0.6%	4	1.3%
わからない	31	7.2%	31	9.2%	62	8.1%	20	6.5%
n =	432		338		770		310	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
男性が非常に優遇されている	0.0%	7.3%	10.3%	10.1%	11.2%	11.2%	7.8%	4.8%
どちらかといえば男性が優遇されている	23.1%	29.3%	39.1%	32.1%	44.9%	36.5%	40.2%	47.6%
平等である	53.8%	43.9%	43.7%	45.9%	32.7%	39.1%	40.2%	26.2%
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0%	12.2%	2.3%	3.7%	2.8%	5.1%	3.4%	4.8%
女性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	1.0%	0.6%	0.0%
わからない	23.1%	7.3%	4.6%	7.3%	7.5%	7.1%	7.8%	16.7%



④ 町内会や地域で

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性が非常に優遇されている	49	11.4%	17	5.1%	66	8.7%	22	7.1%
どちらかといえば男性が優遇されている	170	39.6%	118	35.3%	288	37.7%	114	37.0%
平等である	100	23.3%	129	38.6%	229	30.0%	111	36.0%
どちらかといえば女性が優遇されている	15	3.5%	24	7.2%	39	5.1%	18	5.8%
女性が非常に優遇されている	3	0.7%	4	1.2%	7	0.9%	4	1.3%
わからない	92	21.4%	42	12.6%	134	17.6%	39	12.7%
n =	429		334		763		308	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
男性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	12.8%	8.3%	6.5%	7.2%	10.8%	11.9%
どちらかといえば男性が優遇されている	15.4%	24.4%	29.1%	35.8%	44.9%	43.3%	36.9%	38.1%
平等である	30.8%	34.1%	22.1%	28.4%	29.9%	30.9%	34.7%	28.6%
どちらかといえば女性が優遇されている	7.7%	4.9%	5.8%	4.6%	3.7%	4.6%	7.4%	0.0%
女性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.9%	2.1%	0.0%	0.0%
わからない	46.2%	36.6%	30.2%	21.1%	14.0%	11.9%	10.2%	21.4%

⑤ 政治や行政の施策・方針決定の場で

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性が非常に優遇されている	120	27.7%	61	18.1%	181	23.5%	57	18.5%
どちらかといえば男性が優遇されている	190	43.9%	133	39.5%	323	41.9%	124	40.3%
平等である	41	9.5%	82	24.3%	123	16.0%	67	21.8%
どちらかといえば女性が優遇されている	5	1.2%	8	2.4%	13	1.7%	5	1.6%
女性が非常に優遇されている	0	0.0%	2	0.6%	2	0.3%	1	0.3%
わからない	77	17.8%	51	15.1%	128	16.6%	54	17.5%
n =	433		337		770		308	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
男性が非常に優遇されている	7.7%	17.1%	32.2%	23.6%	22.9%	21.4%	24.6%	18.2%
どちらかといえば男性が優遇されている	38.5%	36.6%	35.6%	35.5%	44.8%	49.5%	43.6%	31.8%
平等である	23.1%	17.1%	10.3%	17.3%	17.1%	13.8%	19.6%	13.6%
どちらかといえば女性が優遇されている	7.7%	4.9%	3.4%	0.0%	1.9%	2.6%	0.0%	0.0%
女性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
わからない	23.1%	24.4%	18.4%	22.7%	13.3%	12.2%	12.3%	36.4%

⑥ 法律や制度の上で

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性が非常に優遇されている	75	17.3%	22	6.5%	97	12.6%	22	7.2%
どちらかといえば男性が優遇されている	158	36.4%	92	27.2%	250	32.4%	93	30.5%
平等である	94	21.7%	158	46.7%	252	32.6%	112	36.7%
どちらかといえば女性が優遇されている	11	2.5%	8	2.4%	19	2.5%	15	4.9%
女性が非常に優遇されている	0	0.0%	5	1.5%	5	0.6%	5	1.6%
わからない	96	22.1%	53	15.7%	149	19.3%	58	19.0%
n =	434		338		772		305	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
男性が非常に優遇されている	0.0%	12.2%	28.7%	11.8%	13.2%	12.2%	8.8%	0.0%
どちらかといえば男性が優遇されている	23.1%	19.5%	19.5%	32.7%	34.9%	41.3%	32.6%	25.6%
平等である	30.8%	22.0%	26.4%	28.2%	33.0%	31.6%	39.2%	44.2%
どちらかといえば女性が優遇されている	7.7%	7.3%	8.0%	0.9%	0.9%	2.0%	1.7%	0.0%
女性が非常に優遇されている	0.0%	2.4%	1.1%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	38.5%	36.6%	16.1%	24.5%	17.0%	12.8%	17.7%	30.2%

⑦ 社会通念・習慣やしきたりなどで

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性が非常に優遇されている	128	29.4%	57	16.7%	185	23.8%	59	18.9%
どちらかといえば男性が優遇されている	213	48.9%	199	58.4%	412	53.0%	170	54.5%
平等である	33	7.6%	38	11.1%	71	9.1%	41	13.1%
どちらかといえば女性が優遇されている	3	0.7%	13	3.8%	16	2.1%	6	1.9%
女性が非常に優遇されている	2	0.5%	1	0.3%	3	0.4%	2	0.6%
わからない	57	13.1%	33	9.7%	90	11.6%	34	10.9%
	n = 436		341		777		312	

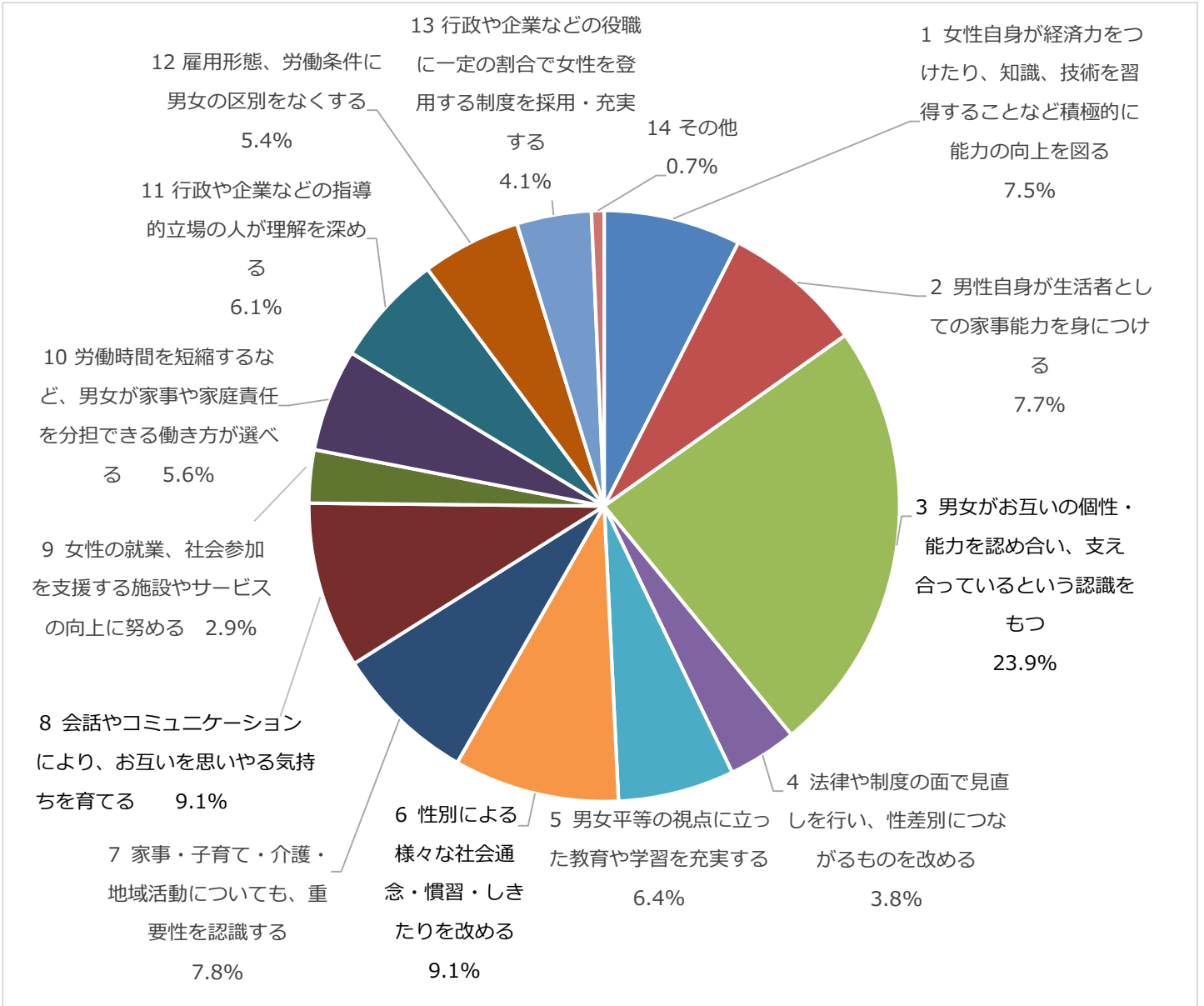
【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
男性が非常に優遇されている	7.7%	17.1%	32.2%	26.4%	22.4%	24.9%	20.8%	18.2%
どちらかといえば男性が優遇されている	53.8%	31.7%	48.3%	49.1%	58.9%	58.9%	52.5%	56.8%
平等である	7.7%	19.5%	4.6%	9.1%	6.5%	6.6%	13.1%	11.4%
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0%	4.9%	2.3%	1.8%	0.9%	2.5%	2.2%	0.0%
女性が非常に優遇されている	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	30.8%	26.8%	12.6%	12.7%	9.3%	7.1%	11.5%	13.6%

問3 あなたは、男女が平等な立場で協力しあっていくためには、どんなことが大切だと思いますか。  
(○は3つまで)

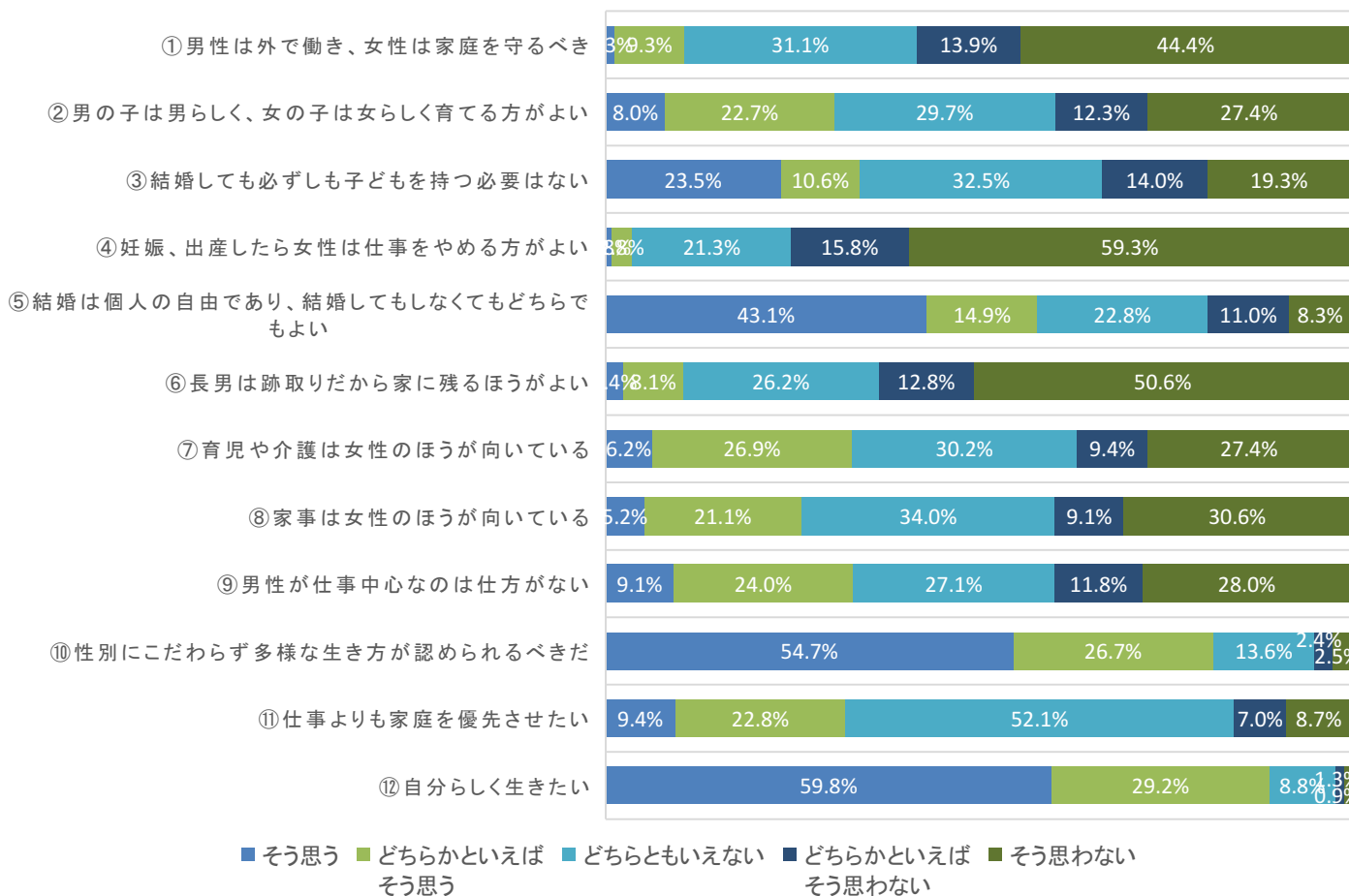
「3 男女がお互いの個性・能力を認め合い、支え合っているという認識を持つ」が23.9%(前回22.8%)、「8 会話やコミュニケーションにより、お互いを思いやる気持ちを育てる」が9.1%(前回9.1%)、「6 性別による様々な社会通念・慣習・しきたりを改める」が9.1%、「7 家事・子育て・介護・地域活動についても、重要性を認識する」が7.8%(前回8.5%)、「2 男性自身が生活者として家事能力を身につける」7.7%(前回8.7%)、「1 女性自身が経済力をつけたり、知識、技術を習得するなど積極的に能力の向上を図る」が7.5%(前回8.5%)となっている。

【単純集計】



問4 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。

## 問4 あなたは次のような考え方についてどう思いますか



### 【男女別集計】

#### ① 男性は外で働き、女性は家庭を守るべき

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	4	0.9%	6	1.7%	10	1.3%	8	2.5%
どちらかといえばそう思う	36	8.2%	38	11.0%	74	9.4%	47	14.6%
どちらともいえない	130	29.5%	114	33.1%	244	31.1%	109	34.0%
どちらかといえばそう思わない	63	14.3%	46	13.4%	109	13.9%	44	13.7%
そう思わない	208	47.2%	140	40.7%	348	44.3%	113	35.2%
n =	441		344		785		321	

### 【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.0%	2.2%	4.4%
どちらかといえばそう思う	8.3%	9.8%	4.7%	8.2%	7.4%	7.9%	13.4%	15.6%
どちらともいえない	8.3%	24.4%	26.7%	24.5%	31.5%	31.7%	37.6%	37.8%
どちらかといえばそう思わない	0.0%	7.3%	17.4%	13.6%	12.0%	14.4%	16.1%	11.1%
そう思わない	83.3%	58.5%	51.2%	51.8%	49.1%	45.0%	30.6%	31.1%

「① 男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた否定的回答は58.3%（前回48.9%）、「どちらともいえない」が31.1%（前回34.0%）、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的回答は10.6%（前回17.1%）となっている。否定的回答が前回より9.4ポイント増加。

男女別では、否定的回答は7.4ポイント女性が高い。

年齢別では、若い年代になるにつれて否定的回答の割合が高くなっている。

②男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	30	6.8%	31	9.0%	61	7.8%	54	16.8%
どちらかといえばそう思う	89	20.3%	89	25.9%	178	22.8%	88	27.3%
どちらともいえない	122	27.9%	107	31.2%	229	29.3%	86	26.7%
どちらかといえばそう思わない	53	12.1%	44	12.8%	97	12.4%	30	9.3%
そう思わない	144	32.9%	72	21.0%	216	27.7%	64	19.9%
	n = 438		343		781		322	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	8.3%	0.0%	4.7%	7.3%	8.4%	5.0%	12.4%	18.2%
どちらかといえばそう思う	16.7%	19.5%	16.3%	23.6%	25.2%	20.4%	25.4%	31.8%
どちらともいえない	8.3%	31.7%	25.6%	23.6%	29.0%	34.8%	30.8%	27.3%
どちらかといえばそう思わない	8.3%	14.6%	11.6%	10.9%	8.4%	11.4%	17.3%	9.1%
そう思わない	58.3%	34.1%	41.9%	34.5%	29.0%	28.4%	14.1%	13.6%

「②男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい」では、否定的回答は39.7%（前回29.2%）、「どちらともいえない」が29.7%（前回27.3%）、肯定的回答は30.7%（前回44.1%）、となっている。否定的回答が前回より10.5ポイント増加。

男女別では、否定的回答は11.2ポイント女性が高い。

年齢別では、否定的回答が18～19歳と30代が50%以上の割合。肯定的回答においては、80歳以上は50.0%、40代、50代、70代は30%台、その他の年代は20%台の割合となっており、この項目では年代があがるにつれて肯定的とは言えない。

③結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	136	31.1%	49	14.2%	185	23.6%	44	13.7%
どちらかといえばそう思う	48	11.0%	36	10.4%	84	10.7%	21	6.5%
どちらともいえない	137	31.3%	117	33.9%	254	32.4%	88	27.3%
どちらかといえばそう思わない	48	11.0%	62	18.0%	110	14.0%	77	23.9%
そう思わない	69	15.8%	81	23.5%	150	19.2%	92	28.6%
	n = 438		345		783		322	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	25.0%	53.7%	50.0%	38.2%	20.4%	15.8%	8.7%	10.9%
どちらかといえばそう思う	16.7%	7.3%	12.8%	13.6%	17.6%	6.9%	10.9%	0.0%
どちらともいえない	33.3%	26.8%	24.4%	28.2%	41.7%	42.1%	27.9%	17.4%
どちらかといえばそう思わない	8.3%	2.4%	4.7%	13.6%	9.3%	15.3%	20.2%	23.9%
そう思わない	16.7%	9.8%	8.1%	6.4%	11.1%	19.8%	32.2%	47.8%

「③結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」では、否定的回答は33.2%（前回52.5%）、「どちらともいえない」が32.4%（前回27.3%）、肯定的回答は34.3%（前回20.2%）、となっている。肯定的回答が前回より14.1%増加。

男女別では、肯定的回答では女性42.1%、男性24.6%と女性が17.5ポイント男性より高い。否定的回答は女性26.8%、男性41.5%と男性が14.7ポイント高く、対照的な結果となっている。

年齢別では、20代から40代にかけて肯定的回答が50%以上で、70代以上は否定的回答が50%、50代、60代はどちらとも言えないが40%以上で高くなっている。

④妊娠、出産したら女性は仕事をやめるほうがよい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	2	0.5%	3	0.9%	5	0.6%	5	1.6%
どちらかといえばそう思う	9	2.1%	13	3.8%	22	2.8%	9	2.8%
どちらともいえない	84	19.2%	82	23.9%	166	21.3%	94	29.6%
どちらかといえばそう思わない	70	16.0%	54	15.7%	124	15.9%	58	18.2%
そう思わない	272	62.2%	191	55.7%	463	59.4%	152	47.8%
n=	437		343		780		318	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	1.1%	0.0%
どちらかといえばそう思う	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	3.7%	3.5%	3.8%	6.8%
どちらともいえない	16.7%	26.8%	17.4%	22.0%	20.4%	18.0%	23.9%	29.5%
どちらかといえばそう思わない	0.0%	9.8%	11.6%	13.8%	21.3%	11.5%	20.7%	25.0%
そう思わない	83.3%	63.4%	70.9%	63.3%	54.6%	65.5%	50.5%	38.6%

「④妊娠、出産したら女性は仕事をやめるほうがよい」では、否定的回答は75.3%（前回66.0%）、「どちらともいえない」は21.3%（前回29.6%）、肯定的回答は、3.6%（前回4.4%）となっている。否定的回答が前回より9.1ポイント増加。男女別では、ほぼ差はないが、否定的回答が女性のほうが6.8ポイント高い。

年齢別では、全ての年代において否定的回答が高く、最も高いのが18～19歳で83.3%、年齢が高くなるにつれて下がっているが80歳以上でも63.6%となっている。

⑤結婚は個人の自由であり、結婚してもしなくてもどちらでもよい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	236	53.3%	103	30.0%	339	43.1%	86	26.7%
どちらかといえばそう思う	61	13.8%	57	16.6%	118	15.0%	58	18.0%
どちらともいえない	82	18.5%	96	28.0%	178	22.6%	65	20.2%
どちらかといえばそう思わない	32	7.2%	55	16.0%	87	11.1%	63	19.6%
そう思わない	32	7.2%	32	9.3%	64	8.1%	50	15.5%
n=	443		343		786		322	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	58.3%	65.9%	67.4%	62.4%	44.4%	37.6%	26.2%	13.0%
どちらかといえばそう思う	25.0%	12.2%	17.4%	11.0%	16.7%	16.8%	13.4%	13.0%
どちらともいえない	16.7%	17.1%	8.1%	17.4%	25.9%	29.7%	24.1%	28.3%
どちらかといえばそう思わない	0.0%	4.9%	5.8%	6.4%	7.4%	10.9%	18.2%	19.6%
そう思わない	0.0%	0.0%	1.2%	2.8%	5.6%	5.0%	18.2%	26.1%

「⑤結婚は個人の自由であり、結婚してもしなくてもどちらでもよい」では、否定的回答は19.2%（前回35.1%）、「どちらともいえない」は22.6%（前回20.2%）、肯定的回答は58.1%（前回44.7%）となっている。肯定的回答が前回より13.4ポイント増加。

男女別では、肯定的回答は女性67.1%、男性46.6%と20.5ポイント女性のほうが高くなっている。

年齢別では、肯定的回答が18～19歳で83.3%と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなっていく。否定的回答が18～19歳は0%で、60代までは10%代だが、70代以上から30%を超えている。

⑥長男は跡取りだから家に残るほうがよい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	10	2.3%	8	2.3%	18	2.3%	18	5.6%
どちらかといえばそう思う	25	5.6%	39	11.3%	64	8.1%	38	11.8%
どちらともいえない	95	21.4%	107	31.1%	202	25.7%	103	32.0%
どちらかといえばそう思わない	57	12.9%	45	13.1%	102	13.0%	35	10.9%
そう思わない	256	57.8%	145	42.2%	401	51.0%	128	39.8%
n=	443		344		787		322	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	3.7%	1.0%	2.2%	12.8%
どちらかといえばそう思う	0.0%	7.3%	1.2%	8.2%	8.3%	7.4%	8.6%	23.4%
どちらともいえない	25.0%	34.1%	20.9%	23.6%	21.3%	28.7%	28.0%	27.7%
どちらかといえばそう思わない	16.7%	9.8%	9.3%	8.2%	12.0%	14.4%	17.2%	10.6%
そう思わない	58.3%	48.8%	68.6%	57.3%	54.6%	48.5%	44.1%	25.5%

「⑥長男は跡取りだから家に残るほうがよい」では、否定的回答は64.0%（前回35.1%）、「どちらともいえない」は25.7%（前回32.0%）、肯定的回答は10.4%（前回17.4%）となっている。否定的回答が前回より28.9ポイント増加。

男女別では、肯定的回答で女性7.9%、男性13.6%と5.7ポイント男性のほうが高く、否定的回答は女性70.7%、男性55.3%と15.4ポイント女性が高い。

年齢別では、80歳以上が否定的回答で36.1%と最も低く、高いほうは30代77.9%、18～19歳が75%となっている。肯定的回答では18～19歳が0%と最も低く、高いほうは80歳以上36.1%と最も高いが、この割合は80歳以上の否定的回答36.2%とほぼ同じ割合となっている。

⑦育児や介護は女性のほうが向いている

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	23	5.2%	26	7.6%	49	6.3%	31	9.7%
どちらかといえばそう思う	86	19.5%	125	36.7%	211	27.0%	100	31.3%
どちらともいえない	129	29.3%	103	30.2%	232	29.7%	87	27.3%
どちらかといえばそう思わない	44	10.0%	30	8.8%	74	9.5%	36	11.3%
そう思わない	158	35.9%	57	16.7%	215	27.5%	65	20.4%
n=	440		341		781		319	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	0.0%	2.4%	2.3%	2.7%	5.6%	4.5%	10.3%	20.9%
どちらかといえばそう思う	16.7%	17.1%	16.3%	25.5%	19.4%	30.8%	35.7%	27.9%
どちらともいえない	8.3%	26.8%	25.6%	29.1%	35.2%	33.8%	27.6%	30.2%
どちらかといえばそう思わない	25.0%	7.3%	14.0%	5.5%	13.0%	7.5%	10.3%	4.7%
そう思わない	50.0%	46.3%	41.9%	37.3%	26.9%	23.4%	16.2%	16.3%

「⑦育児や介護は女性の方が向いている」では、否定的回答は37.0%（前回31.7%）、「どちらともいえない」は29.7%（前回27.3%）、肯定的回答は33.3%（前回41.0%）となっている。否定的回答が前回より5.3ポイント増加。

男女別では、肯定的回答では女性24.7%、男性44.3%と男性が19.6ポイント女性より高い。否定的回答は女性45.9%、男性25.5%と女性が20.4ポイント高く、対照的な結果となっている。

年齢別では、否定的回答で18～19歳が75%が最も高く年齢が上がるにつれて低くなっている。70代以上は肯定的回答が40%以上となっており否定的回答の倍の割合になっている。

⑧家事は女性のほうが向いている

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	18	4.1%	23	6.7%	41	5.3%	25	7.9%
どちらかといえばそう思う	70	16.0%	95	27.8%	165	21.2%	86	27.2%
どちらともいえない	142	32.4%	122	35.7%	264	33.8%	99	31.3%
どちらかといえばそう思わない	40	9.1%	31	9.1%	71	9.1%	34	10.8%
そう思わない	168	38.4%	71	20.8%	239	30.6%	72	22.8%
	n = 438		342		780		316	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	0.0%	4.9%	2.3%	1.8%	3.7%	5.4%	6.6%	17.8%
どちらかといえばそう思う	8.3%	12.2%	14.0%	20.0%	7.5%	22.8%	31.3%	33.3%
どちらともいえない	16.7%	29.3%	24.4%	32.7%	37.4%	39.6%	35.2%	26.7%
どちらかといえばそう思わない	25.0%	9.8%	11.6%	8.2%	13.1%	7.9%	8.2%	2.2%
そう思わない	50.0%	43.9%	47.7%	37.3%	38.3%	24.3%	18.7%	20.0%

「⑧家事は女性のほうが向いている」では、否定的回答は39.7%（前回33.6%）、「どちらともいえない」は33.8%（前回31.3%）、肯定的回答は26.5%（前回35.1%）となっている。否定的回答が前回より6.1ポイント増加。

男女別では、否定的回答では女性47.5%、男性29.9%と女性が17.6ポイント男性より高い。肯定的回答は男性が14.4%高く、対照的な結果となっている。

年齢別では、否定的回答で18～19歳が75%と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなっている。60代においては「どちらともいえない」が39.6%と肯定的回答28.2%、否定的回答32.2%よりも高くなっている。

⑨男性が仕事中心なのは仕方がない

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	41	9.4%	31	9.0%	72	9.2%	35	10.9%
どちらかといえばそう思う	88	20.2%	99	28.8%	187	24.0%	94	29.3%
どちらともいえない	106	24.4%	102	29.7%	208	26.7%	85	26.5%
どちらかといえばそう思わない	59	13.6%	33	9.6%	92	11.8%	41	12.8%
そう思わない	141	32.4%	79	23.0%	220	28.2%	66	20.6%
	n = 435		344		779		321	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	0.0%	2.4%	4.7%	6.4%	4.7%	11.1%	15.1%	11.4%
どちらかといえばそう思う	16.7%	17.1%	17.4%	27.3%	20.6%	18.6%	31.4%	40.9%
どちらともいえない	16.7%	24.4%	26.7%	13.6%	29.9%	37.2%	27.0%	13.6%
どちらかといえばそう思わない	8.3%	24.4%	10.5%	10.9%	15.0%	10.1%	9.7%	13.6%
そう思わない	58.3%	31.7%	40.7%	41.8%	29.9%	23.1%	16.8%	20.5%

「⑨男性が仕事中心なのは仕方がない」では、否定的回答は39.8%（前回33.4%）、「どちらともいえない」は27.1%（前回26.5%）、肯定的回答は33.1%（前回40.2%）となっている。否定的回答が前回より6.4ポイント増加。

男女別では、否定的回答が女性46.0%、男性32.6%と13.4ポイント女性が高い。

年齢別では、否定的回答が18～19歳で66.6%と最も高く、70代が26.5%と最も低い。肯定的回答は80歳以上が52.3%と最も高くなっている。



⑩性別にこだわらず多様な生き方が認められるべきだ

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	280	63.5%	150	43.6%	430	54.8%	152	47.6%
どちらかといえばそう思う	101	22.9%	110	32.0%	211	26.9%	93	29.2%
どちらともいえない	37	8.4%	69	20.1%	106	13.5%	52	16.3%
どちらかといえばそう思わない	8	1.8%	10	2.9%	18	2.3%	10	3.1%
そう思わない	15	3.4%	5	1.5%	20	2.5%	12	3.8%
	n = 441		344		785		319	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	66.7%	73.2%	72.1%	64.5%	55.6%	53.7%	39.5%	40.0%
どちらかといえばそう思う	25.0%	17.1%	22.1%	17.3%	28.7%	31.0%	28.1%	40.0%
どちらともいえない	8.3%	7.3%	3.5%	14.5%	12.0%	12.3%	22.7%	11.1%
どちらかといえばそう思わない	0.0%	2.4%	1.2%	1.8%	1.9%	2.0%	3.8%	4.4%
そう思わない	0.0%	0.0%	1.2%	1.8%	1.9%	1.0%	5.9%	4.4%

「⑩性別にこだわらず多様な生き方が認められるべきだ」では、肯定的回答は81.7%（前回76.8%）と前回より4.6%増加。

男女別では、どちらも肯定的回答が高いが、女性86.4%、男性46.8%と女性のほうが39.6ポイント高くなっている。年齢別では、全ての年代において肯定的回答が高くなっており、70代の67.6%を除いて80%以上となっている。

⑪仕事よりも家庭を優先させたい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	41	9.4%	30	8.7%	71	9.1%	38	11.9%
どちらかといえばそう思う	105	24.0%	73	21.2%	178	22.8%	79	24.8%
どちらともいえない	226	51.7%	182	52.9%	408	52.2%	150	47.0%
どちらかといえばそう思わない	26	5.9%	29	8.4%	55	7.0%	28	8.8%
そう思わない	39	8.9%	30	8.7%	69	8.8%	24	7.5%
	n = 437		344		781		319	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	0.0%	17.5%	20.9%	14.5%	10.4%	5.9%	3.8%	4.4%
どちらかといえばそう思う	16.7%	20.0%	33.7%	31.8%	25.5%	22.8%	14.1%	13.3%
どちらともいえない	66.7%	60.0%	40.7%	45.5%	51.9%	55.0%	57.8%	44.4%
どちらかといえばそう思わない	16.7%	2.5%	2.3%	3.6%	0.0%	8.9%	11.9%	13.3%
そう思わない	0.0%	0.0%	2.3%	4.5%	12.3%	7.4%	12.4%	24.4%

「⑪仕事よりも家庭を優先させたい」では、「どちらともいえない」が52.2%（前回47.0%）と前回より3.4%増加し、肯定的回答と否定的回答とも減少している。

男女別では、いずれも「どちらともいえない」が最も高く50%を超えている。

年齢別では、どの年代においても「どちらともいえない」の割合が高くなっている。否定的回答では、70代及び80歳以上が他の年代に比べて割合が高く24.3%、37.7%となっている。

⑫自分らしく生きたい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	306	69.4%	163	47.5%	469	59.8%	198	62.1%
どちらかといえばそう思う	105	23.8%	123	35.9%	228	29.1%	89	27.9%
どちらともいえない	23	5.2%	47	13.7%	70	8.9%	26	8.2%
どちらかといえばそう思わない	4	0.9%	6	1.7%	10	1.3%	2	0.6%
そう思わない	3	0.7%	4	1.2%	7	0.9%	4	1.3%
	n = 441		343		784		319	

【年齢別集計】

	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
そう思う	58.3%	78.0%	73.3%	69.1%	56.5%	52.5%	54.3%	56.5%
どちらかといえばそう思う	33.3%	14.6%	17.4%	19.1%	30.6%	38.5%	31.7%	34.8%
どちらともいえない	8.3%	7.3%	7.0%	10.0%	12.0%	7.0%	10.8%	4.3%
どちらかといえばそう思わない	0.0%	0.0%	2.3%	1.8%	0.0%	1.5%	1.1%	2.2%
そう思わない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.5%	2.2%	2.2%

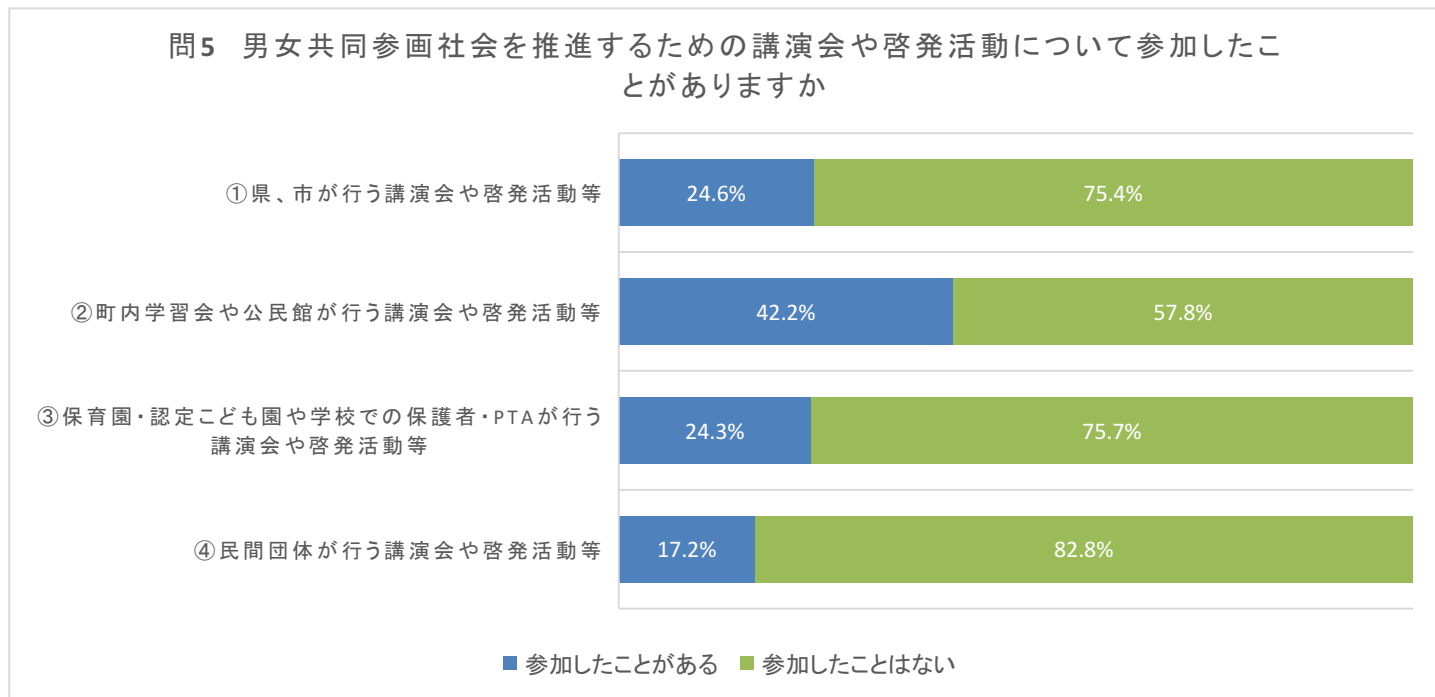
「⑫自分らしく生きたい」では肯定的回答は88.9%（前回90.0%）となり前回とほぼ同じ割合である。男女別では、どちらも肯定的回答割合が高い。女性93.2%、男性83.4%と女性のほうが9.8ポイント高くなっている。年齢別では、全ての年代で肯定的回答割合が高く、80%以上となっている。

問5 あなたは、男女共同参画社会を推進するための講演会や啓発活動について参加したことがありますか。

「参加したことがある」と回答が多かった順に、「②町内学習会や公民館活動」が42.2%（前回51.9%）、「①県、市」が24.6%（前回26.7%）、「③保育園・認定こども園や学校でのPTA」が24.3%（前回29.8%）、「④民間団体」が17.2%（前回22.6%）と続いている。①～④とも前回に比較して「参加したことがない」が増加している。

また、「保育園・認定こども園や学校でのPTA活動が行う講演会や啓発活動等」について「参加したことがある」と回答した人のうち男女別で比較したところ、女性が29.8%（前回42.0%）に対し、男性が17.2%（前回14.0%）と男女で開きがみられた。

【単純集計】



【男女別集計】

① 県や市が行う講演会や啓発活動等

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
参加したことがある	108	24.9%	82	24.1%	190	24.6%	84	26.7%
参加したことがない	325	75.1%	258	75.9%	583	75.4%	231	73.3%
n =	433		340		773		315	

② 町内学習会や公民館が行う講演会や啓発活動等

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
参加したことがある	176	40.3%	152	44.6%	328	42.2%	168	51.9%
参加したことがない	261	59.7%	189	55.4%	450	57.8%	156	48.1%
n =	437		341		778		324	

③ 保育園・認定こども園や学校での保護者・PTAが行う講演会や啓発活動等

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
参加したことがある	129	29.8%	58	17.2%	187	24.3%	93	29.8%
参加したことがない	304	70.2%	279	82.8%	583	75.7%	219	70.2%
n =	433		337		770		312	

④ 民間団体が行う講演会や啓発活動等

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
参加したことがある	75	17.4%	57	16.9%	132	17.2%	72	22.6%
参加したことがない	356	82.6%	281	83.1%	637	82.8%	246	77.4%
n =	431		338		769		318	

## II 家庭生活について

問6 あなたの家庭では、次のような仕事はどなたの役割ですか。

家庭生活での役割分担について、女性が家事全般(設問の①～⑤、⑦)、子どもの教育、介護・看護(設問の⑧～⑩、⑫)を担っていることがうかがえる。家事全般では「ほとんど自分」と「どちらかといえば自分」を合わせた割合が70%前後(前回80%前後)、また、子どもの教育、介護・看護では60%前後～70%前後(前回70%前後～80%前後)であった。しかし、家事全般において「ほとんど自分」と回答した男性がすべての項目で10%台(前回2.5～10.2%)であった、また、子どもの教育、介護・看護については3.3～13.2%(前回0～1.8%)に増加し、家事、育児、介護に関わる男性が増えていることがうかがえる。

一方、男性では、「⑩町内会等、地域活動」で、「ほとんど自分」と「どちらかといえば自分」を合わせた53.1%(前回53.4%)の人が、自分の役割だと回答している。

### 【男女別集計】

#### ① 食事のしたく

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	283	64.0%	110	71.4%	42	12.2%	3	2.5%
どちらかといえば自分	63	14.3%	23	14.9%	18	5.2%	9	7.4%
配偶者と同じ程度負担	21	4.8%	7	4.5%	28	8.1%	9	7.4%
どちらかといえば配偶者	7	1.6%	2	1.3%	56	16.2%	26	21.5%
ほとんど配偶者	9	2.0%	3	1.9%	158	45.8%	56	46.3%
親や子どもなど他の家族	54	12.2%	9	5.8%	32	9.3%	18	14.9%
該当する世話や活動がない	5	1.1%	0	0.0%	11	3.2%	0	0.0%
n =	442		154		345		121	

#### ② 食事の片付け

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	244	55.3%	100	64.5%	44	12.8%	3	2.5%
どちらかといえば自分	91	20.6%	29	18.7%	32	9.3%	12	9.9%
配偶者と同じ程度負担	33	7.5%	7	4.5%	66	19.2%	15	12.4%
どちらかといえば配偶者	13	2.9%	5	3.2%	60	17.4%	28	23.1%
ほとんど配偶者	9	2.0%	5	3.2%	100	29.1%	43	35.5%
親や子どもなど他の家族	45	10.2%	9	5.8%	33	9.6%	20	16.5%
該当する世話や活動がない	6	1.4%	0	0.0%	9	2.6%	0	0.0%
n =	441		155		344		121	

#### ③ 掃除

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	218	49.4%	95	61.7%	40	11.7%	4	3.3%
どちらかといえば自分	102	23.1%	28	18.2%	23	6.7%	9	7.5%
配偶者と同じ程度負担	48	10.9%	12	7.8%	77	22.5%	20	16.7%
どちらかといえば配偶者	13	2.9%	5	3.2%	68	19.9%	29	24.2%
ほとんど配偶者	8	1.8%	3	1.9%	97	28.4%	41	34.2%
親や子どもなど他の家族	46	10.4%	11	7.1%	31	9.1%	17	14.2%
該当する世話や活動がない	6	1.4%	0	0.0%	6	1.8%	0	0.0%
n =	441		154		342		120	

#### ④ 洗濯

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	268	60.8%	103	66.5%	50	14.6%	3	2.5%
どちらかといえば自分	62	14.1%	23	14.8%	21	6.1%	7	5.8%
配偶者と同じ程度負担	44	10.0%	7	4.5%	51	14.9%	13	10.7%
どちらかといえば配偶者	8	1.8%	5	3.2%	43	12.5%	27	22.3%
ほとんど配偶者	5	1.1%	3	1.9%	140	40.8%	52	43.0%
親や子どもなど他の家族	46	10.4%	14	9.0%	32	9.3%	19	15.7%
該当する世話や活動がない	8	1.8%	0	0.0%	6	1.7%	0	0.0%
n =	441		155		343		121	

⑤日常の買い物

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	214	48.5%	99	64.3%	49	14.3%	8	6.6%
どちらかといえば自分	85	19.3%	25	16.2%	21	6.1%	9	7.4%
配偶者と同じ程度負担	65	14.7%	10	6.5%	77	22.4%	23	19.0%
どちらかといえば配偶者	7	1.6%	4	2.6%	70	20.4%	33	27.3%
ほとんど配偶者	6	1.4%	4	2.6%	89	25.9%	32	26.4%
親や子どもなど他の家族	55	12.5%	12	7.8%	31	9.0%	16	13.2%
該当する世話や活動がない	9	2.0%	0	0.0%	6	1.7%	0	0.0%
n =	441		154		343		121	

⑥家計を支える

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	104	24.0%	32	20.9%	84	24.7%	18	15.0%
どちらかといえば自分	34	7.9%	9	5.9%	86	25.3%	38	31.7%
配偶者と同じ程度負担	98	22.6%	36	23.5%	89	26.2%	34	28.3%
どちらかといえば配偶者	59	13.6%	32	20.9%	20	5.9%	3	2.5%
ほとんど配偶者	69	15.9%	32	20.9%	30	8.8%	12	10.0%
親や子どもなど他の家族	51	11.8%	12	7.8%	17	5.0%	14	11.7%
該当する世話や活動がない	18	4.2%	0	0.0%	14	4.1%	1	0.8%
n =	433		153		340		120	

⑦日々の家計の管理

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	203	47.0%	86	57.3%	55	16.1%	12	10.2%
どちらかといえば自分	67	15.5%	26	17.3%	44	12.9%	9	7.6%
配偶者と同じ程度負担	54	12.5%	14	9.3%	46	13.5%	23	19.5%
どちらかといえば配偶者	23	5.3%	9	6.0%	48	14.1%	20	16.9%
ほとんど配偶者	22	5.1%	7	4.7%	107	31.4%	36	30.5%
親や子どもなど他の家族	44	10.2%	7	4.7%	28	8.2%	17	14.4%
該当する世話や活動がない	19	4.4%	1	0.7%	13	3.8%	1	0.8%
n =	432		150		341		118	

⑧小さい子ども(乳幼児)の世話

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	64	41.0%	32	45.1%	4	3.3%	0	0.0%
どちらかといえば自分	46	29.5%	24	33.8%	3	2.5%	1	1.8%
配偶者と同じ程度負担	25	16.0%	7	9.9%	30	24.6%	16	28.6%
どちらかといえば配偶者	1	0.6%	0	0.0%	38	31.1%	15	26.8%
ほとんど配偶者	2	1.3%	2	2.8%	34	27.9%	18	32.1%
親や子どもなど他の家族	18	11.5%	6	8.5%	13	10.7%	6	10.7%
該当する世話や活動がない	266		59		200		50	
n =	422		130		322		106	

⑨子どもの教育・しつけ

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	47	24.6%	32	36.4%	5	3.4%	0	0.0%
どちらかといえば自分	54	28.3%	23	26.1%	8	5.4%	6	9.4%
配偶者と同じ程度負担	61	31.9%	23	26.1%	57	38.3%	24	37.5%
どちらかといえば配偶者	4	2.1%	0	0.0%	33	22.1%	15	23.4%
ほとんど配偶者	3	1.6%	2	2.3%	29	19.5%	13	20.3%
親や子どもなど他の家族	22	11.5%	8	9.1%	17	11.4%	6	9.4%
該当する世話や活動がない	235		45		174		40	
n =	426		133		323		104	

⑩介護・看護

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	65	38.9%	36	44.4%	18	13.2%	1	1.8%
どちらかといえば自分	37	22.2%	21	25.9%	14	10.3%	4	7.1%
配偶者と同じ程度負担	34	20.4%	14	17.3%	37	27.2%	14	25.0%
どちらかといえば配偶者	4	2.4%	3	3.7%	29	21.3%	16	28.6%
ほとんど配偶者	3	1.8%	4	4.9%	27	19.9%	15	26.8%
親や子どもなど他の家族	24	14.4%	3	3.7%	11	8.1%	6	10.7%
該当する世話や活動がない	258		61		190		51	
n =	425		142		326		107	

⑪町内会等・地域活動

	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	98	22.5%	36	23.8%	92	27.3%	29	25.0%
どちらかといえば自分	37	8.5%	19	12.6%	87	25.8%	33	28.4%
配偶者と同じ程度負担	69	15.9%	24	15.9%	50	14.8%	19	16.4%
どちらかといえば配偶者	58	13.3%	25	16.6%	21	6.2%	8	6.9%
ほとんど配偶者	42	9.7%	23	15.2%	20	5.9%	7	6.0%
親や子どもなど他の家族	72	16.6%	14	9.3%	30	8.9%	15	12.9%
該当する世話や活動がない	59	13.6%	10	6.6%	37	11.0%	5	4.3%
n =	435		151		337		116	

⑫子どもの学校行事

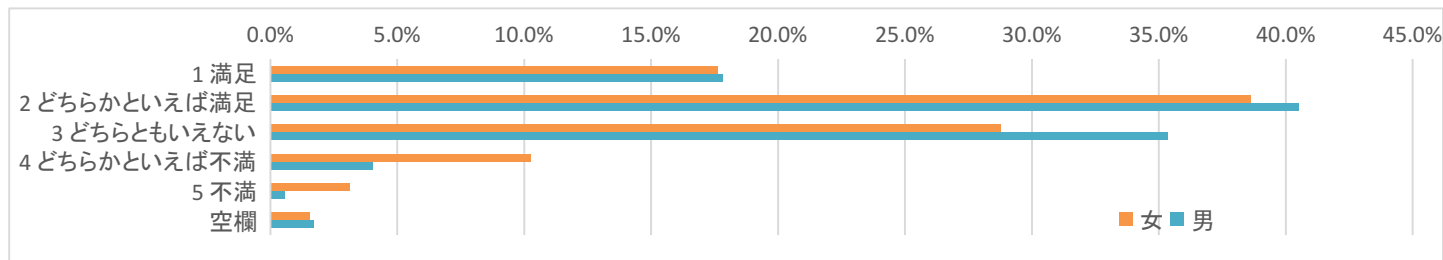
	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほとんど自分	69	41.3%	43	53.8%	5	3.8%	1	1.8%
どちらかといえば自分	39	23.4%	20	25.0%	6	4.6%	4	7.1%
配偶者と同じ程度負担	30	18.0%	8	10.0%	35	26.9%	16	28.6%
どちらかといえば配偶者	3	1.8%	1	1.3%	29	22.3%	11	19.6%
ほとんど配偶者	2	1.2%	1	1.3%	37	28.5%	18	32.1%
親や子どもなど他の家族	24	14.4%	7	8.8%	18	13.8%	6	10.7%
該当する世話や活動がない	262		55		197		49	
n =	429		135		327		105	

問7 問6の現在の家庭内でやっていることについて、あなたは満足していますか。

家庭内の役割について、男性では、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた「満足」が、59.3%（前回63.4%）、女性では57.1%（前回43.2%）と前回に比較して差がなくなっている。一方、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた「不満」では、女性は13.6%（前回19.1%）と前回に比較して低くなっているが、男性は4.7%（前回0.8%）になり前回に比べ高くなっている。

(男女別)

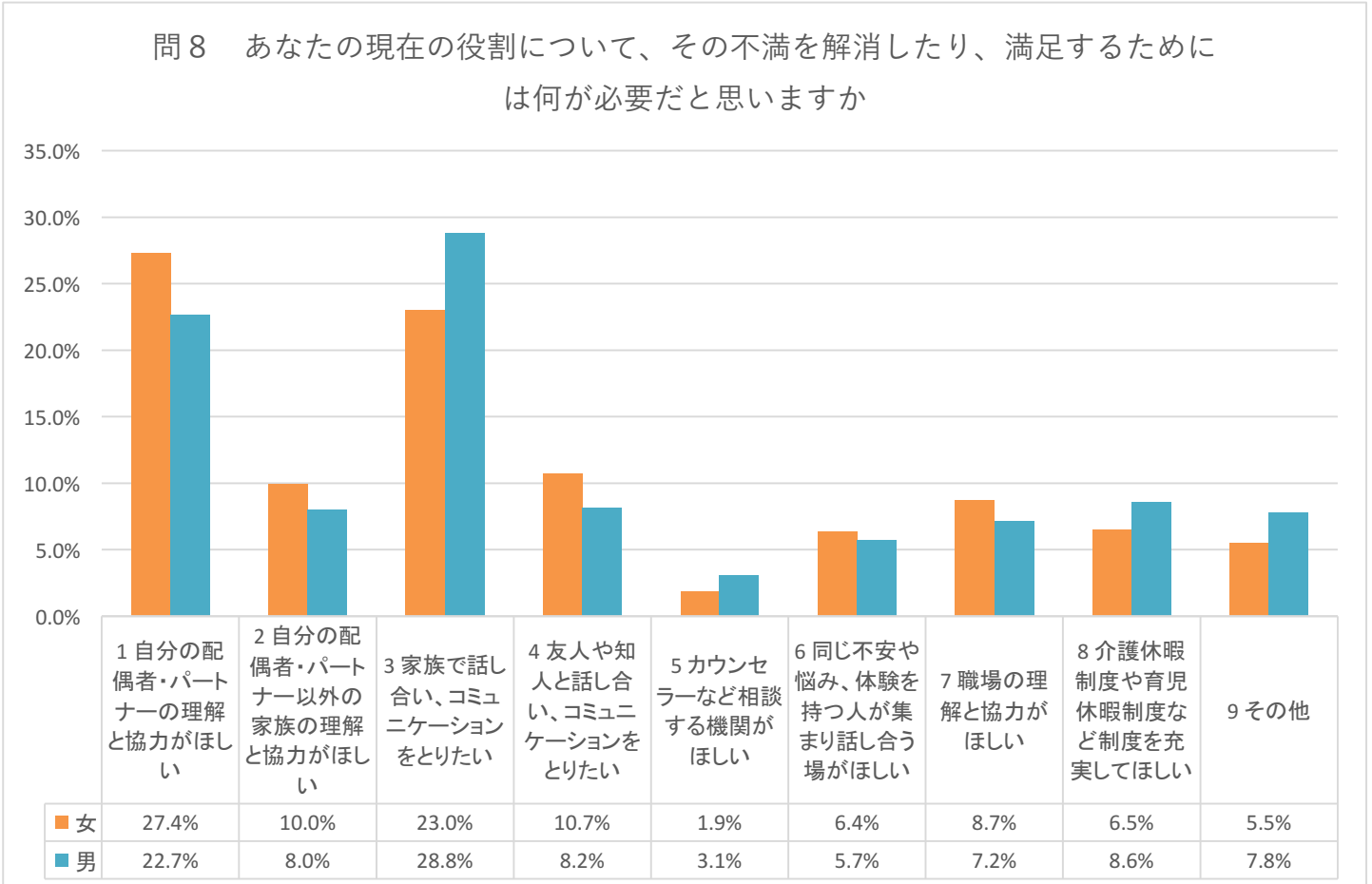
	女		前回女(H27)		男		前回男(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足	79	17.9%	24	14.8%	62	18.1%	22	17.9%
どちらかといえば満足	173	39.2%	46	28.4%	141	41.2%	56	45.5%
どちらともいえない	129	29.3%	61	37.7%	123	36.0%	44	35.8%
どちらかといえば不満	46	10.4%	20	12.3%	14	4.1%	1	0.8%
不満	14	3.2%	11	6.8%	2	0.6%	0	0.0%
n =	441		162		342		123	



問8 あなたの現在の役割分担について、その不満を解消したり、満足するためには何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

家庭生活において役割分担の不満を解消したりするために何が必要かについて、「3 家族で話しあい、コミュニケーションをとりたい」が25.4%(前回22.8%)、「1 自分の配偶者・パートナーの理解と協力がほしい」が25.4%(前回26.8%)、「4 友人や知人と話しあい、コミュニケーションをとりたい」が9.7%(前回9.6%)と続いている。

【単純集計】



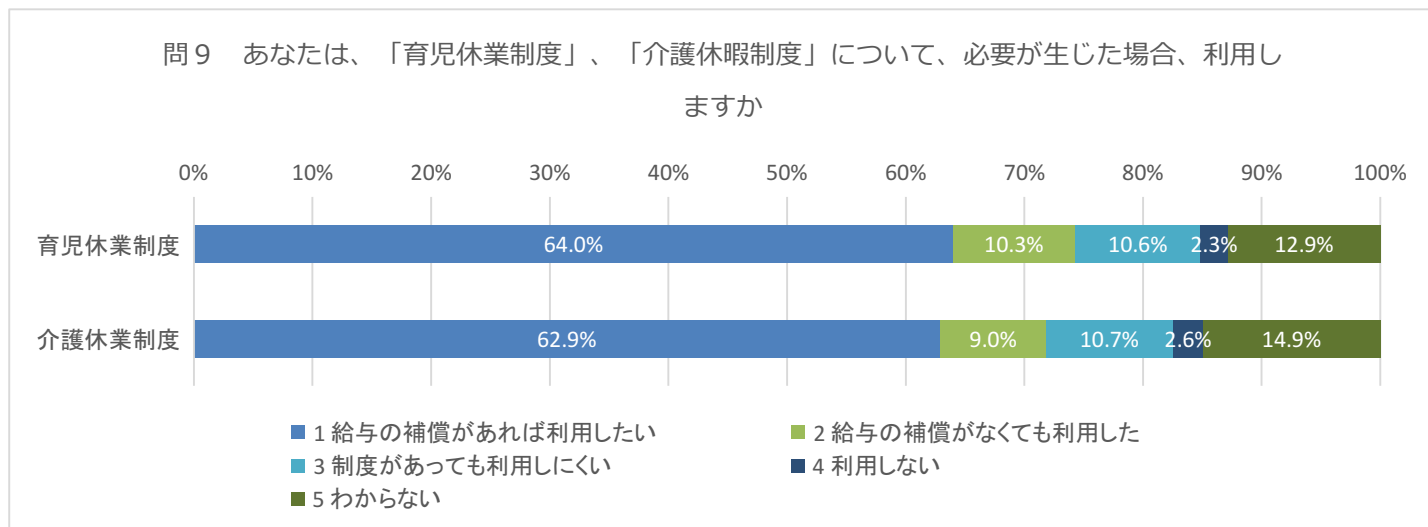
【男女別集計】

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 自分の配偶者・パートナーの理解と協力がほしい	189	27.4%	111	22.7%	300	25.4%	122	26.8%
2 自分の配偶者・パートナー以外の家族の理解と協力がほしい	69	10.0%	39	8.0%	108	9.2%	55	12.1%
3 家族で話しあい、コミュニケーションをとりたい	159	23.0%	141	28.8%	300	25.4%	104	22.8%
4 友人や知人と話しあい、コミュニケーションをとりたい	74	10.7%	40	8.2%	114	9.7%	44	9.6%
5 カウンセラーなど相談する機関がほしい	13	1.9%	15	3.1%	28	2.4%	19	4.2%
6 同じ不安や悩み、体験を持つ人が集まり話し合う場がほしい	44	6.4%	28	5.7%	72	6.1%	31	6.8%
7 職場の理解と協力がほしい	60	8.7%	35	7.2%	95	8.1%	47	10.3%
8 介護休暇制度や育児休暇制度など制度を充実してほしい	45	6.5%	42	8.6%	87	7.4%	34	7.5%
9 その他	38	5.5%	38	7.8%	76	6.4%	0	0.0%
	n = 691		489		1180		456	

問9 あなたは、「育児休業制度」、「介護休業制度」について、必要が生じた場合、利用しますか。

「育児休業制度」、「介護休業制度」の利用について、「育児休業制度」では64.0%（前回45.7%）、「介護休業制度」では62.9%（前回48.4%）の人が、「給与の補償があれば利用したい」と回答している。前回調査よりも強い利用意向が見られる。

【単純集計】



【男女別集計】

①育児休業制度

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
給与の補償があれば利用したい	153	73.2%	71	50.4%	224	64.0%	102	45.7%
給与の補償がなくても利用したい	26	12.4%	10	7.1%	36	10.3%	25	11.2%
制度があっても利用しにくい	10	4.8%	27	19.1%	37	10.6%	21	9.4%
利用しない	2	1.0%	6	4.3%	8	2.3%	15	6.7%
わからない	18	8.6%	27	19.1%	45	12.9%	60	26.9%
	n = 209		141		350		223	

②介護休業制度

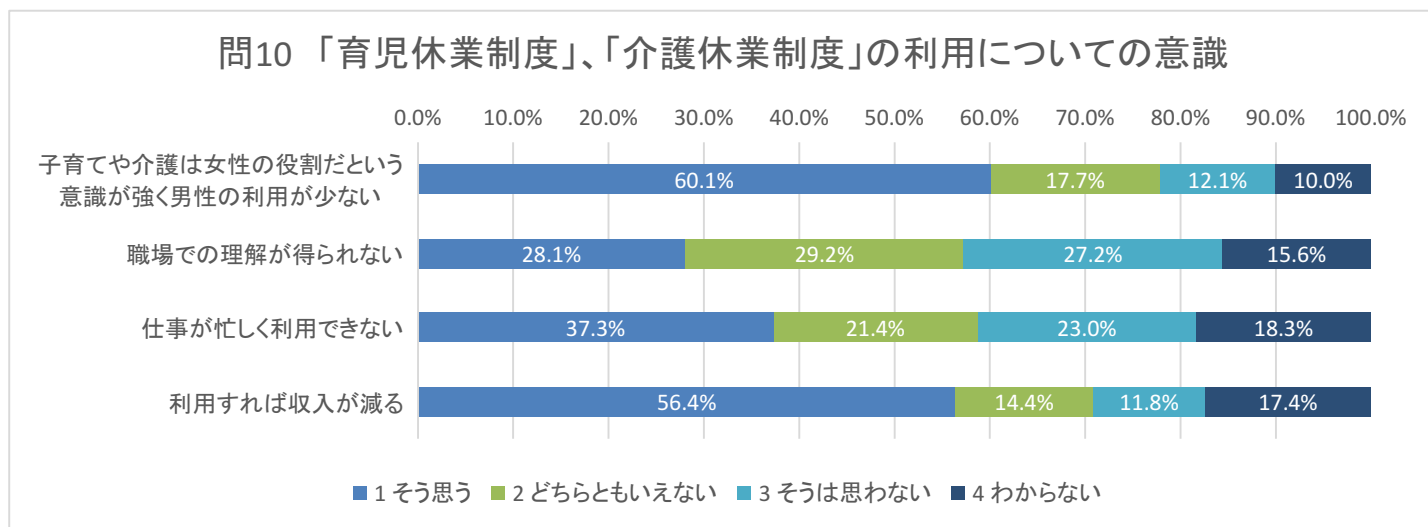
	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
給与の補償があれば利用したい	205	74.0%	90	46.9%	295	62.9%	123	48.4%
給与の補償がなくても利用したい	19	6.9%	23	12.0%	42	9.0%	33	13.0%
制度があっても利用しにくい	24	8.7%	26	13.5%	50	10.7%	24	9.4%
利用しない	2	0.7%	10	5.2%	12	2.6%	8	3.1%
わからない	27	9.7%	43	22.4%	70	14.9%	66	26.0%
	n = 277		192		469		254	



問10 「育児休業制度」、「介護休業制度」の利用についての意識

「育児休暇制度」、「介護休暇制度」の利用について、「子育てや介護は女性の役割だという意識が強く男性の利用が少ない」で「そう思う」と回答している人は60.1%（前回69.8%）、「職場での理解が得られない」で「そう思う」と回答している人は28.1%（前回37.9%）、「仕事が忙しく利用できない」で「そう思う」と回答している人は37.3%（前回44.4%）、「利用すれば収入が減る」で「そう思う」と回答している人は56.4%（前回61.4%）であった。

【単純集計】



【男女別集計】

①子育てや介護は女性の役割だという意識が強く男性の利用が少ない

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	207	66.1%	105	51.0%	312	60.1%	180	69.8%
どちらともいえない	52	16.6%	40	19.4%	92	17.7%	34	13.2%
そうは思わない	25	8.0%	38	18.4%	63	12.1%	18	7.0%
わからない	29	9.3%	23	11.2%	52	10.0%	26	10.1%
n =	313		206		519		258	

②職場での理解が得られない

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	62	22.9%	66	35.7%	128	28.1%	92	37.9%
どちらともいえない	82	30.3%	51	27.6%	133	29.2%	62	25.5%
そうは思わない	83	30.6%	41	22.2%	124	27.2%	41	16.9%
わからない	44	16.2%	27	14.6%	71	15.6%	48	19.8%
n =	271		185		456		243	

③仕事が忙しく利用できない

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	85	31.6%	84	45.7%	169	37.3%	103	44.4%
どちらともいえない	61	22.7%	36	19.6%	97	21.4%	60	25.9%
そうは思わない	68	25.3%	36	19.6%	104	23.0%	32	13.8%
わからない	55	20.4%	28	15.2%	83	18.3%	37	15.9%
n =	269		184		453		232	

④利用すれば収入が減る

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	173	62.0%	90	48.1%	263	56.4%	154	61.4%
どちらともいえない	35	12.5%	32	17.1%	67	14.4%	34	13.5%
そうは思わない	28	10.0%	27	14.4%	55	11.8%	15	6.0%
わからない	43	15.4%	38	20.3%	81	17.4%	48	19.1%
n =	279		187		466		251	

問11 あなたの家族に介護を要する人がいる場合、または、もし家族が介護を要する状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。

「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)」と回答している人が59.8%(前回63.8%)、「特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)」と回答している人が30.7%(前回27.0%)である。施設での介護を希望する割合が前回よりも増加している。

【男女別集計】

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族等で介護したい(している)	12	2.9%	21	6.5%	33	4.4%	19	6.5%
ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)	272	64.9%	172	53.3%	444	59.8%	187	63.8%
特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい	114	27.2%	114	35.3%	228	30.7%	79	27.0%
その他	21	5.0%	16	5.0%	37	5.0%	8	2.7%
n=	419		323		742		293	

問12 もし、あなた自身が介護をする状態になった場合、どのようにしてほしいと思いますか。

「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してもらいたい」と回答している人は48.1%(前回54.2%)と前回よりも減少している。「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」と回答している人は43.7%(前回38.5%)と前回よりも増加している。

【男女別集計】

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族等から介護してもらいたい	10	2.3%	26	7.7%	36	4.7%	17	5.4%
ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してもらいたい	209	48.0%	162	48.1%	371	48.1%	169	54.2%
特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	203	46.7%	134	39.8%	337	43.7%	120	38.5%
その他	13	3.0%	15	4.5%	28	3.6%	6	1.9%
n=	435		337		772		312	

問13 あなたが自宅で介護される場合、主に誰に介護してもらいたいと思いますか。

自宅で介護される場合、主に誰に介護してもらいたいかについて、「配偶者」と回答している人が56.3%(前回55.3%)と半数以上を占め、続いて「家族以外の人」の18.4%(前回13.0%)、「娘」の13.3%(前回19.7%)と続いている。前回と比較すると、子ども(娘)よりも介護サービスを希望する割合が前回よりも増加している。

(男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
配偶者	179	41.5%	250	75.5%	429	56.3%	166	55.3%
息子	11	2.6%	8	2.4%	19	2.5%	7	2.3%
娘	85	19.7%	16	4.8%	101	13.3%	59	19.7%
息子の妻	10	2.3%	0	0.0%	10	1.3%	10	3.3%
娘の夫	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の家族(女性)	12	2.8%	1	0.3%	13	1.7%	2	0.7%
その他の家族(男性)	0	0.0%	1	0.3%	1	0.1%	1	0.3%
家族以外の人	98	22.7%	42	12.7%	140	18.4%	39	13.0%
その他	36	8.4%	13	3.9%	49	6.4%	16	5.3%
n=	431		331		762		300	

### Ⅲ 就労・働き方について

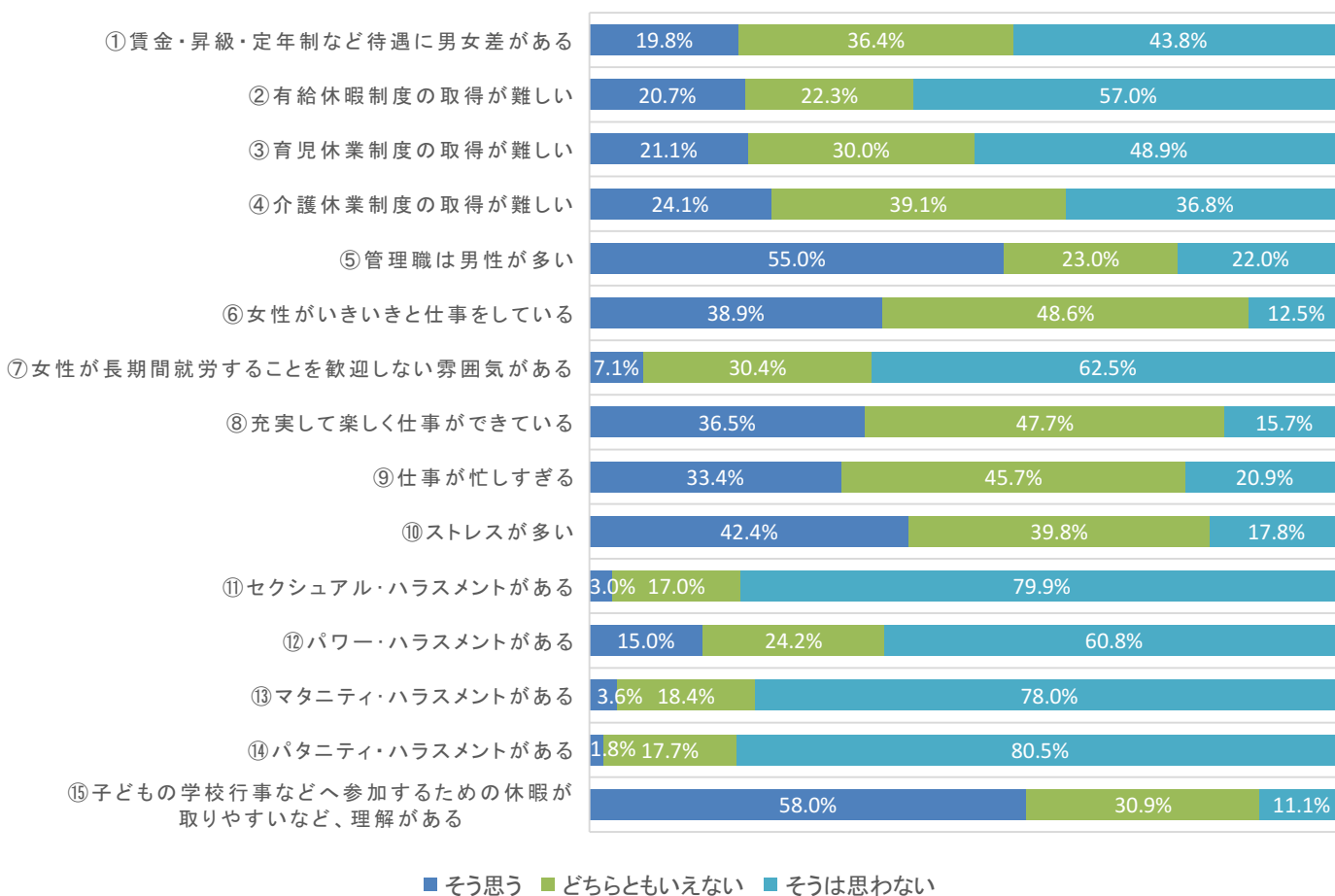
#### 問14 職業(仕事)をお持ちのかたにおたずねします。※職場の現状について

自分の職場(仕事)について、「②有給休暇の取得が難しい」と回答した人は20.7%(前回33.7%)、「⑤管理職は男性が多い」と回答した人は55.0%(前回62.7%)、「⑨仕事が忙しすぎる」と回答した人は33.4%(前回37.3%)、「⑩ストレスが多い」と回答した人は42.4%(前回44.0%)であった。また、「①賃金・昇給・定年制など男女の差がある」で「そうは思わない」、すなわち男女の差がないと回答した人は43.8%(前回35.4%)、「⑮子どもの学校行事などへ参加するための休暇が取りやすいなど、理解がある」と回答した人は58.0%(前回51.2%)であった。

ハラスメント関係では、「⑪セクシュアル・ハラスメントがある」と回答した人は3.0%(前回3.7%)とわずかに減少しているが、「⑫パワー・ハラスメントがある」と回答した人は15.0%(前回12.1%)、「⑬マタニティ・ハラスメントがある」と回答した人は3.6%(前回1.2%)と前回よりも増加している。

#### 【単純集計】

### 職場の現状について



#### 【男女別集計】

①賃金・昇給・定年制など待遇に男女差がある。

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	47	21.3%	31	18.0%	78	19.8%	49	29.9%
どちらともいえない	78	35.3%	65	37.8%	143	36.4%	57	34.8%
そうは思わない	96	43.4%	76	44.2%	172	43.8%	58	35.4%
n =	221		172		393		164	

②有給休暇制度の取得が難しい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	42	19.0%	39	22.9%	81	20.7%	55	33.7%
どちらともいえない	51	23.1%	36	21.2%	87	22.3%	38	23.3%
そうは思わない	128	57.9%	95	55.9%	223	57.0%	70	42.9%
n =	221		170		391		163	

③育児休業制度の取得が難しい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	38	17.8%	42	25.3%	80	21.1%	34	21.5%
どちらともいえない	56	26.2%	58	34.9%	114	30.0%	57	36.1%
そうは思わない	120	56.1%	66	39.8%	186	48.9%	67	42.4%
n =	214		166		380		158	

④介護休業制度の取得が難しい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	44	20.1%	49	29.3%	93	24.1%	45	28.7%
どちらともいえない	91	41.6%	60	35.9%	151	39.1%	66	42.0%
そうは思わない	84	38.4%	58	34.7%	142	36.8%	46	29.3%
n =	219		167		386		157	

⑤管理職は男性が多い

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	106	48.0%	109	64.1%	215	55.0%	101	62.7%
どちらともいえない	57	25.8%	33	19.4%	90	23.0%	31	19.3%
そうは思わない	58	26.2%	28	16.5%	86	22.0%	29	18.0%
n =	221		170		391		161	

⑥女性が生き生きと仕事をしている

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	99	44.4%	53	31.5%	152	38.9%	66	40.7%
どちらともいえない	95	42.6%	95	56.5%	190	48.6%	76	46.9%
そうは思わない	29	13.0%	20	11.9%	49	12.5%	20	12.3%
n =	223		168		391		162	

⑦女性が長時間就労することを歓迎しない雰囲気がある

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	14	6.3%	14	8.3%	28	7.1%	16	9.8%
どちらともいえない	62	27.7%	57	33.9%	119	30.4%	51	31.3%
そうは思わない	148	66.1%	97	57.7%	245	62.5%	96	58.9%
n =	224		168		392		163	

⑧充実して楽しく仕事ができている

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	88	39.3%	56	32.9%	144	36.5%	65	39.2%
どちらともいえない	100	44.6%	88	51.8%	188	47.7%	76	45.8%
そうは思わない	36	16.1%	26	15.3%	62	15.7%	25	15.1%
n =	224		170		394		166	

⑨仕事が忙しすぎる

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	78	34.7%	53	31.7%	131	33.4%	62	37.3%
どちらともいえない	94	41.8%	85	50.9%	179	45.7%	59	35.5%
そうは思わない	53	23.6%	29	17.4%	82	20.9%	45	27.1%
n =	225		167		392		166	

⑩ストレスが多い

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	100	44.6%	67	39.4%	167	42.4%	73	44.0%
どちらともいえない	86	38.4%	71	41.8%	157	39.8%	51	30.7%
そうは思わない	38	17.0%	32	18.8%	70	17.8%	42	25.3%
n=	224		170		394		166	

⑪セクシュアル・ハラスメントがある

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	8	3.6%	4	2.4%	12	3.0%	6	3.7%
どちらともいえない	35	15.6%	32	18.9%	67	17.0%	28	17.2%
そうは思わない	182	80.9%	133	78.7%	315	79.9%	129	79.1%
n=	225		169		394		163	

⑫パワー・ハラスメントがある

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	42	18.7%	17	10.1%	59	15.0%	20	12.1%
どちらともいえない	46	20.4%	49	29.2%	95	24.2%	42	25.5%
そうは思わない	137	60.9%	102	60.7%	239	60.8%	103	62.4%
n=	225		168		393		165	

⑬マタニティ・ハラスメントがある

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	8	3.7%	6	3.6%	14	3.6%	2	1.2%
どちらともいえない	39	17.8%	32	19.2%	71	18.4%	32	19.8%
そうは思わない	172	78.5%	129	77.2%	301	78.0%	128	79.0%
n=	219		167		386		162	

⑭パタニティ・ハラスメントがある(新規項目)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	3	1.4%	4	2.4%	7	1.8%		
どちらともいえない	34	15.7%	34	20.4%	68	17.7%		
そうは思わない	180	82.9%	129	77.2%	309	80.5%		
n=	217		167		384		0	

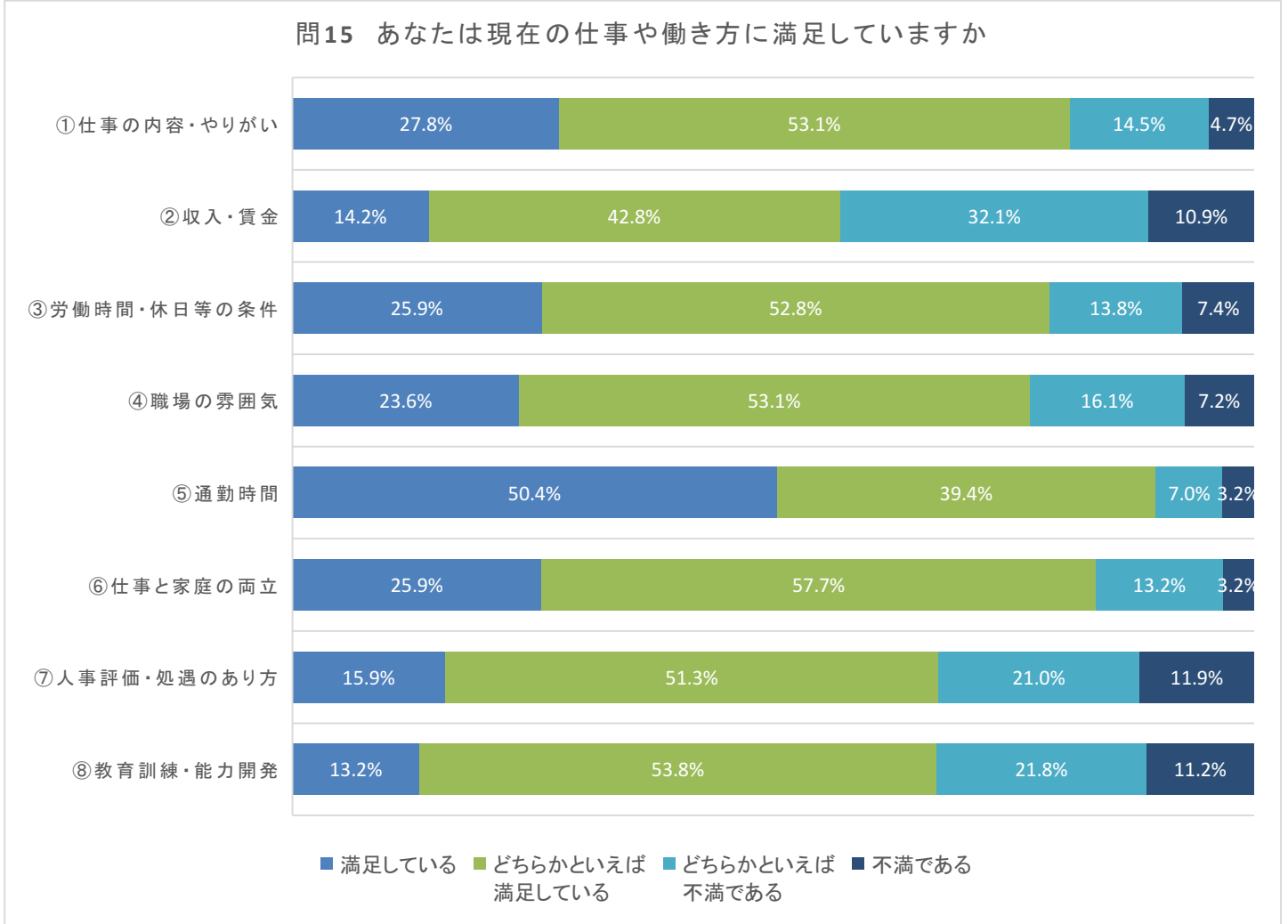
⑮子どもの学校行事などへ参加するための休暇が取りやすいなど、理解がある

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	135	61.4%	90	53.6%	225	58.0%	83	51.2%
どちらともいえない	65	29.5%	55	32.7%	120	30.9%	57	35.2%
そうは思わない	20	9.1%	23	13.7%	43	11.1%	22	13.6%
n=	220		168		388		162	

問15 あなたは現在の仕事や働き方に満足していますか。

自分の現在の仕事や働き方について、「②収入・賃金」で「満足している」と「どちらかといえば満足している」と回答している人は57.0%（前回53.1%）、「③労働時間・休日等の条件」では78.7%（前回68.6%）、「④職場の雰囲気」では76.7%（前回74.3%）、「⑥仕事と家庭の両立」では83.6%（前回71.6%）となっている。  
 前回より「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答している率が伸びている項目は「⑥仕事と家庭の両立」で12.0ポイント増加、次いで「③労働時間・休日の条件」10.1ポイント増加となっている。

(単純集計)



(男女別集計)

① 仕事の内容・やりがい

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足している	66	28.8%	47	26.4%	113	27.8%	40	23.8%
どちらかといえば満足している	122	53.3%	94	52.8%	216	53.1%	91	54.2%
どちらかといえば不満である	31	13.5%	28	15.7%	59	14.5%	24	14.3%
不満である	10	4.4%	9	5.1%	19	4.7%	13	7.7%
	n = 229		178		407		168	

② 収入・賃金

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足している	31	13.7%	26	14.9%	57	14.2%	12	6.9%
どちらかといえば満足している	100	44.1%	72	41.1%	172	42.8%	80	46.2%
どちらかといえば不満である	70	30.8%	59	33.7%	129	32.1%	53	30.6%
不満である	26	11.5%	18	10.3%	44	10.9%	28	16.2%
	n = 227		175		402		173	

③労働時間・休日等の条件

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足している	70	30.6%	35	19.9%	105	25.9%	32	18.6%
どちらかといえば満足している	113	49.3%	101	57.4%	214	52.8%	86	50.0%
どちらかといえば不満である	29	12.7%	27	15.3%	56	13.8%	35	20.3%
不満である	17	7.4%	13	7.4%	30	7.4%	19	11.0%
n=	229		176		405		172	

④職場の雰囲気

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足している	59	25.9%	36	20.6%	95	23.6%	30	18.0%
どちらかといえば満足している	119	52.2%	95	54.3%	214	53.1%	94	56.3%
どちらかといえば不満である	33	14.5%	32	18.3%	65	16.1%	22	13.2%
不満である	17	7.5%	12	6.9%	29	7.2%	21	12.6%
n=	228		175		403		167	

⑤通勤時間

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足している	123	54.2%	79	45.4%	202	50.4%	82	49.7%
どちらかといえば満足している	84	37.0%	74	42.5%	158	39.4%	66	40.0%
どちらかといえば不満である	15	6.6%	13	7.5%	28	7.0%	14	8.5%
不満である	5	2.2%	8	4.6%	13	3.2%	3	1.8%
n=	227		174		401		165	

⑥仕事と家庭の両立

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足している	62	27.1%	42	24.3%	104	25.9%	35	20.7%
どちらかといえば満足している	125	54.6%	107	61.8%	232	57.7%	86	50.9%
どちらかといえば不満である	33	14.4%	20	11.6%	53	13.2%	41	24.3%
不満である	9	3.9%	4	2.3%	13	3.2%	7	4.1%
n=	229		173		402		169	

⑦人事評価・処遇のあり方

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足している	35	15.6%	28	16.3%	63	15.9%	14	8.8%
どちらかといえば満足している	118	52.7%	85	49.4%	203	51.3%	96	60.4%
どちらかといえば不満である	40	17.9%	43	25.0%	83	21.0%	33	20.8%
不満である	31	13.8%	16	9.3%	47	11.9%	16	10.1%
n=	224		172		396		159	

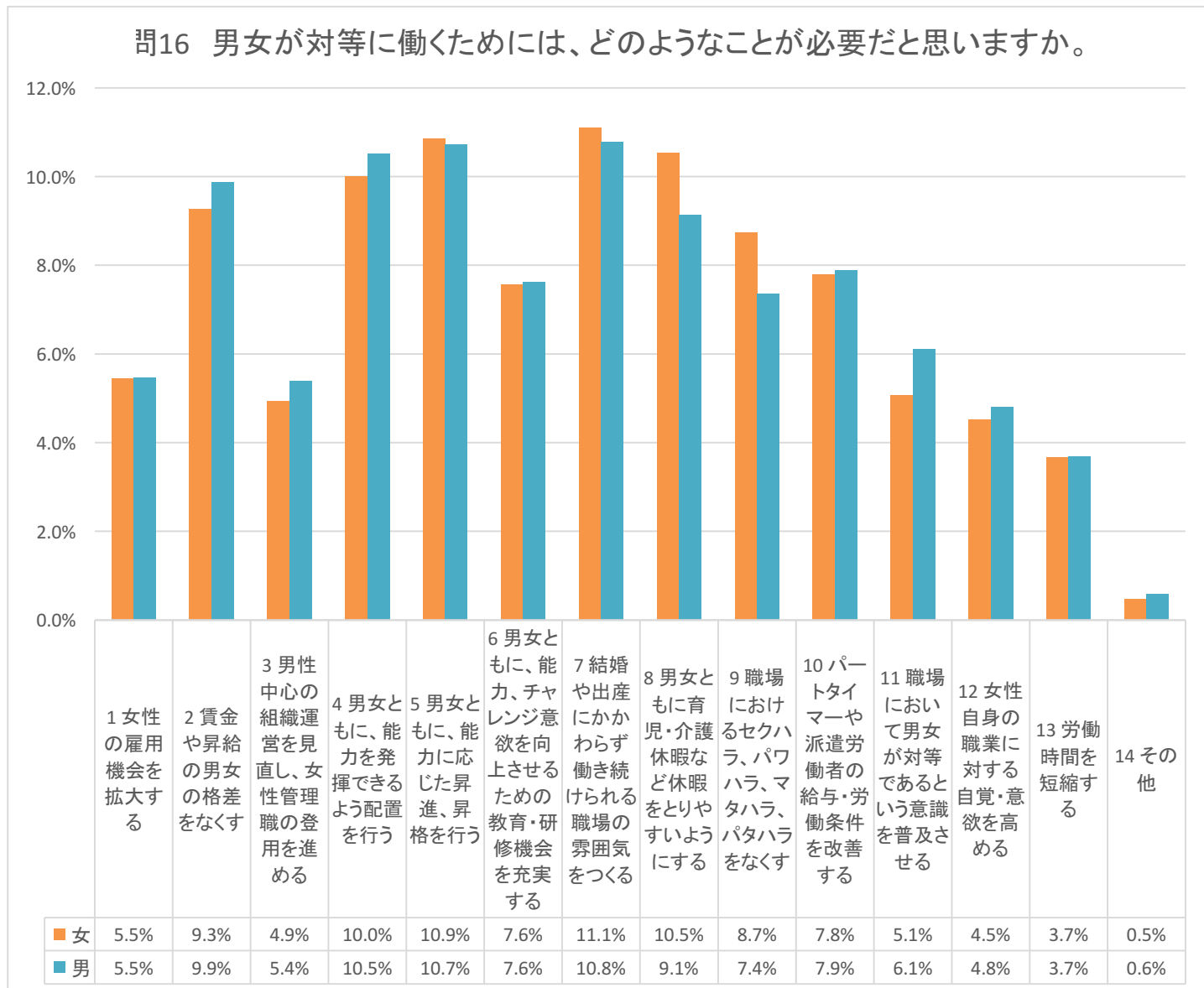
⑧教育訓練・能力開発

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
満足している	30	13.5%	22	12.9%	52	13.2%	14	8.9%
どちらかといえば満足している	124	55.6%	88	51.5%	212	53.8%	99	63.1%
どちらかといえば不満である	43	19.3%	43	25.1%	86	21.8%	25	15.9%
不満である	26	11.7%	18	10.5%	44	11.2%	19	12.1%
n=	223		171		394		157	

問16 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

男女が対等に働くために必要なことについて、「7 結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる」が11.0%(前回12.2%)、「5 男女ともに能力に応じた昇進、昇格を行う」が10.8%(前回10.5%)、「4 男女ともに、能力が発揮できるよう配置を行う」が10.2%(前回11.6%)となっている。

(単純集計)





【男女別集計】

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 女性の雇用機会を拡大する	116	5.5%	83	4.8%	199	5.5%	84	6.0%
2 賃金や昇給の男女の格差をなくす	197	9.3%	150	9.9%	347	9.5%	145	10.3%
3 男性中心の組織運営を見直し、女性管理職の登用を進める	105	4.9%	82	5.4%	187	5.1%	68	4.8%
4 男女ともに、能力が発揮できるよう配置を行う	213	10.0%	160	10.5%	373	10.2%	163	11.6%
5 男女ともに、能力に応じた昇進、昇格を行う	231	10.9%	163	10.7%	394	10.8%	148	10.5%
6 男女ともに、能力、チャレンジ意欲を向上させるための教育・研修機会を充実する	161	7.6%	116	7.6%	277	7.6%	111	7.9%
7 結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる	236	11.1%	164	10.8%	400	11.0%	172	12.2%
8 男女ともに育児・介護休暇など休暇をとりやすいようにする	224	10.5%	139	9.1%	363	10.0%	148	10.5%
9 職場におけるセクハラ、パワハラ、マタハラをなくす	186	8.7%	112	7.4%	298	8.2%	2	0.1%
10 パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善する	166	7.8%	120	7.9%	286	7.8%	137	9.8%
11 職場において男女が対等であるという意識を普及させる	108	5.1%	93	6.1%	201	5.5%	75	5.3%
12 女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める	96	4.5%	73	4.8%	169	4.6%	82	5.8%
13 労働時間を短縮する	78	3.7%	56	3.7%	134	3.7%	62	4.4%
14 その他	10	0.5%	9	0.6%	19	0.5%	8	0.6%
	n = 2,127		1,520		3,647		1,405	

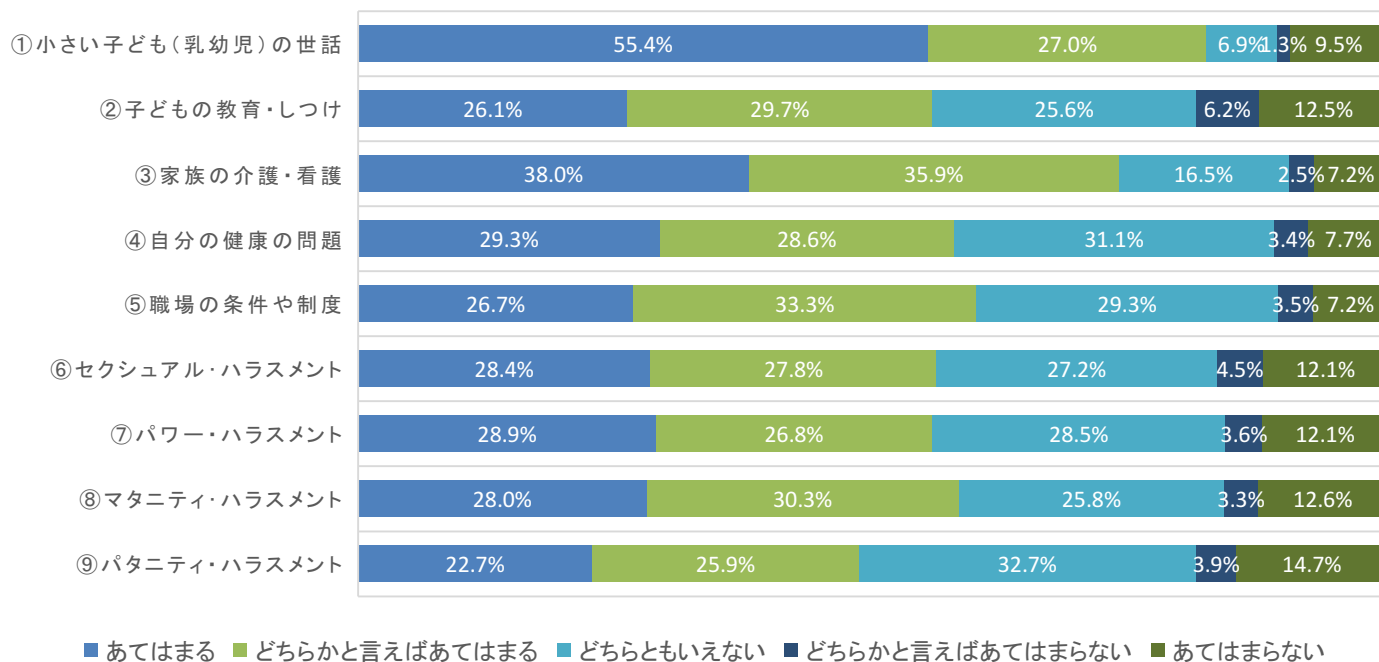
#### IV 女性の就業と労働環境について

問17 女性が仕事を続けていく上での支障としてどのようなことがあると思いますか。

女性が仕事を続けていく上での支障について、「①小さい子ども(乳幼児)の世話」で「あてはまる」と「どちらかと言えばあてはまる」と回答している人は82.4%と最も高く、次いで「③家族の介護・看護」では73.9%、「⑤職場の条件や制度」で60.0%となっている。

#### 【単純集計】

### 問17 女性が仕事を続けていく上での支障として



#### 【男女別集計】

##### ① 小さい子ども(乳幼児)の世話

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	219	56.3%	161	54.2%	380	55.4%
どちらかと言えばあてはまる	95	24.4%	90	30.3%	185	27.0%
どちらともいえない	25	6.4%	22	7.4%	47	6.9%
どちらかと言えばあてはまらない	5	1.3%	4	1.3%	9	1.3%
あてはまらない	45	11.6%	20	6.7%	65	9.5%
	n = 389		297		686	

##### ② 子どもの教育・しつけ

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	114	29.5%	64	21.7%	178	26.1%
どちらかと言えばあてはまる	109	28.2%	93	31.5%	202	29.7%
どちらともいえない	89	23.1%	85	28.8%	174	25.6%
どちらかと言えばあてはまらない	18	4.7%	24	8.1%	42	6.2%
あてはまらない	56	14.5%	29	9.8%	85	12.5%
	n = 386		295		681	

③家族の介護・看護

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	171	44.1%	89	30.0%	260	38.0%
どちらかと言えばあてはまる	138	35.6%	108	36.4%	246	35.9%
どちらともいえない	41	10.6%	72	24.2%	113	16.5%
どちらかと言えばあてはまらない	5	1.3%	12	4.0%	17	2.5%
あてはまらない	33	8.5%	16	5.4%	49	7.2%
n =	388		297		685	

④自分の健康の問題

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	144	36.7%	55	19.2%	199	29.3%
どちらかと言えばあてはまる	126	32.1%	68	23.7%	194	28.6%
どちらともいえない	82	20.9%	129	44.9%	211	31.1%
どちらかと言えばあてはまらない	12	3.1%	11	3.8%	23	3.4%
あてはまらない	28	7.1%	24	8.4%	52	7.7%
n =	392		287		679	

⑤職場の条件や制度

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	119	31.5%	59	20.5%	178	26.7%
どちらかと言えばあてはまる	125	33.1%	97	33.7%	222	33.3%
どちらともいえない	94	24.9%	101	35.1%	195	29.3%
どちらかと言えばあてはまらない	9	2.4%	14	4.9%	23	3.5%
あてはまらない	31	8.2%	17	5.9%	48	7.2%
n =	378		288		666	

⑥セクシュアル・ハラスメント

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	120	31.5%	70	24.3%	190	28.4%
どちらかと言えばあてはまる	94	24.7%	92	31.9%	186	27.8%
どちらともいえない	95	24.9%	87	30.2%	182	27.2%
どちらかと言えばあてはまらない	18	4.7%	12	4.2%	30	4.5%
あてはまらない	54	14.2%	27	9.4%	81	12.1%
n =	381		288		669	
















⑦パワー・ハラスメント

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	126	33.4%	67	23.1%	193	28.9%
どちらかと言えばあてはまる	97	25.7%	82	28.3%	179	26.8%
どちらともいえない	89	23.6%	101	34.8%	190	28.5%
どちらかと言えばあてはまらない	13	3.4%	11	3.8%	24	3.6%
あてはまらない	52	13.8%	29	10.0%	81	12.1%
n =	377		290		667	

⑧マタニティ・ハラスメント

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	123	32.5%	64	22.1%	187	28.0%
どちらかと言えばあてはまる	107	28.3%	95	32.9%	202	30.3%
どちらともいえない	81	21.4%	91	31.5%	172	25.8%
どちらかと言えばあてはまらない	10	2.6%	12	4.2%	22	3.3%
あてはまらない	57	15.1%	27	9.3%	84	12.6%
n =	378		289		667	

⑨パタニティ・ハラスメント

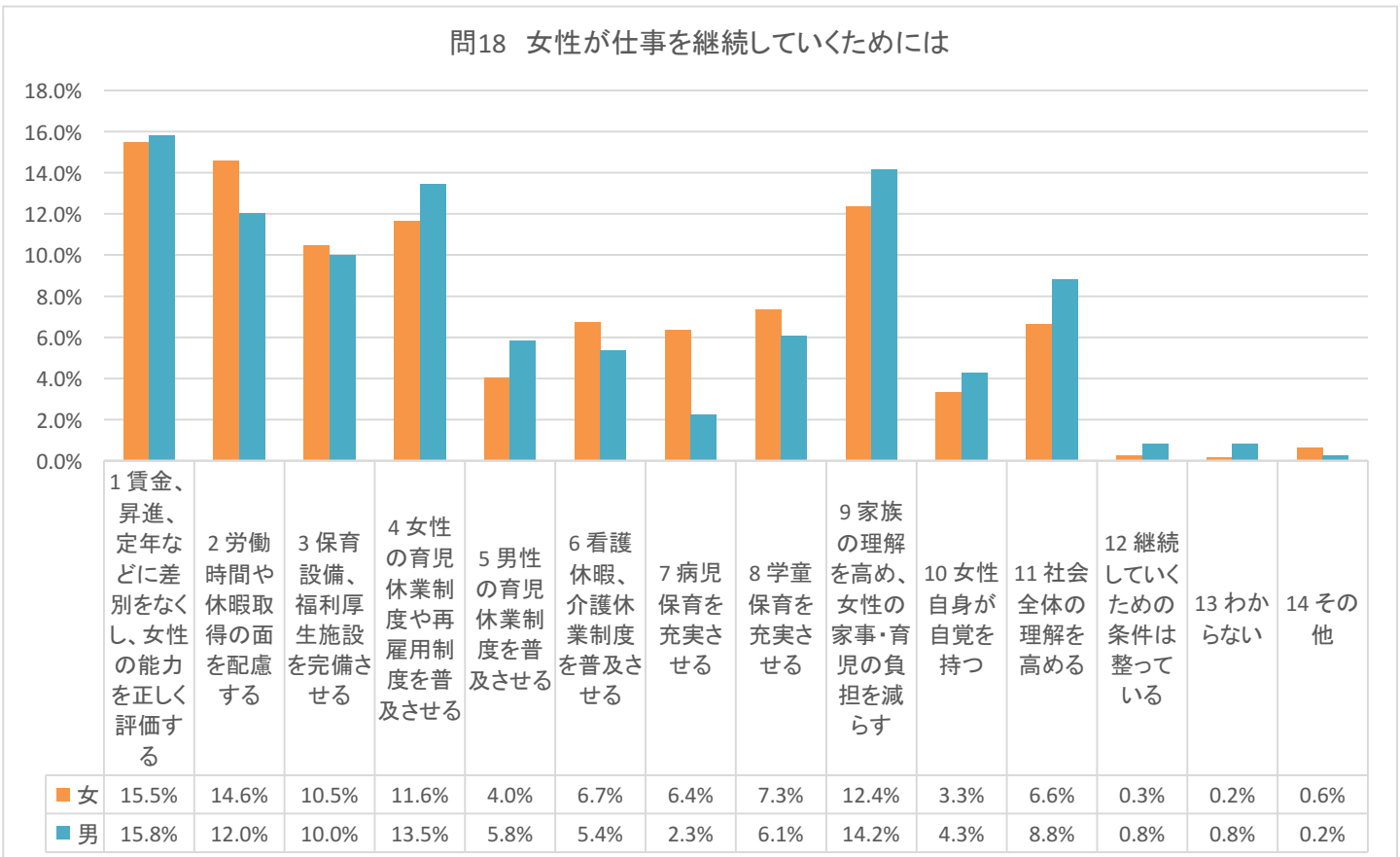
	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	 94	25.3%	 56	19.4%	 150	22.7%
どちらかと言えばあてはまる	 94	25.3%	 77	26.7%	 171	25.9%
どちらともいえない	 110	29.6%	 106	36.8%	 216	32.7%
どちらかと言えばあてはまらない	 12	3.2%	 14	4.9%	 26	3.9%
あてはまらない	 62	16.7%	 35	12.2%	 97	14.7%
	n =	372		288		660

問18 女性が仕事を継続していくためにはどのようにすればよいとお考えですか。(〇は3つ以内)

女性が仕事を継続していくために必要なことについて、「1 賃金、昇進、定年などに差別をなくし、女性の能力を正しく評価する」が15.6%、「2 労働時間や休暇取得の面を配慮する」が13.5%、「9 家族の理解を高め、女性の家事・育児の負担を減らす」が13.1%となっている。

男女別集計では、総計で最も高かった「1 賃金、昇進、定年などに差別をなくし、女性の能力を正しく評価する」は男女とも最も高く(女性15.5%、男性15.8%)、総計の2、3番目は女性でも同じ順(14.6%、12.4%)だが、男性は「9 家族の理解を高め、女性の家事・育児の負担を減らす」(14.2%)、「4 女性の育児休業制度や再雇用制度を普及させる」(13.5%)の順であった。

【単純集計】



【男女別集計】

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 賃金、昇進、定年などに差別をなくし、女性の能力を正しく評価する	173	15.5%	133	15.8%	306	15.6%
2 労働時間や休暇取得の面を配慮する	163	14.6%	101	12.0%	264	13.5%
3 保育設備、福利厚生施設を完備させる	117	10.5%	84	10.0%	201	10.3%
4 女性の育児休業制度や再雇用制度を普及させる	130	11.6%	113	13.5%	243	12.4%
5 男性の育児休業制度を普及させる	45	4.0%	49	5.8%	94	4.8%
6 看護休暇、介護休業制度を普及させる	75	6.7%	45	5.4%	120	6.1%
7 病児保育を充実させる	71	6.4%	19	2.3%	90	4.6%
8 学童保育を充実させる	82	7.3%	51	6.1%	133	6.8%
9 家族の理解を高め、女性の家事・育児の負担を減らす	138	12.4%	119	14.2%	257	13.1%
10 女性自身が自覚を持つ	37	3.3%	36	4.3%	73	3.7%
11 社会全体の理解を高める	74	6.6%	74	8.8%	148	7.6%
12 継続していくための条件は整っている	3	0.3%	7	0.8%	10	0.5%
13 わからない	2	0.2%	7	0.8%	9	0.5%
14 その他	7	0.6%	2	0.2%	9	0.5%
	n = 1,117		840		1,957	

## V 男女間における暴力(DV・セクハラ等)について

問19 配偶者や交際相手から身体的・精神的な暴力を受ける「ドメスティック・バイオレンス(DV)」に関して、あなたが直接被害を受けたり、身近に被害を受けた人がありますか。(○は2つまで)

「1 最近5年間の間に被害を受けた人」は11人で1.5%(前回1.7%)、「2 過去に被害を受けた人」は37人で5.0%(前回5.4%)、「3 身近に被害を受けた人がいる」は81人で10.9%(前回8.8%)であった。

(単純集計・男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 この最近5年間に被害を受けた	9	2.1%	2	0.6%	11	1.5%	5	1.7%
2 この5年以内はないが、過去に被害を受けたことがある	31	7.3%	6	1.9%	37	5.0%	16	5.4%
3 身近に被害を受けた人がいる	53	12.4%	28	8.8%	81	10.9%	26	8.8%
4 被害も受けたことがないし、身近にもいない	333	78.2%	283	88.7%	616	82.7%	247	84.0%
n=	426		319		745		294	

問19-1 問19で1、2、3を回答したかたにおたずねします。その時にあなたは誰かに相談しましたか。(○はいくつでも)

DVに対する対応について、「11 どこ(だれ)にも相談しなかった」人は41人で25.9%(前回20.3%)、「8 家族、親戚に相談した」人は36人で22.8%(前回19.0%)、「9 友人、知人に相談した」人は33人で20.9%(前回24.1%)であった。

(単純集計・男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 警察に連絡・相談した	6	5.4%	4	8.7%	10	6.3%	6	7.6%
2 法務局や人権擁護委員に相談した	2	1.8%	0	0.0%	2	1.3%	3	3.8%
3 県の相談機関(男女共同参画センター、人権局、県民局等)に相談した	5	4.5%	3	6.5%	8	5.1%	4	5.1%
4 市の相談機関(人権局、市民相談室、人権文化センター等)に相談した	3	2.7%	5	10.9%	8	5.1%	4	5.1%
5 民間の専門家や専門機関(弁護士、カウンセラー、被害者支援団体等)に相談した	5	4.5%	2	4.3%	7	4.4%	6	7.6%
6 医療関係者(医師・看護師など)に相談した	4	3.6%	2	4.3%	6	3.8%	4	5.1%
7 学校関係者(教員等)や職場の上司に相談した	1	0.9%	1	2.2%	2	1.3%	0	0.0%
8 家族や親戚に相談した	29	25.9%	7	15.2%	36	22.8%	15	19.0%
9 友人、知人に相談した	28	25.0%	5	10.9%	33	20.9%	19	24.1%
10 その他	1	0.9%	4	8.7%	5	3.2%	2	2.5%
11 どこ(だれ)にも相談しなかった	28	25.0%	13	28.3%	41	25.9%	16	20.3%
n=	112		46		158		79	

問19-2 問19-1で1～10を回答されたかたにおたずねします。そのDVは解決しましたか。

DVは解決したかについて「解決した」人は59.3% (前回71.4%)、「解決していない」人は26.7% (前回0%)である。

(単純集計・男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
解決した	38	61.3%	13	54.2%	51	59.3%	5	71.4%
解決していない	13	21.0%	10	41.7%	23	26.7%	0	0.0%
その他	11	17.7%	1	4.2%	12	14.0%	2	28.6%
n=	62		24		86		7	

問19-3 問19-1で11を回答されたかたにおたずねします。どこ(だれ)にも相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

どこ(だれ)にも相談しなかった理由について、「3 相談してもむだだと思ったから」が14.1% (前回15.8%)、「1 どこ(だれ)に相談してよいのか、わからなかったから」が12.7% (前回10.5%)となっている。そのほか「12 自分にも悪いところがあると思ったから」と「14 相談するほどのことではないと思ったから」がともに8.5%となっている。

(単純集計・男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 どこ(だれ)に相談してよいのか、わからなかったから	4	9.3%	5	17.9%	9	12.7%	2	10.5%
2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから	3	7.0%	2	7.1%	5	7.0%	1	5.3%
3 相談してもむだだと思ったから	8	18.6%	2	7.1%	10	14.1%	3	15.8%
4 相談したことがかかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	1	2.3%	1	3.6%	2	2.8%	1	5.3%
5 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	1	2.3%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	0	0.0%	2	7.1%	2	2.8%	0	0.0%
7 自分ががまんさえすれば、何とかこのままやっていけると思ったから	2	4.7%	2	7.1%	4	5.6%	3	15.8%
8 世間体が悪いから	0	0.0%	2	7.1%	2	2.8%	1	5.3%
9 他人を巻き込みたくなかったから	2	4.7%	1	3.6%	3	4.2%	1	5.3%
10 他人に知られると、これまで通りのつき合いができなくなると思ったから	1	2.3%	0	0.0%	1	1.4%	2	10.5%
11 そのことについて思い出したくなかったから	2	4.7%	1	3.6%	3	4.2%	1	5.3%
12 自分にも悪いところがあると思ったから	4	9.3%	2	7.1%	6	8.5%	1	5.3%
13 相手の行為が愛情の表現だと思ったから	2	4.7%	1	3.6%	3	4.2%	0	0.0%
14 相談するほどのことではないと思ったから	4	9.3%	2	7.1%	6	8.5%	3	15.8%
15 その他	9	20.9%	5	17.9%	14	19.7%	0	0.0%
n=	43		28		71		19	

問20 あなたは、職場において「セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)」に関して、あなたが直接被害を受けたり、身近に被害を受けた人がありますか。(〇は2つまで)

職場における「セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)」について、「1 最近5年の間に被害を受けた」と回答した人は14人(前回4人)で2.1%(前回1.6%)、「2 過去に被害を受けた」人は42人(前回7人)で6.2%(前回2.8%)、「3 身近に被害を受けた人がある」人は41人(前回8人)で6.1%(前回3.2%)であった。

(単純集計・男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 この最近5年の間に被害を受けた	13	3.4%	1	0.3%	14	2.1%	4	1.6%
2 この5年以内はないが、過去に被害をうけたことがある	36	9.4%	6	2.0%	42	6.2%	7	2.8%
3 身近に被害を受けた人がある	21	5.5%	20	6.8%	41	6.1%	8	3.2%
4 被害も受けたことがないし、身近にもいない	311	81.6%	269	90.9%	580	85.7%	230	92.4%
n=	381		296		677		249	

問20-1 問20で1. 2. 3. を回答したかたにおたずねします。その時にあなたは誰かに相談しましたか。(〇はいくつでも)

セクハラに対する対応について、「8 どこ(だれ)にも相談しなかった」人は35.2%(前回25.0%)、「2 職場や学校の苦情処理機関や上司・教師などに相談した」人は19.0%(前回20.8%)、「1 相手に直接抗議した」人は15.2%(前回16.7%)、「6 友人、知人に相談した」と回答した人は14.3%(前回29.2%)となっている。

問20において前回比で6.8ポイントセクハラ被害が増加しているにもかかわらず「どこ(だれ)にも相談しなかった」が前回比10.2ポイント増となっている。

(単純集計・男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 相手に直接抗議した	10	12.8%	6	22.2%	16	15.2%	4	16.7%
2 職場や学校の苦情処理機関や上司・教師などに相談した	14	17.9%	6	22.2%	20	19.0%	5	20.8%
3 国・県・市などの公的な相談機関の窓口や警察等に相談した	1	1.3%	3	11.1%	4	3.8%	0	0.0%
4 弁護士など専門家や専門機関に相談した	2	2.6%	0	0.0%	2	1.9%	1	4.2%
5 家族や親戚に相談した	8	10.3%	1	3.7%	9	8.6%	1	4.2%
6 友人、知人に相談した	13	16.7%	2	7.4%	15	14.3%	7	29.2%
7 その他	2	2.6%	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%
8 どこ(だれ)にも相談しなかった	28	35.9%	9	33.3%	37	35.2%	6	25.0%
n=	78		27		105		24	



問20-2 問20-1で8を回答されたかたにおたずねします。どこ(だれ)にも相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

どこ(だれ)にも相談しなかった理由について、「3 相談してもむだだと思ったから」と回答した人は14.7%(前回25.0%)、次いで「7 自分がかまんさえすれば、何とかこのままやっていたらと思ったから」12.0%(前回0.0%)、「14 相談するほどのことではないと思ったから」12.0%(前回12.5%)、「1 どこ(だれ)に相談していいのか、わからなかったから」10.7%(前回12.5%)となっている。

(単純集計・男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 どこ(だれ)に相談していいのか、わからなかったから	5	8.9%	3	15.8%	8	10.7%	1	12.5%
2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから	4	7.1%	1	5.3%	5	6.7%	1	12.5%
3 相談してもむだだと思ったから	10	17.9%	1	5.3%	11	14.7%	2	25.0%
4 相談したことがかかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	2	3.6%	1	5.3%	3	4.0%	0	0.0%
5 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	0	0.0%	1	5.3%	1	1.3%	0	0.0%
6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	1	1.8%	1	5.3%	2	2.7%	0	0.0%
7 自分がかまんさえすれば、何とかこのままやっていたらと思ったから	7	12.5%	2	10.5%	9	12.0%	0	0.0%
8 世間体が悪いから	1	1.8%	1	5.3%	2	2.7%	0	0.0%
9 他人を巻き込みたくなかったから	2	3.6%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%
10 他人に知られると、これまで通りのつき合いができなくなると思ったから	4	7.1%	0	0.0%	4	5.3%	0	0.0%
11 そのことについて思い出したくなかったから	1	1.8%	1	5.3%	2	2.7%	0	0.0%
12 自分にも悪いところがあると思ったから	1	1.8%	3	15.8%	4	5.3%	0	0.0%
13 相手の行為が愛情の表現だと思ったから	1	1.8%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
14 相談するほどのことではないと思ったから	9	16.1%	0	0.0%	9	12.0%	1	12.5%
15 その他	8	14.3%	4	21.1%	12	16.0%	3	37.5%
n=	56		19		75		8	

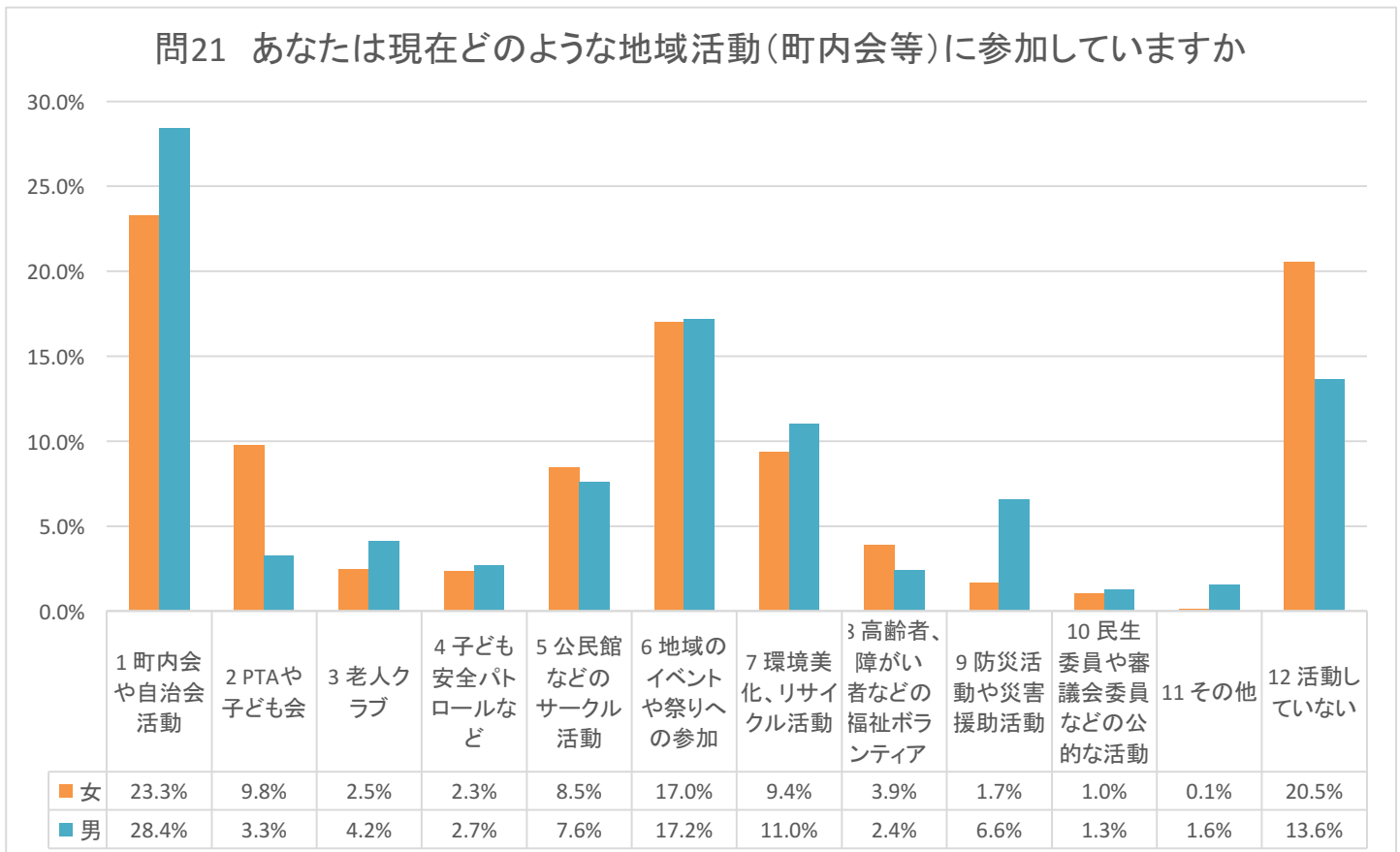
V 地域活動について

問21 あなたは現在どのような地域活動(町内会等)に参加していますか。(〇はいくつでも)

どのような地域活動(町内会等)に参加しているかについて、「1 町内会や自治会活動」と回答している人は25.7%(前回26.2%)、「6 地域のイベントや祭り」は17.1%(前回17.9%)、「7 環境美化・リサイクル活動」は10.2%(前回9.9%)となっている。一方、「12 活動していない」と回答している人は17.3%(前回11.6%)であった。

男女別集計で性別の差が大きい項目を見ると、最も差があるのは「12 活動していない」(女性20.5%、男性13.6%)で6.9ポイント女性が高く、次いで「2 PTAや子ども会」(女性9.8%、男性3.3%)で5.5ポイント女性が高い。次に「1 町内会や自治会活動」(女性23.3%、男性28.4%)で5.1ポイント男性が高く、「9 防災活動や災害援助活動」(女性1.7%、男性6.6%)で4.9ポイント男性が高くなっている。

(単純集計)



(男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 町内会や自治会活動	179	23.3%	198	28.4%	377	25.7%	177	26.2%
2 PTAや子ども会	75	9.8%	23	3.3%	98	6.7%	50	7.4%
3 老人クラブ	19	2.5%	29	4.2%	48	3.3%	29	4.3%
4 子ども安全パトロールなど	18	2.3%	19	2.7%	37	2.5%	17	2.5%
5 公民館などのサークル活動	65	8.5%	53	7.6%	118	8.0%	67	9.9%
6 地域のイベントや祭りへの参加	131	17.0%	120	17.2%	251	17.1%	121	17.9%
7 環境美化、リサイクル活動	72	9.4%	77	11.0%	149	10.2%	62	9.2%
8 高齢者、障がい者などの福祉ボランティア	30	3.9%	17	2.4%	47	3.2%	32	4.7%
9 防災活動や災害援助活動	13	1.7%	46	6.6%	59	4.0%	31	4.6%
10 民生委員や審議会委員などの公的活動	8	1.0%	9	1.3%	17	1.2%	11	1.6%
11 その他	1	0.1%	11	1.6%	12	0.8%	0	0.0%
12 活動していない	158	20.5%	95	13.6%	253	17.3%	78	11.6%
n=	769		697		1,466		675	

問21-1 問21で1～11を回答されたかたにおたずねします。今までの活動で自分自身にもたらした変化・効果はどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

地域活動(町内会等)を通してもたらした変化・効果について、「4 地域の様々な人とのつながりができた」が35.0%(前回31.2%)、「8 地域・社会に対する貢献ができた」が16.2%(前回14.3%)、「10 地域や社会の課題に関心を持つようになった」が10.9%(前回12.2%)となっている。

男女別集計において、男女とも「4 地域の様々な人とのつながりができた」(女性34.3%、男性33.3%)、次いで「8 地域・社会にに対する貢献ができた」(女性12.4%、男性19.0%)だが、3番目は男女の回答が異なり、女性は「13 特になし」9.2%(男性は5.9%・5番目)、男性は「10 地域や社会の課題に関心を持つようになった」13.6%(女性は7.5%・6番目)であった。

(男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 配偶者との関係が良くなった	10	1.9%	9	1.7%	4	0.4%	4	0.8%
2 子どもとの関係が良くなった	15	2.8%	10	1.9%	5	0.5%	5	1.0%
3 親との関係が良くなった	5	0.9%	4	0.8%	9	0.9%	5	1.0%
4 地域の様々な人とのつながりができた	182	34.3%	174	33.3%	356	35.0%	159	31.2%
5 価値観を共有できる仲間ができた	47	8.9%	29	5.6%	76	7.5%	40	7.8%
6 生きがいや充実感を感じるようになった	27	5.1%	22	4.2%	49	4.8%	36	7.1%
7 毎日が楽しいと思うようになった	14	2.6%	10	1.9%	24	2.4%	19	3.7%
8 地域・社会に対する貢献ができた	66	12.4%	99	19.0%	165	16.2%	73	14.3%
9 必要に応じて人に頼れるようになった	25	4.7%	19	3.6%	44	4.3%	34	6.7%
10 地域や社会の課題に関心を持つようになった	40	7.5%	71	13.6%	111	10.9%	62	12.2%
11 異なる立場にいる様々な人の考えや態度を受け入れようという気持ちが強くなった	43	8.1%	40	7.7%	83	8.2%	40	7.8%
12 その他	8	1.5%	4	0.8%	12	1.2%	2	0.4%
13 特になし	49	9.2%	31	5.9%	80	7.9%	31	6.1%
	n=	531	522		1,018		510	

問21-2 問21で12と回答されたかたにおたずねします。今後の活動についてどのようにお考えですか。(〇はいくつでも)

今後の活動についての考えをたずねたところ、「7 活動したくない」が24.7%と最も高く、「1 仕事にゆとりがあれば活動したい」が20.4% (前回12.5%)、次いで「3 身近に施設や活動する場所があれば活動したい」が19.7% (前回18.8%)となっている。

男女別集計において、男女とも「7 活動したくない」(女性24.1%、男性25.9%)が最も高く、2番目は、女性は「3 身近に施設や活動する場所があれば活動したい」(23.5%)男性は「5 健康に自信が持てれば活動したい」(20.5%)、3番目は男女とも「1 仕事にゆとりがあれば活動したい」(女性21.9%、男性17.9%)であった。

(男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 仕事にゆとりがあれば活動したい	41	21.9%	20	17.9%	61	20.4%	2	12.5%
2 育児や介護など交代できれば活動したい	5	2.7%	3	2.7%	8	2.7%	0	0.0%
3 身近に施設や活動する場所があれば活動したい	44	23.5%	15	13.4%	59	19.7%	3	18.8%
4 経済的にゆとりがあれば活動したい	11	5.9%	16	14.3%	27	9.0%	3	18.8%
5 健康に自信が持てれば活動したい	31	16.6%	23	20.5%	54	18.1%	6	37.5%
6 家族の協力が得られれば活動したい	10	5.3%	6	5.4%	16	5.4%	1	6.3%
7 活動したくない	45	24.1%	29	25.9%	74	24.7%	1	6.3%
n=	187		112		299		16	

問22 あなたは、自治会や町内会、PTAなどの地域リーダー（館長や部長）又は役員をたのまれた場合、どうされますか

町内会や自治会、PTAなどの地域活動のリーダー（館長や部長）又は役員を頼まれた場合について、「①町内会や自治会活動」では、「頼まれたら喜んで引き受ける」と「家庭のことなど周囲に状況が許せば引き受ける」と「できれば引き受けたくないが、やむを得ず引き受ける」を合わせた「引き受ける」と回答している人は67.3%（前回65.9%）、「できれば引き受けたくないの、理由をつけて断る」と「絶対に引き受けない」を合わせた「断る・引き受けない」と回答している人は32.8%（前回34.2%）であった。「②PTA」では、「引き受ける」人は54.9%（前回56.0%）、「断る・引き受けない」人は45.0%（前回44.0%）。「③老人クラブなど」では、「引き受ける」人は49.8%（前回52.0%）、「断る・引き受けない」人は50.2%（前回48.0%）。「④サークル活動」では「引き受ける」人は54.9%（前回57.6%）、「断る・引き受けない」人は45.1%（前回42.5%）。「⑤ボランティア活動」では、「引き受ける」人は64.6%（前回66.8%）、「断る・引き受けない」人は35.4%（前回33.2%）。「⑥地域のイベントや祭りなど」では、「引き受ける」人は65.3%（前回68.9%）、「断る・引き受けない」人は34.7%（前回31.2%）。「⑦民生委員や審議会委員など公的な活動」では「引き受ける」人は43.5%（前回44.4%）、「断る・引き受けない」人は56.5%（55.7%）となっている。

男女別集計の各項目において、性別によって回答率の高い順(1～3番目)が異なっている項目は、「②PTA」、「⑥地域のイベントや祭りなど」、「⑦民生委員や審議会委員など公的な活動」であった。

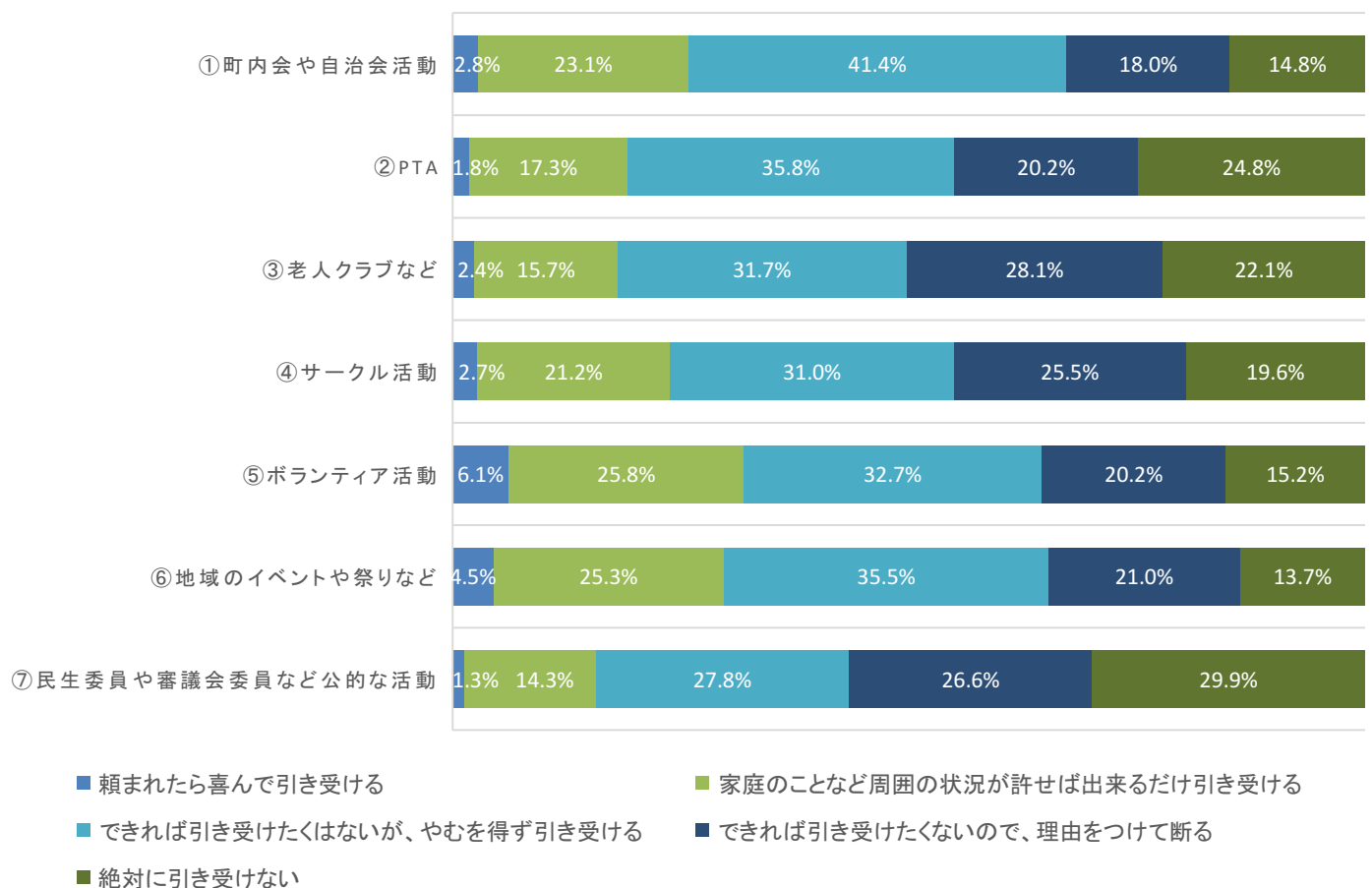
「②PTA」の上位1、2番目の回答は男女とも同じだが、3番目の回答では、女性は「家庭のことなど周囲の状況が許せばできるだけ引き受ける」18.0%、男性は「できれば引き受けたくないの、理由を付けて断る」23.7%となっている。

「⑥地域のイベントや祭りなど」では、1番目は同じだが、女性の2番目は「できれば引き受けたくないの、理由を付けて断る」24.0%、3番目は「家庭のことなど周囲の状況が許せば引き受ける」22.1%で、男性はその逆の順「家庭の…引き受ける」(29.3%)、「できれば…断る」(17.4%)となっている。

「⑦民生委員や審議会委員など公的な活動」では、1番目と3番目が逆になっており、女性の1番目は「絶対に引き受けない」34.1%で男性との差が9.5ポイント高くなっている。男性の1番目は「できれば引き受けたくないがやむを得ず引き受ける」29.9%で女性との差が3.8ポイント高くなっている。

(単純集計)

問22 あなたは、自治会や町内会、PTAなどの地域活動



## (男女別集計)

## ①町内会や自治会活動

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
頼まれたら喜んで引き受ける	4	1.0%	16	5.0%	20	2.8%	7	2.5%
家庭のことなど周囲の状況が許せばできるだけ引き受ける	81	20.3%	85	26.6%	166	23.1%	76	26.8%
できれば引き受けたくないが、やむを得ず引き受ける	162	40.6%	135	42.3%	297	41.4%	104	36.6%
できれば引き受けたくないが、理由をつけて断る	79	19.8%	50	15.7%	129	18.0%	53	18.7%
絶対に引き受けない	73	18.3%	33	10.3%	106	14.8%	44	15.5%
n=	399		319		718		284	

## ②PTA

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
頼まれたら喜んで引き受ける	5	1.5%	6	2.3%	11	1.8%	2	0.9%
家庭のことなど周囲の状況が許せばできるだけ引き受ける	61	18.0%	43	16.4%	104	17.3%	54	24.0%
できれば引き受けたくないが、やむを得ず引き受ける	130	38.5%	85	32.4%	215	35.8%	70	31.1%
できれば引き受けたくないが、理由をつけて断る	59	17.5%	62	23.7%	121	20.2%	51	22.7%
絶対に引き受けない	83	24.6%	66	25.2%	149	24.8%	48	21.3%
n=	338		262		600		225	

## ③老人クラブなど

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
頼まれたら喜んで引き受ける	6	1.6%	10	3.4%	16	2.4%	2	0.8%
家庭のことなど周囲の状況が許せばできるだけ引き受ける	52	14.0%	53	17.8%	105	15.7%	59	23.4%
できれば引き受けたくないが、やむを得ず引き受ける	119	32.0%	93	31.3%	212	31.7%	70	27.8%
できれば引き受けたくないが、理由をつけて断る	102	27.4%	86	29.0%	188	28.1%	58	23.0%
絶対に引き受けない	93	25.0%	55	18.5%	148	22.1%	63	25.0%
n=	372		297		669		252	

## ④サークル活動

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
頼まれたら喜んで引き受ける	7	1.9%	11	3.7%	18	2.7%	6	2.4%
家庭のことなど周囲の状況が許せばできるだけ引き受ける	67	18.0%	75	25.3%	142	21.2%	69	27.2%
できれば引き受けたくないが、やむを得ず引き受ける	116	31.1%	92	31.0%	208	31.0%	71	28.0%
できれば引き受けたくないが、理由をつけて断る	102	27.3%	69	23.2%	171	25.5%	50	19.7%
絶対に引き受けない	81	21.7%	50	16.8%	131	19.6%	58	22.8%
n=	373		297		670		254	

## ⑤ボランティア活動

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
頼まれたら喜んで引き受ける	16	4.2%	26	8.6%	42	6.1%	7	2.6%
家庭のことなど周囲の状況が許せばできるだけ引き受ける	90	23.7%	86	28.3%	176	25.8%	92	34.3%
できれば引き受けたくないが、やむを得ず引き受ける	131	34.6%	92	30.3%	223	32.7%	80	29.9%
できれば引き受けたくないが、理由をつけて断る	75	19.8%	63	20.7%	138	20.2%	42	15.7%
絶対に引き受けない	67	17.7%	37	12.2%	104	15.2%	47	17.5%
n=	379		304		683		268	

⑥地域のイベントや祭りなど

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
頼まれたら喜んで引き受ける	11	2.9%	20	6.4%	31	4.5%	14	5.0%
家庭のことなど周囲の状況が許せばできるだけ引き受ける	85	22.1%	91	29.3%	176	25.3%	87	30.9%
できれば引き受けたくないが、やむを得ず引き受ける	136	35.4%	111	35.7%	247	35.5%	93	33.0%
できれば引き受けたくないので、理由をつけて断る	92	24.0%	54	17.4%	146	21.0%	43	15.2%
絶対に引き受けない	60	15.6%	35	11.3%	95	13.7%	45	16.0%
n=	384		311		695		282	

⑦民生委員や審議会委員など公的な活動

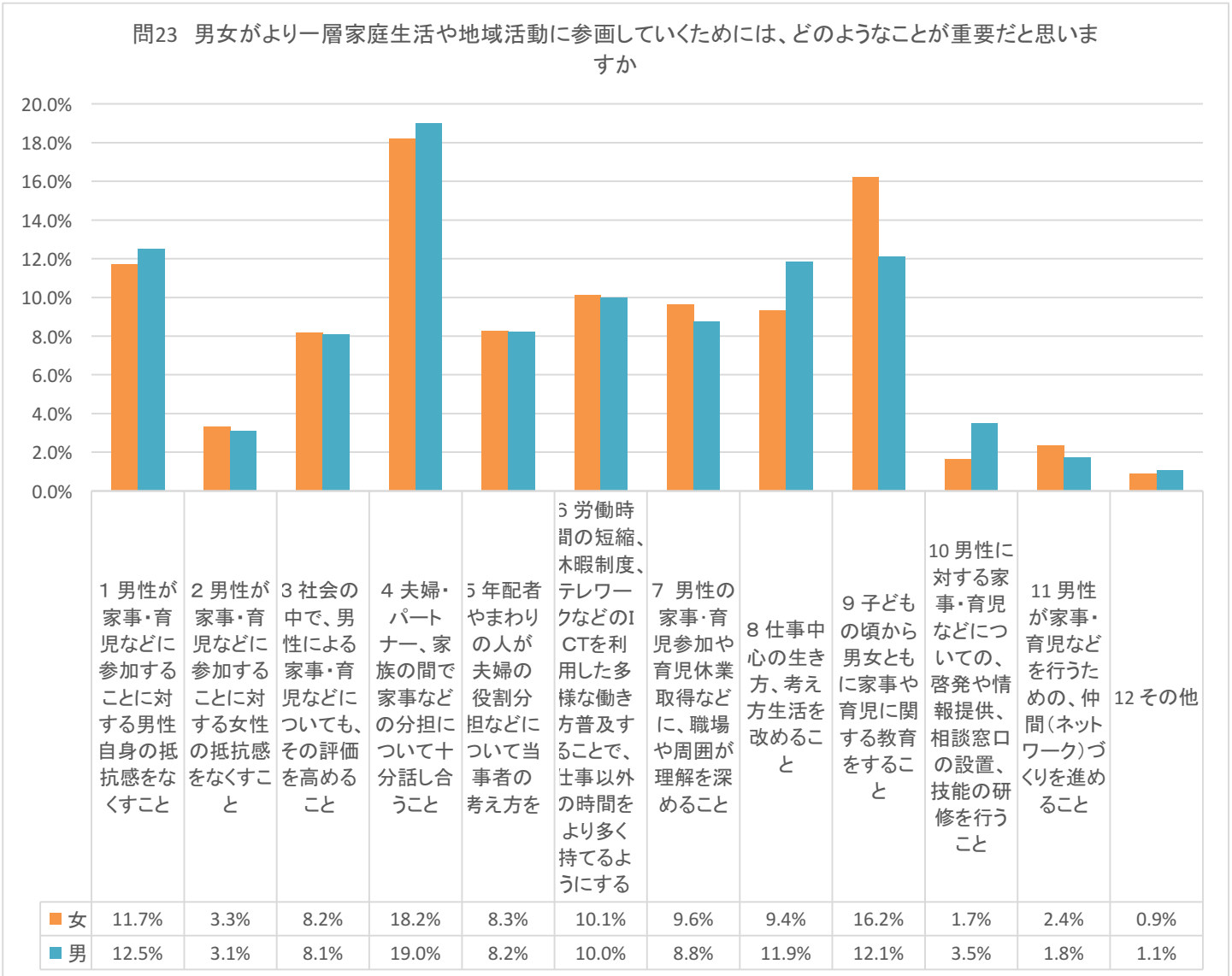
	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
頼まれたら喜んで引き受ける	2	0.5%	7	2.3%	9	1.3%	2	0.8%
家庭のことなど周囲の状況が許せばできるだけ引き受ける	45	12.0%	52	17.3%	97	14.3%	46	17.3%
できれば引き受けたくないが、やむを得ず引き受ける	98	26.1%	90	29.9%	188	27.8%	70	26.3%
できれば引き受けたくないので、理由をつけて断る	102	27.2%	78	25.9%	180	26.6%	68	25.6%
絶対に引き受けない	128	34.1%	74	24.6%	202	29.9%	80	30.1%
n=	375		301		676		266	

問23 男女がより一層家庭生活や地域活動に参画していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

男女がより一層家庭生活や地域活動に参画していくためには、どのようなことが重要かについて(3つまでの複数回答)、「4 夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」が18.5%(前回14.7%)、「9 子供の頃から男女ともに家事や育児に関する教育をすること」が14.5%、「1 男性が家事、育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が12.1%であった。

男女別集計における高順位では、女性は総計の順位と同じであるが、男性の2番目と3番目が0.4ポイントのわずかな差ではあるが女性の順位と逆になっている。

【単純集計】





## (男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	119	11.7%	93	12.5%	212	12.1%	105	13.7%
2 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	34	3.3%	23	3.1%	57	3.2%		0.0%
3 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること	83	8.2%	60	8.1%	143	8.1%	90	11.8%
4 夫婦・パートナー、家族の間で家事などの分担について十分話し合うこと	185	18.2%	141	19.0%	326	18.5%	112	14.7%
5 年配者やまわりの人が夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重する	84	8.3%	61	8.2%	145	8.2%		0.0%
6 労働時間の短縮、休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	103	10.1%	74	10.0%	177	10.1%	74	9.7%
7 男性の家事・育児参加や育児休業取得などに、職場や周囲が理解を深めること	98	9.6%	65	8.8%	163	9.3%	89	11.6%
8 仕事中心の生き方、考え方生活を改めること	95	9.4%	88	11.9%	183	10.4%	67	8.8%
9 子どもの頃から男女ともに家事や育児に関する教育をすること	165	16.2%	90	12.1%	255	14.5%	66	8.6%
10 男性に対する家事・育児などについての、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技	17	1.7%	26	3.5%	43	2.4%		0.0%
11 男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)づくりを進めること	24	2.4%	13	1.8%	37	2.1%		0.0%
12 その他	9	0.9%	8	1.1%	17	1.0%	161	21.1%

n= 1016

742

1,758

764

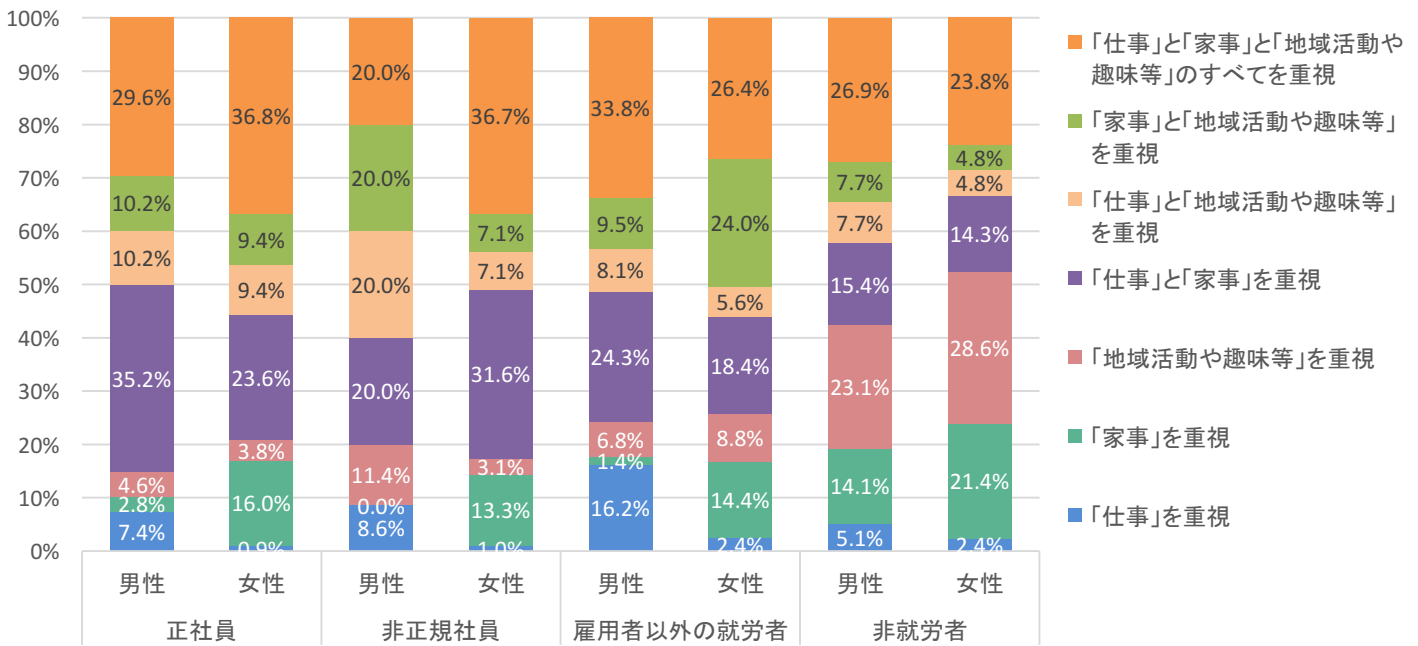
VII ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

問24 ワークライフバランス優先内容の希望と実際の一一致の状況

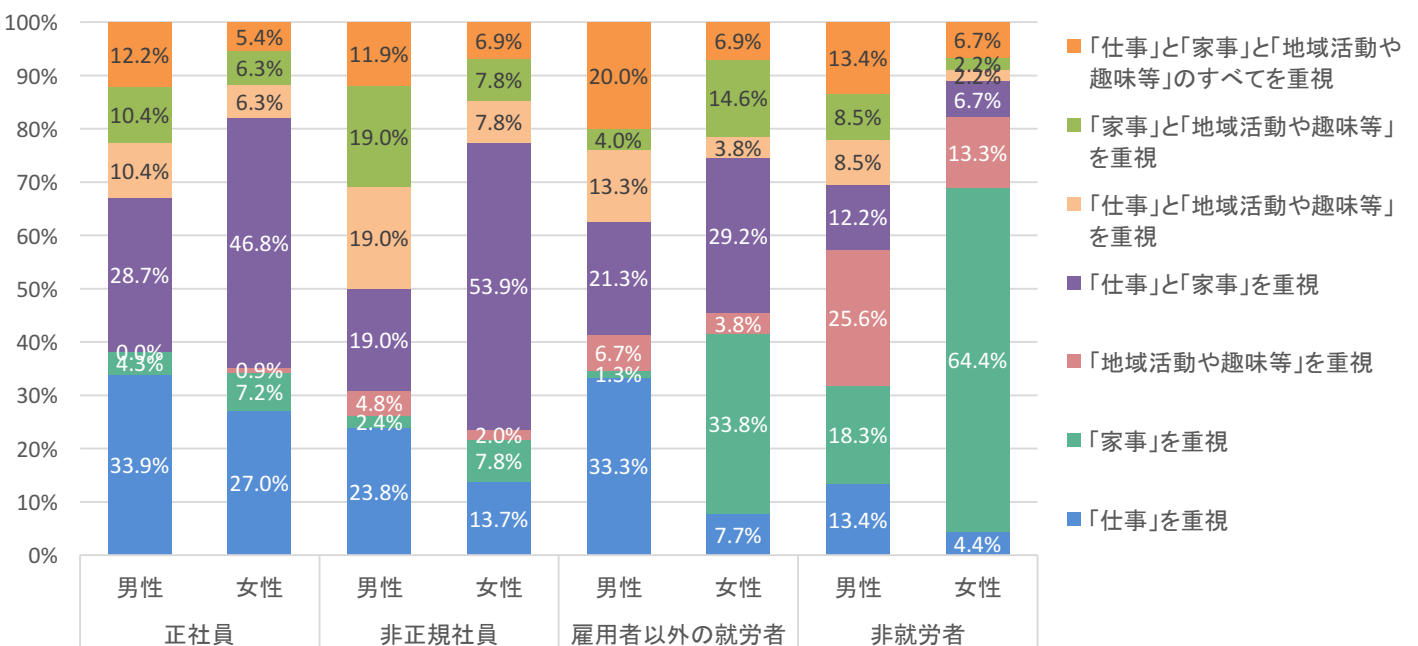
ワークライフバランスの実現状況について「仕事」「家事」「地域活動や趣味等」の3つについてどれを重視することを希望しているかについては、いずれの就労形態・性別においても「仕事」と「家事」と「地域活動や趣味等」のすべてを重視、または「仕事」と「家事」を重視の回答割合が高くなっている。正社員男性は「仕事」と「家事」を重視が35.2%と最も高く、非正規社員男性はどちらも20.0%、一方、非就労者女性は「地域活動や趣味等」を重視が28.6%と最も高くなっている。また、「家事」を重視の回答割合において、「非就労者」を除くいずれの就業形態においても女性が10%以上となっているのに比べて男性は3%未満と低くなっている。

一方、ワークライフバランスの重視内容の実際については、「非就労者」を除くいずれの就労形態・性別でも「仕事」を重視が希望を大きく上回っている。「正社員」及び「非正規社員」の女性は、「仕事」と「家事」を重視の回答率が高く、希望のそれと比較して倍程度になっているが、この選択をした男性の希望と実際の回答割合には差がない。また、「非就労者」では「家事」を重視と回答した割合が希望よりも高く、女性のほうがその差が大きくなっている。

WLBの優先内容の希望（単数回答）



WLBの優先内容の実際（単数回答）

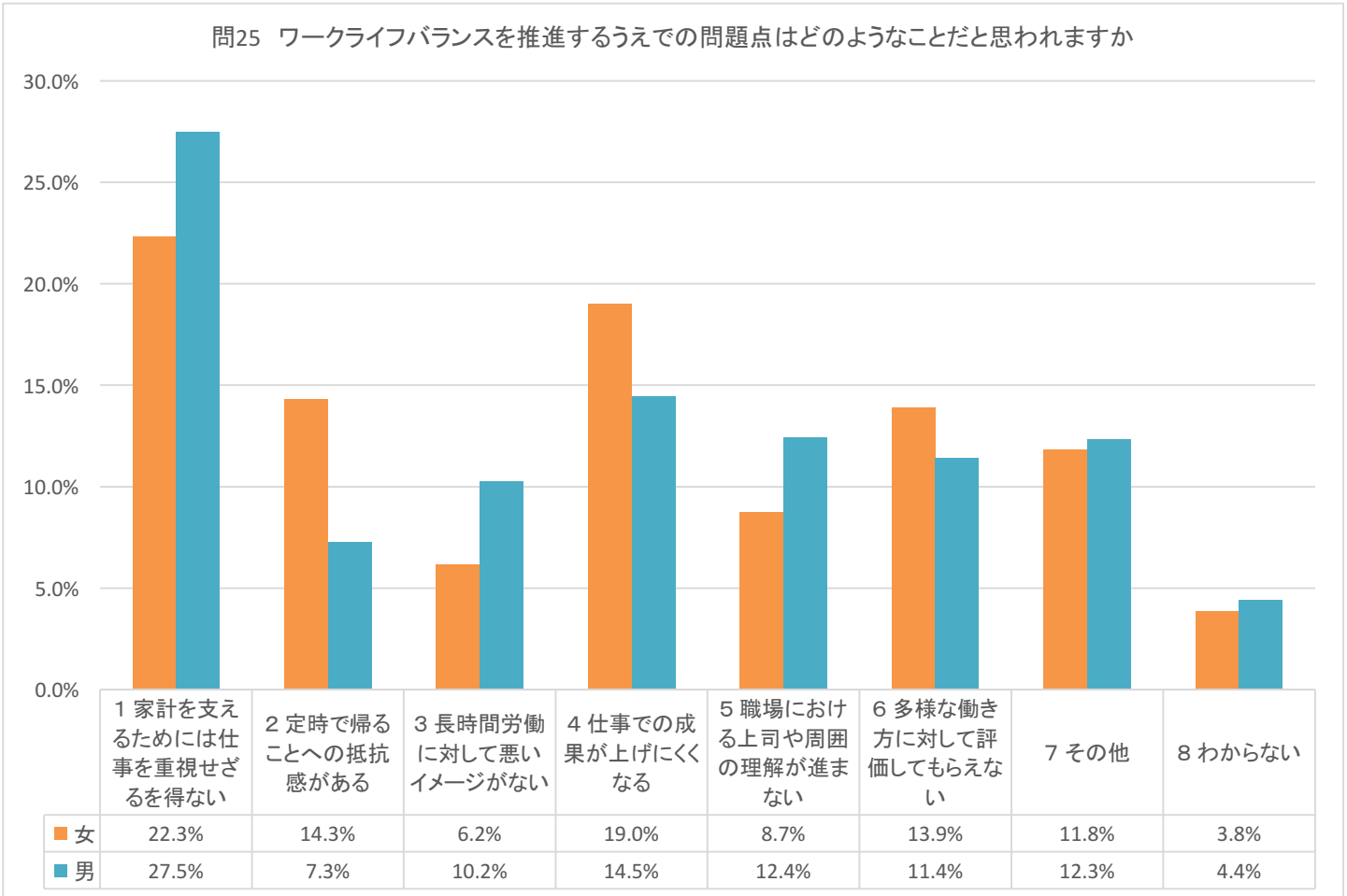


問25 ワークライフバランスを推進するうえでの問題点はどのようなことだと思われますか。(〇はいくつでも)  
 ※新規設問

ワークライフバランスを推進するうえでの問題点については、性別にかかわらず「1 家計を支えるためには仕事を重視せざるを得ない」(女性22.3%、男性27.5%)、次いで「4 仕事での成果が上げにくくなる」(女性19.0%、男性14.5%)の回答割合が高くなっている。

また、3番目に回答割合が高くなっているのは、総計では「6 多様な働き方に対して評価してもらえない」が12.8%であるが、女性では「2 定時に帰ることへの抵抗感がある」14.3%、男性では「5 「職場における上司や周囲の理解が進まない」12.4%と、性別で違いが出ている。

【単純集計】



(男女別集計)

	女		男		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 家計を支えるためには仕事を重視せざるを得ない	315	22.3%	306	27.5%	621	24.6%
2 定時に帰ることへの抵抗感がある	202	14.3%	81	7.3%	283	11.2%
3 長時間労働に対して悪いイメージがない	87	6.2%	114	10.2%	201	8.0%
4 仕事での成果が上げにくくなる	268	19.0%	161	14.5%	429	17.0%
5 職場における上司や周囲の理解が進まない	123	8.7%	138	12.4%	261	10.3%
6 多様な働き方に対して評価してもらえない	196	13.9%	127	11.4%	323	12.8%
7 その他	167	11.8%	137	12.3%	304	12.0%
8 わからない	54	3.8%	49	4.4%	103	4.1%

n= 1,412 1113 2,525

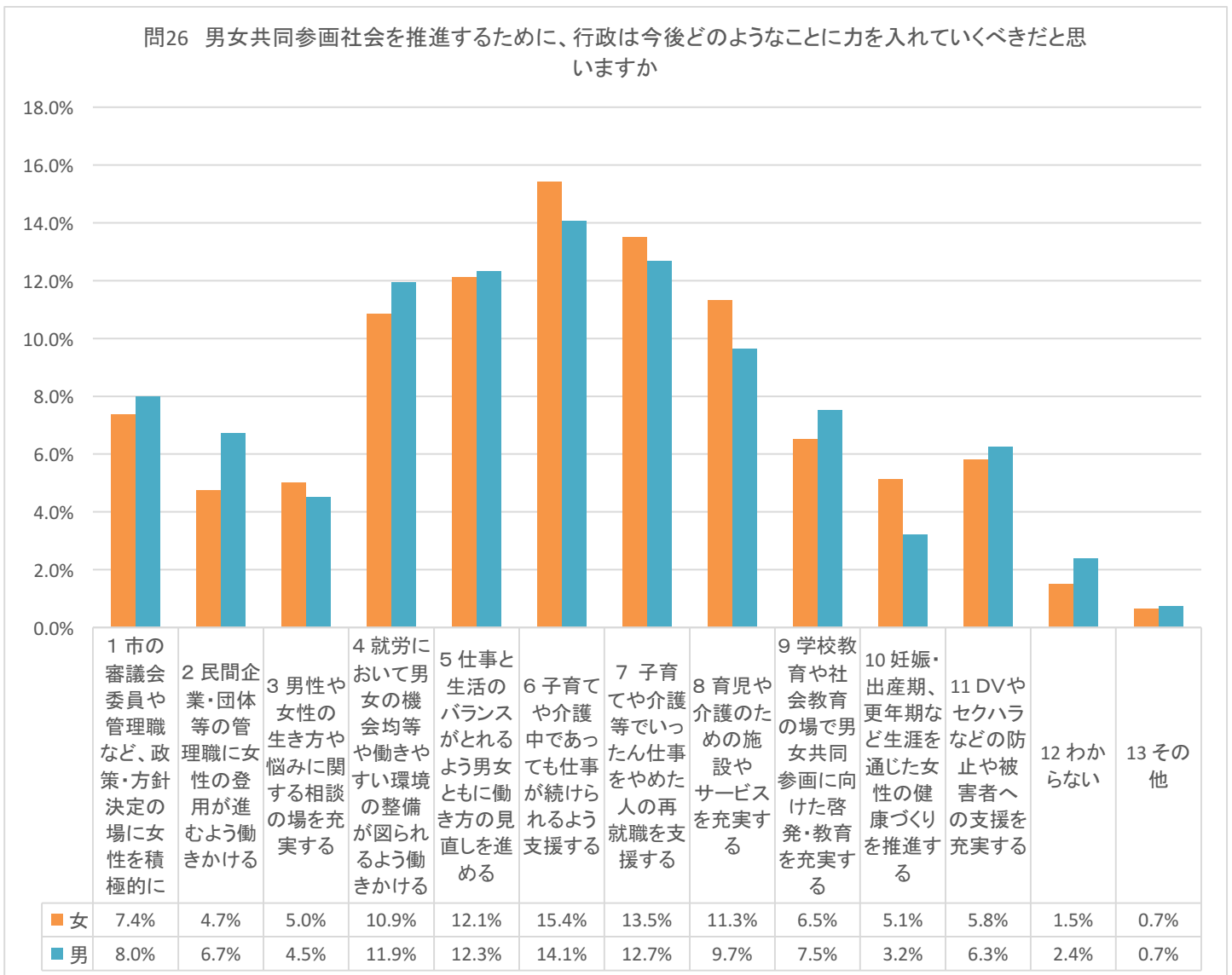
Ⅷ 男女共同参画推進に関する施策について

問26 あなたは、男女共同参画社会を推進するために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

男女共同参画社会を実現するために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきか(いくつでもの複数回答)について「6 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が22.0%(前回13.9%)、「7 子育てや介護等でいったん仕事をやめた人の再就職を支援する」が19.5%(前回12.6%)、「5 仕事と生活のバランスがとれるよう男女ともに働き方の見直しを進める」が18.1%(前回12.2%)、「4 就労において男女の機会均等や働きやすい環境の整備が図られるよう働きかける」が16.8%(前回11.2%)と続いている。

男女別集計では、割合が高い順の1番目から3番目まで男女とも総計と同じであったが、総計で4番目に割合が高かった「4 就労において男女の機会均等や働きやすい環境の整備が図られるよう働きかける」は、男性も同じ順位であったが、女性では「8 育児や介護のための施設やサービスを充実する」11.3%となっている。

【単純集計】



## (男女別集計)

	女		男		総計		前回(H27)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 市の審議会委員や管理職など、政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する	112	11.0%	87	11.7%	199	11.3%	77	6.6%
2 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう働きかける	72	7.1%	73	9.8%	145	8.2%	48	4.1%
3 男性や女性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する	76	7.5%	49	6.6%	125	7.1%	65	5.6%
4 就労において男女の機会均等や働きやすい環境の整備が図られるよう働きかける	165	16.2%	130	17.5%	295	16.8%	130	11.2%
5 仕事と生活のバランスがとれるよう男女ともに働き方の見直しを進める	184	18.1%	134	18.1%	318	18.1%	142	12.2%
6 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	234	23.0%	153	20.6%	387	22.0%	161	13.9%
7 子育てや介護等でいったん仕事をやめた人の再就職を支援する	205	20.2%	138	18.6%	343	19.5%	146	12.6%
8 育児や介護のための施設やサービスを充実する	172	16.9%	105	14.2%	277	15.8%	133	11.4%
9 学校教育や社会教育の場で男女共同参画に向けた啓発・教育を充実する	99	9.7%	82	11.1%	181	10.3%	68	5.9%
10 妊娠・出産期、更年期など生涯を通じた女性の健康づくりを推進する	78	7.7%	35	4.7%	113	6.4%	54	4.6%
11 DVやセクハラなどの防止や被害者への支援を充実する	88	8.7%	68	9.2%	156	8.9%	69	5.9%
12 わからない	23	2.3%	26	3.5%	49	2.8%	0	0.0%
13 その他	10	1.0%	8	1.1%	18	1.0%	0	0.0%
県や市の職員が率先して、家庭や地域で男女共同参画を実践する(前回のみ)							69	5.9%
	n =	1,518		1,088		2,606		1,162

## IX 男女共同参画社会に関する市の施策や男女共同参画社会についてのご意見・ご要望

### アンケート仕様について

性別	年齢	ご意見・ご要望
女	30～39歳	8の設問テーマにミスがあります「女共同参画～」になっていますが「男女共同参画～」では？
女	30～39歳	この調査の成果がどのようにして知れるのかわかると私はうれしいです。ありがとうございました。
男	30～39歳	ネットで回答できるシステムを採用してほしい。
男	30～39歳	質問内容が対等でないように感じました
男	40～49歳	偏りがないようにしてほしい
女	50～59歳	「V 男女間における暴力について」で、DV、セクハラのみであったが、性被害についても問うてほしい
女	50～59歳	この調査票が質問が多く、記入にかなり時間がかかった。もう少し簡単でさっと記入できるものの方がいいです。途中で苦痛になりました。
女	60～69歳	現在の自分にあてはまらない設問がありアンケートの内容としての答えにはならなかったように思われます
女	60～69歳	70近くになり、共同参画と言われても自分には関係ないかなと思います。私のことですが、数字や字を見るのも文章を書いたり読んだりするのも苦手です。回答が出来ず、協力が出来ずすみません。私には難しすぎました。
女	60～69歳	回答に時間がかかりすぎると思いました。枚数が多かったです
女	70～79歳	問1～26を通じて（十把一絡げにした対象に対しての質問）大変答えにくい感じがした。強いて答えればという立場で回答したが、本当に自分が感じてきたものとは違和感を感じた回答になったことは否めない。年齢、置かれた立ち位置（今就労しているか、就労の必要性を感じない人間なのか…）など考慮しての意識調査が必要ではないのか？
女	70～79歳	仕事から離れて25年以上になり、しかも県外での就労でとても恵まれていて間に回答出来ない点もありました
	70～79歳	年齢的に該当しない諮問が多く、高齢者ではなく現実に直面している年代に質問すべきです。無作為の範囲を考慮すべきです。
男	70～79歳	調査は無作為だそうですが高齢者にとりましては難しいものでした。それにコロナ渦の時代、変化も大きいと思います。
女	80歳～	80代を過ぎたものに出さずに若い人に出してください
女	80歳～	このような調査は80才を過ぎ家庭に落ち着いているような者にもとめられても一寸困るところががあり頭をかきあげてしまいます
		質問が多すぎます

## 家庭について

性別	年齢	ご意見・ご要望
女	30～39歳	大きなショッピングモールなどが無いので買い物に困る。 またそのようなモールにある子どもを遊ばせるようなキッズスペースが倉吉には無いと思う。その結果、子どもを家で遊ばせることが多くなるのではないか。そのような場所があれば父親だけでも遊びに連れて行くことができ、結果、女性にも時間ができてくるのではないか。 現在妊娠中であり核家族であるため、そのあたりで今後の不安を感じている。鳥取市、米子市、出雲市など友人と遊びに行くが、子どもを遊ばせる施設が充実しておりうらやましいなと感じている。
女	40～49歳	ボランティア情報が知りたい
女	50～59歳	保育所入所について、柔軟な対応ができるよう民間での保育士の確保への支援策を講じることを検討しては。市立保育所廃止はやむを得ないですが。（年度中途入所や、短期入所などへの対応可能に）
女	60～69歳	男女共同参画社会について何が不足というよりも今の自分の立場をパートナーに話し一緒に考える事です。コミュニケーションがとれる人間性を養いたいです
女	60～69歳	介護や育児など男女ともが一人で抱え込むことがないような社会の実現が必要と感じています。

## 教育について

性別	年齢	ご意見・ご要望
男	50～59歳	「ここまでするか」と市民に思わせるくらい繰り返し啓発活動や研修の場を設けてください。少しずつでも理解者、実践者は確実に増えています。
女	50～59歳	男女共同参画社会あらため、共生社会の推進とし、その中に男女共同参画社会は当たり前前のこととし、多様性を認める社会へレベルアップしてほしい。シチズンシップ教育も推進してほしい。
女	50～59歳	アンケートに答えていて昔より改善されている事は多いと思うし女性も働きやすくなっていると思います。しかし固定概念はそう簡単には変わらないと思うので地道な意識改革の活動、啓発活動に参加してもらいたいと思います。
女	50～59歳	法律や条例だけに頼ると現状が見えづらくなると思います。教育が大切だと思います。
女	60～69歳	男女という区分ではなく（見た目）、人間の本質を見る目を養うことが大切だと思う
女	60～69歳	・仕事・育児・家事を頑張ってきた人の話を聞くこと ・最初に立ち上げたときに聞きに行ったときにがっかりしてそれから行っていない。 ・男女共同参画社会を尊敬できる人にやってほしい。
男	70～79歳	女性に広く勉強して戴けるように毎月（毎年）カリキュラムを計ってみては？
女	70～79歳	男性、女性の性の違いと役割分担とか、共同参画とか言っても、一部の人がしか伝わっていない。昔からの考え方の固まった人が多い中で現実としてピンとこない女性や若い人に対して聞く耳を持たない人が多い。行政が、女性を積極的登用とか言うが、そんなことで女性の立場が良くなっていくとは思えない。

男	80歳～	自由の意味をはき違え、わがまま気ままに育てられた結果。その人が、又わがまま気ままな人を生み出す。家庭や社会の姿がかつて持っていた力が失われ、それを学校現場に押しつけても解決し無し。個を大切にする教育を取り続け、責任と義務、慎みの心も育てたい。自然界に生きる生命から学び、感謝、助け合い、想像力を育むためにキャンピングの開催を試みては…誰もこないかな。
男	80歳～	男と女の違う所を勉強して共に助け合って生活していく為に、違い（男性、女性）と働きを認識してお互いを助け合う為に違いと存在価値を勉強することが大事。次に役割分担を認識して共に助け合う事柄を実行して仲良く暮らす為の学習だと思います。人と言う字は共に助け合う字です。

### 広報・周知について

性別	年齢	ご意見・ご要望
女	20～29歳	問1に関連して…男女共同参画社会について一般的な知識はありますが、倉吉市がその推進のためにどんな活動をしているのかという点については全く知りません。市報やSNSを有効活用して、若い世代にもその活動内容が分かるようにして欲しいです。
男	30～39歳	きれい事、イメージ（良い）はいらないので、実行力、実現にするべき。市が何をしているか、正直分かりにくい。他県は行動力がありわかりやすかった。もう少し市としても、考える、行動をやらないといけないのでは？ 結果、県内から県外へ移住（戻ってこない）したり、県外から県内へ移住者が少ない。それがすべてだと思います。魅力がないからでしょう。
女	30～39歳	施策やプランがつくられるだけでなく、市民が理解し活用できて意味があるので、周知と地道な意識改革が必要だと思います。保護者（代表）を母にしているも、文書が父宛に届いたりする。男性優位の考え方、慣習を改めていただきたい。個人を大切にできる社会であってほしい。
男	40～49歳	積極的なPR、推進が必要ですよ！
女	40～49歳	市の施策（男女共同参画社会）についてあまり身近に感じていない。市からの発信なども耳にするご事もない。 家族の誰かが万が一（介護など）あった場合どのように対応するのか（自分自身も）又、市はどのような対応をとって頂けるのかで男女が平等に責任といえると思う
女	40～49歳	実際にどのような活動をされているのかがわかりにくい部分があります。男女共同となっても古い考えもあかなか次に進めていないのではと考えてしまいます。もっと意見の言える方が多く集まればと思います。市の税金が高いのでもう少し考えて頂ければと思います。
男	50～59歳	男女共同参画社会のPRが不十分だと思う



男	50～59歳	人の行動を変えるのは「意識」への働きかけだけでは難しい。「男女」共同参画にどんなメリットがあるのかデメリットは何かを企業や地域社会、家庭ではこうだということを示すことが必要だと思う。これは差別をなくすことも同じだと思う。差別をするデメリット、差別をしないメリットを明確にし、その実績例を公開することで「意識」だけではなく実行に移す力にもなると思う。
男	60～69歳	色々悩んでいてもどこに相談をしたらいいのかわからない人が多い。
男	70～79歳	何回か回答したことがありますが、できれば2、3年前の要望をどういう形で反映したか、具体的な施策、実績を人権政策課で出されてはと思います。やってこのままということが少しさみしい。
男	70～79歳	倉吉市に於いては、同主旨に関する具体的な成果が見えない！ 各担当者はお題を唱えることが仕事とっていないか？ 市民の意識調査も必要であるが、主旨に沿った「具体的成果」の広報が必要では？ 現状では全く見えない！
男	70～79歳	男女共同参画社会そのものの理解が不足していると思います。市職員、OBの方の地域への協力態度が不足しているのではないかと思う
女	80歳～	男女共同参画に関する施策があまり一般に知られていないように思う

#### 施策・制度について

性別	年齢	ご意見・ご要望
女	18～19歳	男女両方にとって住みやすくなるように、育児や介護のサポートが充実した社会になることを望みます。
女	20～29歳	妊活しやすい環境作り、助成制度を作って欲しい
男	30～39歳	男女平等というのは理想だし、臨むところなのですが、世界は宗教、文化、言語、LGBT、国籍、人権など、より広い問題に取り組んでいます。なので、周回遅れのように感じてしまいます。より高い視座でハイレベルな取組を企画されることを期待します。
女	40～49歳	男女平等って言ってますけど、なってないと思います。けっきょく男が強い、女は受け身って感じです。
女	40～49歳	よく分かりません。例えば女性が優遇される制度、母子手当とか生活保護…本当は該当しないのに使用している人がいっぱいいる。施策を作ってもそれを逆手にとって満足されれば納得がいけない。本当に必要な人に届くかどうか。 おかれた状況に我慢し、精神的にやられながらも、あくせく働き、子どもにも我慢をさせ税金を納める。所得が多いと母子手当はもらえない。まじめに頑張ってる方がバカらしくなる。所得が多いのには今までの積み重ねとか、それなりの理由がある。プライドの域ですが、どうか、本当の意味での平等な施策が作られ有効に税金が使われて欲しいと願っています。

男	40～49歳	色々な行政手続きなどITをもっと充実させるべき。今回のコロナで日本のITレベルが低すぎ、行政と銀行やマイナンバーなどりんくしていない。 鳥取県は予算取りが難しいため、できるだけシンプルに早く労力をできる限り少なくしコストをかけないしくみ（IT）などする。 そのためにITが深化している県・市一体となって取り組むことが必要。中国か台湾が思いの外行政サービスが早い印象。
女	40～49歳	若い力をどんどん投入、老いたら若い人に地位をゆずりその知識を後進育成に役立てる。裏にまわり助ける役に回ってもらった方が男女共同参画の推進になる。
男	40～49歳	強制力のある条例等を施行しなければ会社等にはひびきにくいのでは。 教育とは名ばかりで役に立ってよかったと思えたりこの会社は先進的だと思える社に出会った事はありません
女	40～49歳	もちろんDVやセクハラなどの被害者への支援は充実すべきだと思います。 しかし加害者への支援が全くなされていません。むしろ加害者への支援の方が重要だと思います。 再発防止や言動の改善等の観点からも是非加害者に対するプログラム作りも必要ではないかと思います。被害者をかばい距離をとるだけではなく、加害者にも自覚させるべきです。そしてお互いを理解させることも時には（ケースによる）大事なこともかもしれません。
男	50～59歳	言わないと伝わらないが言ったもの、やったもの勝ちにならないよう 施策立案実施を求めます
男	60～69歳	男性女性の区分だけではなく60歳とかで退職した人達でまだまだ働ける人の共同参画社会として取り組んで欲しい
男	60～69歳	女性にしかないものを忘れず
男	60～69歳	男女共同参画社会の推進は住みやすいまちづくりの一步と考えるので、プラン策定が「絵に描いた餅」にならないよう地域（住民）巻き込んだ取組になるようお願いいたします。また協力もしていきたいと考えます。
女	60～69歳	鳥取県はまだまだ県議会や市議会、また医師会など女子が少ない。女性目線や女性の感覚などソフト面を活かしつつ細かい部分にも気が付きすぎ間を埋め、かゆいところに手が届く、またまじめである。そんな女性の特性を後ろから後押ししてくれる男性がいたらもっと女性がトップに立てるのではないかと思う。（今のコロナも台湾やドイツなど女性がトップの国はうまくいっている）とりとめのない意見で申し訳ないが、そう思うのです。
女	60～69歳	意識改革の為に講演会や意見交換の場があれば良いと思います。
男	70～79歳	問26の1(市の審議会委員や管理職など、政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する)を強く希望する
男	70～79歳	「女性」の社会進出、参加、就業、登用は我国の時代の要請でもある。「男女共同（共働）参画」と同時進行で考える事が大切と思う。「少子化」の改善も重要と考える。海外でも日本での「少子化」と「女性の国際進出」を指摘する論調もある
男	70～79歳	男女参画の推進施策の為に子どもが置き去りになってはならない。子どもの成長に母親の役割は大きいのでまずは子どもに常に寄り添う事を最優先すべきと思う。男と女の役割は違うので全てが共同、同権の考えに違和感がある。（適材適所）

男	70～79歳	同和教育が始まった頃、戦後の気分が多くあり、差別もたくさんありました。まだ差別のない社会にはなりきっていませんが、このテーマの推進もなかなか人の意識やそれにとまなう行動がうまくいかないですが少しずつでも前進があることを信じてリーダーになって行動して欲しいと思います。
男	70～79歳	皆様のご努力で少しずつその方向に向かっていると感じています。ただ私は国、地方の政治が今のように男性中心の社会である限りは真の男女共同参画社会は生まれないと考えております。もし女性の政治家が増えれば当然女性の意見が反映されます。世の半数は女性です。単純に考えても政治家の半数が女性であってもおかしくありません。早く政界が数の上でも対等な男女共同参画社会になることを望みます。日本は上意下達の社会です。
女	80歳～	70.80代の年代は昭和20年の敗戦後それまでの世間の習慣が大きく変わり、0からの始まりで特に男尊女卑から男女平等となり、小学校の時代から男女の区別なく学校、社会、生活で皆平等に智恵を出し合い、それぞれの能力を活かして、学校、社会生活を生きてきました。 人にはそれぞれ特徴があります。男女とあるもの自然を生成している一員だからなのではないでしょうか。

#### 職場について

性別	年齢	ご意見・ご要望
女	40～49歳	子育てに専念したいと思っても夫の収入が少ないのでムリ。子育て支援を充実してほしい。
女	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人の仕事が忙しく毎日深夜に帰宅する。結局女性が仕事、家事、子育て全てしないといけないのが現実。毎日私の方が疲れている気がする。女性の方が損をしている。</li> <li>・妊娠から出産、育児と当たり前のように行政は進んでいくが、出産できず流産の方や臨月で死産の方もいる。そのようなケースにも対応していただきたい。（相談、ケア、休暇制度など）まるで妊娠したら子育てするものという考え方を改めてほしい。体も心もボロボロで相談できるところもなくつらかった思い出がある。</li> <li>・上司は研修を受けても一時的。仕事は全て終了してから休めと言うが、業務量を調整しようとしなない。これでは休みたくても休めない。お金のために働いている状況。</li> </ul>
女	40～49歳	<p>管理職などに女性を登用するなど表面的な対策では根本は変わらないと思う。平等の意味をはき違えていると思う。</p> <p>男性、女性の特性はそれぞれあるので理解を深め、また、個々にも特性はあることをふまえないとおかしくなる。これからはますます多様な生き方、多様な働き方になっていくと思うので、市の施策も大きく変わるかなと期待しています。</p>

女	40～49歳	子ども達に啓発・教育をすることは大切だが「子どもは親の背中を見て育つ」という様に実際現在小さな子どもの親世代の暮らし方、生き方、働き方が理想に近づく事が一番将来に対して大きな成果が出る策だと思っている。我が家の家事分担の偏りの最大の要因は、労働時間です。夫が家事を分担できない程、長時間労働が認められている(?)ため妻に全て任せている。そういう家庭は周りにたくさんあります。そのため女性もフルタイムで働きにくいという状況ができあがっているのだと認識しています。
女	50～59歳	現在50代ですが、自分が働きながら子育てしていた時代と女性の働く環境はあまり変化ないよう思えます。育児休業など法整備は進んでいるのですが、個人の認識や考え方など、まだ男性優位、女性は家庭にいるか働いても家事労働をして当たり前…のような風潮が残っています。子どもも結婚し、働きながら子育てしていますが、やはり女性側に多くの負担がのしかかっています。考え方の変革が進んでいないのでしょうか。
女	50～59歳	アンケートの返事を書いているが実際はどこまで変わるのか期待できない。今は嫁は育児、息子は仕事という時代ではなくなったことを四世代の身はつくづく感じるこの頃です。 パワハラetc.上司がパワハラを行い部下はおりばがなくなり辞めざるおえない。職安など訴えをなかなかすくい上げてもらえない状況がたくさんある。
女	50～59歳	ひとり親に対しても給料アップしてほしい。 同じ時間仕事をして、よく仕事する人とそうでない人の給料が同じというのは納得できない。 企業に対して、ひとり親家庭の支援をされてるところもあるが、していない企業もあります。できることなら支援してもらえよう働きかけてほしいと思います。
女	50～59歳	男性の多い会社は女性が大変かも、女性の多い会社は男性が大変かもと思うが自分で選んだ仕事、男性が多い職場が多いとは思いますが女性の上司の方が女に対してパワハラが多い。男性の上司はどちらにもあると思うが、女性の上司の方がパワハラ、セクハラが多い、子どもが居ない、子ども嫌いの女性は、出産、育児に対して冷たいと思う。 問24は優先度は子どもなので書けない。
女	50～59歳	女性の中には仕事をするにしても、家事、育児バランス良く働きたい人もいるので周りの理解や制度が形式的なうちは、あまり仕事の責任や重圧を与えてほしくない
男	60～69歳	女性が子育てをすることに関し、休業、収入保障を限りなく保障をしてあげる事が大切な気がします。
男	60～69歳	独り言ですが、そもそも人間も動物ですので、女は子どもを産む仕事をして社会に出ても男と同じことをしたら女の方が私は20%はお金を多くもらわないとやっとなれないと思います。それと女も男のやっている技術レベルの仕事にもチャレンジして男にみせつけてもらいたい。

男	70～79歳	今年の20歳になった人の数と今年の出生率を比較するとだいたいこの20年間にいかに出生率が下がったかが新聞記事を見てわかりました。いろいろな要因があると思いますが大きな要因の一つとして女性が出産して子育てをする場合は会社等をやめなければならない、その両立が現在の社会環境の中では難しいと言う事だと思います。このままいくと日本が活気のない社会になってしまいます。女性が職場にいても安心して子育てができて、また職場に復帰できるような環境を政治や行政が作っていくことが肝要だと思います
---	--------	--

#### 地域活動について

性別	年齢	ご意見・ご要望
女	60～69歳	公民館活動が面倒くさいと思うことが多い（運動会、球技会など）活動は一斉清掃や溝掃除、ゴミ当番等生活に必要なものだけで良い。それだけでもコミュニケーションはとれる。
女	70～79歳	運動会や打吹まつりでは、若い人たちが多数おられてびっくりします。それはとてもよいことと思いますが、公民館活動では60（少ないけど）、70代以降の方ばかりの出席のように感じます。40、50代の方々も参加され（参加できるように）ると素敵なのだと思います。
女	70～79歳	6年前にUターンしてきました。その時に悪いことを思い出しました。公民館に女性部が存在することです。共働きが多い中、必要でしょうか。こんな事から変化すれば若い人たちも地域活動の参加が増すのではないのでしょうか。

#### その他

性別	年齢	ご意見・ご要望
女	30～39歳	このような機会をありがとうございました。
男	30～39歳	市議会議員は多くいるが成果が見えない。給与カットを行い、子供、老人への支援にあてるべき
女	30～39歳	男女共同参画社会づくりのみならず、様々な面で地方自治を推進させて欲しい
男	40～49歳	法を決める人は本当にこの事が分かっているのですか？
女	50～59歳	絵に描いたモチにならないことを願います
女	50～59歳	市民意識調査、この紙を市役所の人全員にやってもらってはいかがでしょうか。質問の内容が公務員の人に問われているような内容で。
男	60～69歳	倉吉市がアンケートされ問題点を重視し改善できることを願う。
男	60～69歳	女性、老人、障害者に依らず、社会の皆が幸せに生活できる事を希望します
男	60～69歳	倉吉市役所内にセクハラやDVはありませんか？男女平等な職場になっていますか？
女	70～79歳	現在73歳、68歳まで働きました。夫は60歳で退職しましたので職場への送迎とか台所仕事、ゴミ出しとか家の事も色々やってくれました。今のところ、夫には特に希望することはありません。夫は来月81歳になります。元気ですので意見要望もないですね。ごめんなさい。
女	70～79歳	働きかけるということではなく実行する。まず実行してほしい。
男	70～79歳	コロナによって社会の変化の兆候が見えるようになっている。今変えなければ、変えるときはないでしょう。

男	70～79歳	市の施策として積極的に推進するのではなく、ソフトに目立たない様に市民、各地域への手をかして行く方が良いと思います。
男	70～79歳	使える道づくりをすること。途中止めで止まっている道路が多すぎる。少なくとも出来たところから使用できるやり方が出来るようにすべきと思う。
女	70～79歳	初めまして。この度は市民意識調査のアンケートに無作為にて選出して頂きありがとうございました。提出期限までにはまだ大丈夫と思って目を通しながらメ切日に成ってしまい徐々に緊張しました。5月の誕生日で高期高齢となり自覚を持ちながら一日の早く終わっていく日々を一生懸命に心忙しく送っています。そして人格的にも年令も大先輩が近くに居てくださり色々とお助けくださりとても有り難く、感謝していますが以前はもう少し機敏に動いていた様だったのに？多分に好きなスポーツ教室に1/wで通い充分に心身共に維持ができていて少々苦しい事、悲しい事にも耐える自分でありたいと思っています。私事を書きましたが地域の皆様と頑張りながら役立ちたいと思います。アンケート調査内文面その他に意味不明を記入している所も多くあると思いますが宜しくお願いします。コロナウイルスクラスターが一日も早く終息してくれるよう祈りながら職員の皆様も御安全に！
女	70～79歳	個人事ですが...自分はまだ身近に介護の経験は有りませんが人からよく聞く国民年金ではとても入れないと聞きます。そうなったときの事を思うと心配です
女	70～79歳	私の娘は都会で働いていてその会社は女性の管理職を進めていて、娘は平（ヒラ）、支店長、課長と出世して、課長になったら1ヶ月10万円昇給した。次は部長かなと言ったら、娘はそんな簡単なものではないと言ったけど、本人はキャリアウーマンになりたかったか、キャリアウーマンになれて幸福ってってます。私は娘が早く部長にならないかなと楽しみにしています。
女	80歳～	令和3年度の新たな男女共同参画プラン策定による施策の推進に期待しております。